

# 今こそ原発との訣別を!

## 原発「大事故」通信

No. 1 '86 5.15

### 「びんまヌミ」の対応

周知の如くに、ソ連のチェルノブイリで史上最大の原発事故が生じた。これは、既存の発電用原子炉にみえては、恐ろしいまがせりの、最もひどい事故である。

この事故に直面し、私は大変な驚いて、しかしそれは、事故が起ころうとしたことや、その被害の深刻さについてではない。今まで、運転を続けてきた以上、このような事故の生ずることは当然のことである。しかし、かような事故の発生も自明のことである。だから、それは全く驚くに値しない。むしろ、むしろ驚かされたのであろう。

では私は、何に驚いていまのか。それは世の中(日本)の平静さについてであり、突然と起るマヌミの信じがたい対応についてである。事故は次に述べたように極めて深刻かつ大規模なものであり、ヨーロッパ全土がパニック状態に陥り、いるとき、でもない。

にもかかわらず、日本のマヌミは何一つ躊躇うとしない。新聞、テレビの有様は報道規制そのものである。だが、ゆえに、日本では、この事故がいかにたいへんなものであるか、

るか、いまだ知られていない。また、悪化極まる大事故60年史裏の「サミット」のうかがい、右傾化の一環ともなっている。今日のマヌミの姿勢からすれば当然かもしれないが、それにしても今のテレビ・新聞の対応の二重三重、知らせぬまの悪質な対応には、全くもってあきれかたしと言いたい。

原発大事故下の今の情報管理を見ますと、とうとうここまで来たのか、暗たんたる思いにかられてならない。

### 事故はこれからが本番

事故は、原子炉の炉心溶融(メルトダウン)に続き、水素気爆をもくは水素気爆が生じて、炉心が吹飛ばし、放射性物質が一挙にばらまかれたものと想像できる。これは、原発で生じようとする最大の事故であり、これを「原発裁判」等によって住民側が危険と指摘してきたにも拘らず、「想定不慮当(ハカリシナイ)」としてつねに隠されてきたものである。

死者が二人だ、八人だ、いや二十人だなどと取り立てられているが、これは、現時点での死者にすぎない。今後、大事故犠牲者となることが、死んでゆくであろう。また、放射性物質によって汚染された食糧を食べつづけることにより、何十人何百人、何千人何万人に放射能汚染を受け、何十年後に死んでゆくであろう。これに死に至らぬくとも、晩発性ガンに苦しむ人の数は限り知れない。

原発事故の発生は、即死するものは、全死者のうちの氷山の一角にすぎないといふことである。大事故は、既発性の肺病、ガン、死という形であつた。何年後か、また何十年後か、死者は二人でも、二十人でも、百人でも、何千人何万人でも、何十万人何百万人でも、何十億人何十兆人も、人知れぬであろう。

二人だ、二十人だにまじりかたでいけぬ。事故死者の発生は、これから不審、辻々として発生が続くことと、マヌミは誇ううとしなさい。

### 原発は危には止まらぬ

原発に故障が生じたら、制御棒を挿入する(バット)にあって、原子炉は止まると言われる。しかしこれは大まかに誤りである。

確かに、制御棒を入れれば「核分裂反応」は停止する。しかし、それまでの核分裂によって生じた「死の灰」の崩壊による放射能は、続いていものである。核反応をたとえ停止させても、原発は燃えつづけていようである。従って、原子炉停止後も、長期にわたって炉心の冷却と燃料の取り出しが必要なのである。ちなみに、この崩壊熱の発生は、原子炉出力の2割にも達する。

この事故は意外と知られていない。原子炉は、「止まらぬ」のである。例え核分裂の停止には成功したとしても、この後の冷却が維持できなかつたとしても、死の灰の崩壊により、メルトダウンに至るのである。

「大事故」は、チェルノブイリ原発4基のうち4号炉である。4号炉の爆発によって、他の3基には近づくことが不能となり、運転、冷却の維持ができなくなつた。しかし、このままか。他の3基の冷却も長期にわたって維持してゆくことは可能なのか。もし、それができないとすれば、事故は明白である。この恐怖は、マヌミは誇ううとしなさい。

### 死の灰は 原爆の1,000倍 プルトニウムは 50倍

日本の原発の中心的な存在である、四方燃料水炉と一年間動かすと、死の灰が1トン。また、超毒物(物質)は、耳かき一杯で何十人も殺せるといわれる。プルトニウムが50倍生成される。

つまり、一年間動かした際の原子炉にはこれだけの放射性物質が蓄積していき、この死の灰の量は、広島原爆の何と一千倍、またプルトニウムは長崎原爆の五十倍分に達する。

チェルノブイリ原発の場合、炉心の相違や燃焼度の相違もあつたので、日本の場合と全く同値するわけにはいかないが、しかし、ほぼ同水準の放射性物質が回収されてきたとみてよい。

### 数万~十万人 単位の死者も

そしてこの放射性物質の大半が環境に放出されたのである。  
果たして放射能がどれほどに及ぶのか。福島県内はほとんどが、人体への影響はほとんどない。以下、**高木三郎**（京都大）、**高木三郎**（原子力資料情報室）、**市川定夫**（埼玉大）**香氏の試算**をのせてみる。（注）**は受は「週刊現代」54**、「朝日」71年11月16日

死者二名、重傷十名。ソ連当局はチェルノブイリ原発の炉心溶融の被害をこう発表したが、本当のところは一体どうなのか。  
東京原子力実験研究所助手で放射線計測学の専門家である**高木三郎**氏の試算は驚愕すべき数字になる。基礎データには四月二十八日、スウェーデンで検出された放射線汚染数値と、米原子力委員会が三月二ヶ月の時間と十数億円相当の資金をかけ、七五年、二千四百人にまとめたラスマン報告などを用いた。

さらに後から発生するがんなどの晩発性障害による死者は、広域的な汚染・被害の状況から推して数万、十、一〇万をわすれてはならぬ。五月四日の朝刊で、ほぼ同様の推定が、米原子力規制委員会や、わが国運輸省であるイギリスのP・テラー氏によってもなされていくと知られた。  
**（高木三郎）**

### 日本の汚染度

放射性物質が飛散した際の放射線量は、人体に与える影響を評価する上で重要な指標となる。日本では、チェルノブイリ原発事故以降、放射性物質の拡散が懸念されている。特に、大気中の放射性物質の濃度は、健康被害を引き起こす可能性がある。また、土壌や水質への汚染も、長期的な影響を及ぼす可能性がある。政府は、放射線量のモニタリングと、汚染地域の管理を強化している。しかし、長期的な健康影響については、さらなる研究が必要である。

### 連続的被害(1)

今回の事故で放出された放射性物質は、大気中を漂い、広範囲に拡散した。これにより、大気中の放射性物質濃度が上昇し、人体への放射線曝露が増加した。また、放射性物質が降灰となり、土壌や水質を汚染した。この結果、広範囲の地域で放射性物質の汚染が確認された。政府は、汚染地域の住民を避難させ、放射性物質の拡散を抑制している。しかし、長期的な健康影響については、さらなる研究が必要である。

### 嘘にだまされる人

推進派の主張やマスコミの報道は、必ずしも事実と一致しない。むしろ、多くの場合、推進派の主張が優先され、反対派の主張が抑えられる傾向がある。これは、情報の歪曲や、事実の隠蔽によるものである。市民は、このような状況に陥らないよう、慎重に情報を判断し、科学的根拠に基づいて行動する必要がある。

- ① ソ連とは伊型がちがったから、日本では起りもしない事故といふ主張である。↓しかし、原理的には全く同じである。同じ原発の事故以上、事故は同じように起ることは当然の話である。
- ② 大して死者がなかった。最大の事故だったのに、大して死者は出なかった。安全性が確認されたようなものだ。この主張は↓急性死者だけとつかまえての過小評価。前にも述べたように、晩発性放射能がほとんど生じないが、晩発性であるから、原爆のせいだ」と立証できない。立証できない原爆のせいではない。↓死者はいなかった、と云うな。
- ③ これが入りマイド動事故のとき言われた。TMIによる死者は一人もいない。ではないか。が推進派の決まり文句。しかし、TMI周辺での乳児死亡者が著しく高まった。原爆事故が原因で死ぬ人も、それは立証できない。
- ④ 日本には原爆には格別な被害がなかった。だがソ連とちがって安全だといふ主張↓今回のようにメルトダウン・爆発と云ふのは、ソ連ものは吹っ飛ばしてしまふ。小規模の事故の時に放射能の飛ぶと云ふことは、大事故の時にも全く同じ。
- ⑤ 日本には影響がない。日本に降った放射能は大したことはない。という主張↓この誤りは、上の市川定夫氏の解説参照のこと。放射線は、どんなに微量でも害になる。環境中では薄くても、体内とリニマールで濃縮されてゆくという危険もある。

執筆：発行 河野 直哉  
このなかから、水車まで含めた  
（企画局）

●今止めずしていつ止める  
次の事故ではもう遅い

とがして、今も、二つだけの大事故が止まらないうちに、実に世の対応は遅い。

今回の事故と初期に、日本の反原発運動が市民権を手にしなかつたならば、私たちは大ピン危機に陥らなかつたであらうと私は思う。二つだけの大事故で目を覚ます時はある。何となく、原発で危ないというまじりの「最後の事故」に私たちは気づいたのだ。

今回の事故は目とつぶり、次に起った大事故は目が覚めたのだ。ほんのうがたい。なげなう、二つ以上の事故はいつた。

① 日本マチェルノブイリ同様の事故が起きる。

② 高圧送電線(下田)の事故が起きる。

③ 再処理工場の事故が起きる。この二つはつかつかないからである。①は、人口密度の高い日本での被害は、ソ連よりもケタ違いに大きくなるであろう。②は、送電の超ウラン元素を大量に含む原子炉であり、炉心特性も不安定である。事故の被害は、単に炉心のみならず、大規模な放射能の危険である。日本は、これを「高圧送電線」に「フクシマ」している。(口)③は「高圧送電線」の「FBR」も「

じや」と事故中(あま) 次の大事故の被害は、もうとりかえしのつかぬことになる。ほんとうに、今目とつぶらなうれば、手のつけやうのないことになるのだ。

●発行にあたって

本誌は不定期発行である。テェルノブイリ事故についての情報、反原発の視座について、適宜発行がなされるものであり、詩画は一切ない。筆者は原発に反対する一人の市民にすぎない。しかし、この「市民」にすぎない。明らかに嘘と断言する主張を横行し、マスコミは真実を語りなくしている。そして、世の多くの人々も、これらの嘘や情報統制にだまされていく。原動力発電に傾き、多少とも知識のある人なら明白に「フクシマ」を知ること、堂々と書き綴るべきである。

そして、私は、この通信の発行を行うために、本誌の記載事項は、ほんの常識的なことだからである。新聞・テレビ等の「専門家のウソ」にだまされてほしくない。「事故は起まらなう」と言っているのが「専門家のウソ」である。専門家の知識を信ずる以前に、「常識」ともつて、今私たちに最も必要なことだと私は考える。一人でも身の回りに、「常識ある人」をいっしょにしよう。平日は職場、土日は農作業でも発行は棄ててはみませんが、ご支援ください。

執筆・発行 河野直哉  
(このほか、  
水車から企業企画局)

複製・転載 大歓迎  
いたします。

# みんなもさわげ

## 原発「大事故」通信

ロシアより放射能をこめて  
No. 2  
86 5.30

執筆発行：河野直哉

シラカネの会・水車むすび会主催

### 30キロ内はゴーストタウン

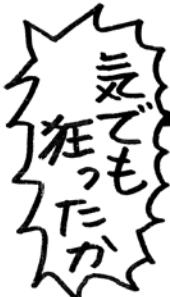
#### 市民の多くが脱毛

ノ連 事故原発の北方30キロ

世の中、ほとんどの人が、  
3。ノ連は方のような事態なのに、  
この非常時に在の記者はいったい、  
何だ。(五月十五日、読売) 気まも  
くま、たか、みんまも、とこわて。

### 原発推進打ち出す

全民労働 安全性確立前提に



民間労働の中心が原発 新聞でもう書けない原発  
体のある民間労働者、愛田又  
議は、十四日の代表会  
議、全労連の多岐、民間  
の委員なる五十一、六十六  
二部、要求(原発)を決定  
定した。わが国議を決定  
パソンのとれた原発推進

### 騒ぎ方について

前号に述べたように、全く真実を  
語りつけないマスコミに怒った私  
は、この通信を発行するつもり  
にしたい。万単位もの死者が予想される大事故  
故直後の全民労働の対応は、もはや  
正常な人間のおこなうことではない。  
みんな、もともと強いて、原発反対反  
対の声を高めたのは、今度私は自ら  
身が死ぬことにならぬ。

① ひたすら事故をいれまわす  
会の人々、人、このように原発  
事故の恐怖をいれまわす。嫌がら  
れても、これらが問題にしない。

② 本誌を悪戯と見做す  
本誌は、悪戯、悪戯大歓迎である。  
頼みもしないのに送られてくる本  
誌を、コピーし、または印刷し、  
一人でも二人でもいから、知人  
に郵送したり渡したりする。

③ マスコミに投書する  
事故についても、報道しても、過  
小評価のインテリ報道と改め、  
反対派をもっと紙面に登場させる  
など、簡単なものでいいから、マ  
スコミに投書を出して送りつける。

④ カンパをすい  
足りない給料は、この本誌を発行し、  
百通(六十円)に全労連を全  
てがかり、おまけにこの発行のた  
めに自腹を切つて私設秘書まで雇  
った某氏にも投書カン。と実施し、  
いさかえに通信を要求する。

### いったいどれだけの被害が

まじまるだろうか、今では新聞  
等のデータをもとに、極めておま  
かに、試算を試みる。断り、まわ  
が、これは、事故の被害の全容を探  
ろうとするものでなく、たとえは  
二人に一人に達する、といった程度の  
もので、被害の責任は全て私にあり、  
事故の犠牲のすさまじさを例示した  
ものとみていただければよい。

### 9km以内 全員死

アメリカで原発大事故の被害を予測  
をしたものに、ラスムッセン報告があ  
る。110万kW PWRのケースでは、  
風下にいるのは30レムと全身被曝  
15レム以内の住民は30レムと全身被曝  
する。この程度は健康被害を受け  
ると、早期死者(即死)する人はすく  
なく( )が生ずる。60レムでは全員が  
15レム以内では4人が早期死とす。

二に二に同量のものが、原発から  
50km地点に人口2万5千の都市、プ  
リビヤチがあったところ、事実である。  
住民の避難開始まで事故発生から36  
時間を受けたという以上、大量の人  
の健康被害は必ずとみられる。9  
km以内では、風下なら、2万  
5千人は全員死んでゐる。

### 130km地点 250人に一人死

放射線被害の飛ぶ飛ばしの一つに、  
「危険の限界がない」ということがあ  
る。つまり、いくら低線量でも被曝で  
あつても、さまざまに割合で必ず被害

# 東海原発まで 東京から100km

ほとんどの都市は  
運転・計画中の原発から  
100km圏内！



# うわあッ 大災害だあッ！

に一人死ぬというから、この町では  
50人に一人死ぬことになる。  
そこで、日本の運転・計画中の原  
発のまわり半径100kmの円を描くと、  
かなりの大都市が中に入っている。東京  
は、東海原発から100kmの円が、コ  
ロシティに近い。東京の人口も一十  
万人とすれば、右同様計算では、  
4万人が死ぬ。

## まだある体内被曝の恐怖

しかし、これだけで驚いてはいけな  
い。右の計算は、環境にうつっている

が、発生し、また、死者が生まれる。た  
だその数が被曝量に比例して減る  
だけで、100km以下なら安全・無事  
という救はない。  
原発の北方30kmのゴメリ市では、  
脱毛が生じているが、これは20レム  
程度以上の急性皮膚被曝の際に生ず  
る。読売新聞では一時同当り全身  
では数百ミリレムとしていたが、後  
に一時同当り300ミリレム(全身)を  
半日被曝したとすれば、36レム。マ  
ンクローの報道では、全身100レム

放射能物質が、人間が外から全身  
に受ける被曝に比べて、  
しかし、被曝の原因はそれにと  
まらぬ。呼吸をとおして、あま  
り食物をとおして体内に吸収され  
た放射能物質は、二日に、体内  
から自らの体を被曝してしまふ。こ  
れも加えねばならぬ。例えはスト  
ロンチウムやセシウムは骨に、セシウム等は  
筋肉に、ヨウ素等は甲状腺にたまり  
て体内被曝をさせ、  
原発から100kmの千代田市から帰国  
したある人の甲状腺からは、6万6  
千600ベクレルのヨウ素が検出され  
600ミリレムの体内被曝という。甲状  
腺被曝の場合、一万人レムに一人の  
割合でガン発生、五万人レムに一  
人発がんと言われ、600ミリ  
レムとすると、二万七千人一人がガ  
ンに、30万人一人が発がんす  
る。しかも、これはかなり甘い数字  
で、一ヶ月以上生き生き見ると言  
われる。しかも、これは、ヨウ素に  
ついてだけの話であって、他の様々  
な核種は同様に入れている。

## ヨーロッパ全土が、 ヨーロッパ全土が、 ヨーロッパ全土が、

ヨーロッパでは、通常の50倍の空  
間被曝量が観測され、全身被曝量は  
一日被曝したと仮定しただけで60  
ミリレムである。セシウムのマンク  
ロウの全身被曝の方式にのめれば、  
一六六千人一人が死ぬ計算になる。  
体内被曝の問題もある。ヨーロッ  
プで牛乳や野菜を食べているのは、  
そのための。

西ドイツのバイエルンでは牛乳  
から5300ベクレルのヨウ素が検出。I  
CRPでは10ベクレル2x10<sup>6</sup>ミリレム被  
曝量としていたから、これを加え  
ずつ二週間被曝と、144ミリレム被曝  
して、40万人一人が死ぬ。ただし、  
乳児は甲状腺が大き、牛乳を飲む  
量が多い(国の指針で600cc)ので、  
もっと厳しくなると、4万人一人  
死ぬ。もっともこれは先にのべたよ  
うにかなり甘い評価である。  
同じ西ドイツ、ウイスターバーデンの  
牧草から1kg当り5300ベクレルのヨウ  
素が検出。もしこれが仮に野菜、た  
たとしたら、一日100gの消費として  
一週間にわたる270ミリレムの被曝。  
しかしこれは牧草なので、牛が食べ  
て牛の体内に濃縮される。この牛の  
牛乳を人が飲んで、またさらに濃縮  
する。食物連鎖をとおして、ヨウ素  
はどんどんと人体濃縮をされて行く。  
環境中では微量に思えた放射性物質  
も、人の口には、よほどは丁寧な  
い濃縮されているのである。  
ヨウ素は、半減期が8日なの  
で、8日たてば半分は他の核種に兩  
減する。しかし、50の半減期は28  
年、137の半減期は30年とかなり長い。人の  
体と一生をわけてみれば、  
西ドイツでは牛肉3kg(ベクレル)1  
00万、羊肉5kg(ベクレル)200万、  
など、めちゃくちゃな数も聞く。こ  
んなのと100倍一週間に食べれば28レム  
被曝、七千人一人が死ぬ。

日本でも高濃度検出  
千葉では雨水から13300pCi/l  
のヨウ素がみつかった。これは、か  
なり高い。何となく、アメリカの  
原子力安全委員会は、ヨウ素が300  
μCiに達すれば、飲料水の取水と制限す  
るまでであるから、この3倍以上の値  
である。こんな北は、大人が以上を  
た、一日飲んだら、60ミリレム  
の甲状腺被曝、30万人一人は死  
んでしまう。  
日本でもチェルノブイリまで、は  
るか800km。放射能は、容赦なく全  
世界の空をまわっている。

## 大量死、遺伝障害 あすはわが身だ。

前回の通信で、死者は百単位にの  
ぼると私は書いた。今日の計算で、  
それがけつておみけさなことは  
ない。ことがおみけさなだけだと思  
う。

急性障害、生体遺毒、体内被曝で  
大量死、問題はそれだけではない。  
死者は、被害者という大きな水山の  
一角である。死者の数よりよほど  
に多い人々が、ガンの病にもしま  
づけて。そして、遺伝障害、放射線  
は、遺伝子を破壊する。破壊された  
遺伝子は、ミトコンドリア(細胞の中心)に  
いっしょの原発事故が、人類を永遠  
に苦しめるのであろう。  
日本では今、23万もの原発が動  
いてる。あすはわが身だ。いつとき  
も早く、原発のどとは手を切らな  
い。生き延びたい。

# 5年後にまたメルトダウンが起こる

## 原発「大事故」通信

No.3  
ウクライナより放射能をこめて  
86.6.26

### 真実はヴェールの中

4月26日といわれるチェルノブイリ原発の破滅的大事故以来、はや2カ月の月日がたつた。

私は、事故後まだ日も浅い、5月15日に、今回の事故に対するマスコミの隠微い、権威といった風潮にたえきれなく、て、本紙「号」を発行するに至った。

私は、事故後日がつたけれど、この事故の原因や放射性物質への放射量や被害や被曝の状況などが、すこしずつではあれ明らかになってゆくであろうと期待し、かかき報道を筆致しては、わかりやすく解説をかこひうことを目的として、本紙を不定期に

長期にわたって発行しつづけてようと考えていた。

しかしながら事態は私の期待を裏切り、ますます悪い方向へと進んでいく。今回の事故について、真相は全くもって不明なままだといつてもいい。今回の事故について、真相は全くもって不明なままだといつてもいい。今回の事故について、真相は全くもって不明なままだといつてもいい。今回の事故について、真相は全くもって不明なままだといつてもいい。

ソ連は真実的教値の裏づけのない「事故隠蔽」の発表をふこなない。相もつわらぬ過小評価としか考えられぬ。数字を隠蔽し、あつちの果てに人は近づかれぬほど高濃度に放射能で汚染され、死の地域と化したはずのこのチェルノブイリで、他の一

年次	世界 運転数 (台)	日 運転数 (台)	生産 量計 (MWh)	備考
1956	1			
57	3			
58	9			
59	14			
60	17			
61	18			
62	23			
63	32			
64	41			
65	50	1		
66	67	2		
67	72	2		
68	77	2		
69	85	2		
70	94	4		
71	108	5		
72	124	6		
73	147	6		
74	162	9		
75	173	11		
76	186	13		
77	201	14		
78	228	18		
79	247	22		TMI事故
80	266	22	.97	
81	281	23		
82	302	25		
83	324	25		
84	330	28		
85	330	33	.275	チェルノブイリ
86	330	33		

↑  
表1 これまでの原発運転実績

- \* '66年から'84年については、「原子力発電所一覽」の35、「世界の原子力発電設備容量の増減」表による。
- \* '56年から'65年については、同資料「原発一覽」表より電力出力1万kw以上のもの数と計算した。
- \* '85年の数字(世界)は同一表の計画値。86年、85年日本は実績。

表2 世界の原発稼働状況 (1984年末現在)  
↓ (表1,2ともに 原研会議「原子力発電所一覽」85年版による)

国名	炉数	出力計	順位	国名	炉数	出力計	順位
アルゼンチン	2	98		日本	28	1,986	④
ベルギー	5	359		韓国	3	192	
ブラジル	1?	?		オランダ	2	53	
ブルガリア	4	176		パキスタン	1	14	
カナダ	15	1,006	⑦	南アフリカ	1	97	
チェコスロバキア	3	127		スペイン	7	488	
フィンランド	4	240		スウェーデン	11	767	
フランス	41	3,528	③	スイス	5	303	
東ドイツ	5	184		台湾	5	419	
西ドイツ	13	1,287	⑤	ソ連	39	2,320	③
ハンガリー	2	88		イギリス	35	1,078	⑥
インド	5	110		アメリカ	85	7,244	①
イタリア	3	133		ユーゴスラビア	1	66	

二重炉の運転を再開するなどと、マのけま。さらにマスコミは、これから何の疑いもなしにさむこともなく、何の批判も注釈も加えることなく、幾んど「大本管発表」を代弁し、また、日本政府などの「安全宣言」をそのまま報じている。

最も問題なのは、マスコミ(三井)が、放射能汚染などの具体的教値が殆んど報じられていないということである。その一方で、根拠に乏しい「大本管発表」だけがひとり歩きしている。

真実は、いまだもって全くわかっていない。今回の事故の真相は厚いヴェールにおおわれてしまつた。たまたま、具体的教値を明らかにせず、危

政府の発表のみを伝えるマスコミは、すでに、大本管発表の代弁者となつた戦前、戦中の情報提供者と同じところまで進んでしまつたのかもしれない。

メルトダウン発生は  
2000年に一度

左上の表を見てほしい。これは、今日まで、毎年何基の原発が運転されてきたのか、世界・日本について年ごとに集計し、表にしたものである。例えば、一九八五年では、世界中で初基、日本で33基の原発が動いている。

この、稼働中の原子炉の数は、

# 原発大事故の確率は 十年以内に二度

七月初め、アメリカの原子力規制委員会(NRC)は、反原発グループ「クリティカル」に提供されておらず、ひとりの報告書の存在を認め、その内容を公表した。NRCが公表をしぶっていたのは、わが国であった。この報告書は、アメリカで三年九年前に一度の割合で原子炉の大事故が起こりうる、と指摘していたのだ。

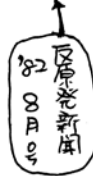
この報告書は、「深刻な炉心損傷事故の先触れ事故」と題するもので、NRCの依頼を受けて、オクラージ国立研究所の原子力運転シミュレーターが、原子炉事故の確率評価については、机上の計算が主で、

その典型が、かのラスムッセル報告だった。一九九〇年、ラスムッセル報告は、コンピュータ計算で、原子炉の大事故は頭上に限りがおこるようなもの、という結論を導いた。だが、全くの机上の空論と多数の批判を受け、NRCも最終的にはこの報告を否定した。が、スリニール島原発(TMI)の事故では、推進論の安全論の鏡の御殿にされた。

大事故の確率は、毎年約十億分の一と推定されている。過去の原発の報告されている事故二件の確率から、炉心溶融の可能性を推定

るといふ、より安全な方法が採用された。そのうち、一九九〇年の結果を日本の現状に当てはめると、特に重大な事故があるとして、五年以内に二回、緊急安全装置が作動する可能性がある。炉心溶融を生じかねない。さらに、実際の事例から緊急安全装置が作動しない確率を割り出し、兩者の組み合わせから、先触れ事故から大事故へと発展する確率を求めた。その結果が、二〇〇六〇〇回年に一度、大事故が起こるという確率とされた。一炉年という単位は、「一炉の原子炉が一年間動いた」という意味で、現在稼働中の原発が七四基あるから、二〇〇六〇〇回年に一回という確率とされた(一)。

米国立研の報告書が指摘



じのから一年一年ずつ加えてゆくと、その五年以内に運命づけられた原子炉の数の半分計算できる。

ところで、今日まで原子炉の大規模稼働は、アメリカの回数を越えていない。今までの原子炉の稼働は、スリニール島原発(TMI)と、今回のチェルノブイリ原発(TMI)の二回にすぎない。

そこで、TMI事故の前年の一九七九年までの、何基の原発が運転されたかを計算すると、一九七九年に二〇二八基にすぎない。このことから推定すると、二〇〇〇回年に一度はTMI級の事故が生じてもおかしくないことがわかる。

さて、今推定では、約六基の原発が動いている。次の大事故発生はいつか。簡単である。二〇〇〇を三六〇〇で割ればよいのである。答は五・三つまり、これ以上原発をやらなかつたとしても、あと五年後には、また大事故が起きるのである。

82.11.28

## 朝 最悪の場合 10万人が死亡

米原子力規制委が予測 修正

米原子力規制委員会は、最悪の場合、一〇万人が死亡する可能性があるとして、最新の予測を発表した。

同委員会は、一九七九年の三哩島原子力発電所(3 Mile Island)の事故を調査した結果、原子炉の炉心溶融が原因で、放射性物質が大量に放出され、周辺住民の健康被害が深刻になると予測している。

同委員会は、最新の予測では、一〇万人が死亡する可能性があるとしている。

日本も6588年に一回は大事故か。

もう一つ、予測もある。しかもそれが、スリニール島事故のあとで計算したのと、アメリカ原子力規制委員会の報告というのだから驚きだ。(左、右の競争参照)

それによくとすると、大事故の発生は205600回年に一度、死者数十万人の恐れもあるという。日本では33基の原発が動いているから、とすると、6588年に一度は大事故のおこる計算になる。

本紙の活用と!

いくつか開いたところによれば、本紙は次のように活用されています。この他にもいろいろあると見わづかすので、私までお知らせ下さい。

- 東京大学で配布(エコロジーを考えた今、空田誠二氏、オサマ井上氏、ミ、また原発推進のゼミ、マラに原子力工学科教官に配布) ● 東大の生物燃料研究会と印刷。また五月祭の企画で、阪大・Nさんが上智大でコピーし、友人などに配布 ● Yさんが早稲田大に掲示、コピーして友人10人に野送 ● Aさんがコピーして岡山大で配布 ● Wさんが駿場で回覧 ● Mさんが一橋大宮田ゼミで配布 ● 静岡県立大学の水車から配布 ● 配布 ● 東京の東神まで、任職が仕事の際に配布、玄明に準備、マラに施設、航法者と金武野 ● 本人は30通野送。

かんばんありかた。

白根さん(1) 津島鏡治さん(1) 中山千鶴さん(1) 和田香樹さん(1) 白井大衛さん(1) 田部久美子さん(1) 新井将士さん(1) 今里直さん(1) 感謝!

朝日新聞 '82 11月28日

編集発行: 河野直哉 (水電ガス全線 企画局)





編集・発行：河野直哉

# 西ベルリン 士から高濃度放射能

## ソ連原発事故で汚染 137など セシウム 京大助手が検出

ソ連チェルノブイリ原発、事故で、同原発から約千キロ離れた西ドイツのベルリンに、日本のおよそ五倍、五十倍以上の放射能が検出されていると、半信半疑でいる。この放射能は、西ドイツのベルリンに、ドイツ連邦政府が検出した。この放射能は、チェルノブイリ原発から約千キロ離れた西ドイツのベルリンに、ドイツ連邦政府が検出した。この放射能は、チェルノブイリ原発から約千キロ離れた西ドイツのベルリンに、ドイツ連邦政府が検出した。

直接の引き金は、制御棒の操作ミスで、出力が50%程度に上昇、炉に上部が急速に加熱された結果、水蒸気が大量発生して水蒸気爆発するが、あまり燃料と被覆しているシリコンウムの合金と水とが反応するほどして、きた水蒸気が爆発した。

この衝撃で炉心の上にあった重き200トンの燃料交換用クレーンが落下して炉心に直撃、炉心は決定的に壊れた。大規模な水蒸気爆発が起るとともに、中性子減速材の石墨にも火がつき火災となった。

「この放射能は、チェルノブイリ原発から約千キロ離れた西ドイツのベルリンに、ドイツ連邦政府が検出した。この放射能は、チェルノブイリ原発から約千キロ離れた西ドイツのベルリンに、ドイツ連邦政府が検出した。この放射能は、チェルノブイリ原発から約千キロ離れた西ドイツのベルリンに、ドイツ連邦政府が検出した。」

「この放射能は、チェルノブイリ原発から約千キロ離れた西ドイツのベルリンに、ドイツ連邦政府が検出した。この放射能は、チェルノブイリ原発から約千キロ離れた西ドイツのベルリンに、ドイツ連邦政府が検出した。この放射能は、チェルノブイリ原発から約千キロ離れた西ドイツのベルリンに、ドイツ連邦政府が検出した。」

「この放射能は、チェルノブイリ原発から約千キロ離れた西ドイツのベルリンに、ドイツ連邦政府が検出した。この放射能は、チェルノブイリ原発から約千キロ離れた西ドイツのベルリンに、ドイツ連邦政府が検出した。この放射能は、チェルノブイリ原発から約千キロ離れた西ドイツのベルリンに、ドイツ連邦政府が検出した。」

「この放射能は、チェルノブイリ原発から約千キロ離れた西ドイツのベルリンに、ドイツ連邦政府が検出した。この放射能は、チェルノブイリ原発から約千キロ離れた西ドイツのベルリンに、ドイツ連邦政府が検出した。この放射能は、チェルノブイリ原発から約千キロ離れた西ドイツのベルリンに、ドイツ連邦政府が検出した。」

「この放射能は、チェルノブイリ原発から約千キロ離れた西ドイツのベルリンに、ドイツ連邦政府が検出した。この放射能は、チェルノブイリ原発から約千キロ離れた西ドイツのベルリンに、ドイツ連邦政府が検出した。この放射能は、チェルノブイリ原発から約千キロ離れた西ドイツのベルリンに、ドイツ連邦政府が検出した。」

「この放射能は、チェルノブイリ原発から約千キロ離れた西ドイツのベルリンに、ドイツ連邦政府が検出した。この放射能は、チェルノブイリ原発から約千キロ離れた西ドイツのベルリンに、ドイツ連邦政府が検出した。この放射能は、チェルノブイリ原発から約千キロ離れた西ドイツのベルリンに、ドイツ連邦政府が検出した。」

「この放射能は、チェルノブイリ原発から約千キロ離れた西ドイツのベルリンに、ドイツ連邦政府が検出した。この放射能は、チェルノブイリ原発から約千キロ離れた西ドイツのベルリンに、ドイツ連邦政府が検出した。この放射能は、チェルノブイリ原発から約千キロ離れた西ドイツのベルリンに、ドイツ連邦政府が検出した。」

「この放射能は、チェルノブイリ原発から約千キロ離れた西ドイツのベルリンに、ドイツ連邦政府が検出した。この放射能は、チェルノブイリ原発から約千キロ離れた西ドイツのベルリンに、ドイツ連邦政府が検出した。この放射能は、チェルノブイリ原発から約千キロ離れた西ドイツのベルリンに、ドイツ連邦政府が検出した。」

「この放射能は、チェルノブイリ原発から約千キロ離れた西ドイツのベルリンに、ドイツ連邦政府が検出した。この放射能は、チェルノブイリ原発から約千キロ離れた西ドイツのベルリンに、ドイツ連邦政府が検出した。この放射能は、チェルノブイリ原発から約千キロ離れた西ドイツのベルリンに、ドイツ連邦政府が検出した。」

「この放射能は、チェルノブイリ原発から約千キロ離れた西ドイツのベルリンに、ドイツ連邦政府が検出した。この放射能は、チェルノブイリ原発から約千キロ離れた西ドイツのベルリンに、ドイツ連邦政府が検出した。この放射能は、チェルノブイリ原発から約千キロ離れた西ドイツのベルリンに、ドイツ連邦政府が検出した。」

「この放射能は、チェルノブイリ原発から約千キロ離れた西ドイツのベルリンに、ドイツ連邦政府が検出した。この放射能は、チェルノブイリ原発から約千キロ離れた西ドイツのベルリンに、ドイツ連邦政府が検出した。この放射能は、チェルノブイリ原発から約千キロ離れた西ドイツのベルリンに、ドイツ連邦政府が検出した。」

「この放射能は、チェルノブイリ原発から約千キロ離れた西ドイツのベルリンに、ドイツ連邦政府が検出した。この放射能は、チェルノブイリ原発から約千キロ離れた西ドイツのベルリンに、ドイツ連邦政府が検出した。この放射能は、チェルノブイリ原発から約千キロ離れた西ドイツのベルリンに、ドイツ連邦政府が検出した。」

「人為ミスはインキだ」  
事故の原因も「人為ミス」が原因と見られる。事故は北朝鮮が27日午後から28日間に高濃度の放射能が検出された。だが、発生は26日午前1時頃と見られる。当初は停電による制御棒の停止の空焚き爆発が原因と見られていたが、燃料の燃焼が原因と見られる。燃料の燃焼が原因と見られる。燃料の燃焼が原因と見られる。

「人為ミス」論のゆえには、運転が厳格にされた。事故の原因も「人為ミス」が原因と見られる。事故は北朝鮮が27日午後から28日間に高濃度の放射能が検出された。だが、発生は26日午前1時頃と見られる。当初は停電による制御棒の停止の空焚き爆発が原因と見られていたが、燃料の燃焼が原因と見られる。燃料の燃焼が原因と見られる。燃料の燃焼が原因と見られる。

1

# 二んどは再処理工場 核爆発寸前

【ワシントン支局九日電】米エネルギー省は九日、ワシントン州リッチランドにあるプルートニウム製造工場での核爆発寸前を明らかにした。この事故は、燃料棒が作られた工場から、燃料棒を運ぶトラックの運転手が事故を起こした。この事故は、プルートニウム製造工場の運転手が、トラックの運転手を運転している間に起こった。この事故は、燃料棒が作られた工場から、燃料棒を運ぶトラックの運転手が事故を起こした。この事故は、プルートニウム製造工場の運転手が、トラックの運転手を運転している間に起こった。

## 核爆発寸前の事故 米のプルートニウム工場

無期限閉鎖

## 原発「大事故」通信

NO. 6  
86・10・17



part II

**今止めずしていつ止めるか 次の事故ではもう遅い**

私は、本年五月、本紙の発刊にあたり、「原発大事故通信」の一冊に、次のような文を書いた。

\* \* \*

今回の事故は、昭和二十年、日本の原爆投下後、市民権を手に入れたが、我々には、大きな危機にさらされた。それは、一九五四年、米国のプルートニウム製造工場での核爆発寸前を明らかにした。この事故は、燃料棒が作られた工場から、燃料棒を運ぶトラックの運転手が事故を起こした。この事故は、プルートニウム製造工場の運転手が、トラックの運転手を運転している間に起こった。

今日、我々は、この事故を、改めて見直さなければならない。この事故は、燃料棒が作られた工場から、燃料棒を運ぶトラックの運転手が事故を起こした。この事故は、プルートニウム製造工場の運転手が、トラックの運転手を運転している間に起こった。

① 日本でチェルノブイリ原発の事故が発生する。  
② 高経度燃料(FBR)の事故が発生する。  
③ 再処理工場の事故が発生する。

**原発の比ではない 再処理工場の大事故**

日本にも、再処理工場の事故は、必ず起こる。この事故は、燃料棒が作られた工場から、燃料棒を運ぶトラックの運転手が事故を起こした。この事故は、プルートニウム製造工場の運転手が、トラックの運転手を運転している間に起こった。

この事故は、燃料棒が作られた工場から、燃料棒を運ぶトラックの運転手が事故を起こした。この事故は、プルートニウム製造工場の運転手が、トラックの運転手を運転している間に起こった。

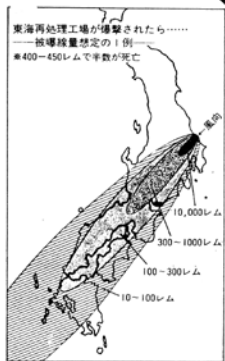
単にいうと、原子炉から取り出した使用済みの燃料棒から、プルートニウムをとりだす工場である。再処理工場の事故は、燃料棒が作られた工場から、燃料棒を運ぶトラックの運転手が事故を起こした。この事故は、プルートニウム製造工場の運転手が、トラックの運転手を運転している間に起こった。

2

# 行きづまる高レベル放射性廃棄物処分

ガラス固化もセラミックス固化もだめ、  
こんな技術は絶対に確立することができない

図1.



ベルの放射性廃棄物の冷却に失敗し、水分が蒸発して1000度以上に昇熱した放射性物質が放出される場合がある。この両者について西ドイツのケルンにある原子力安全研究所(IRS)が内務省の依頼で影響評価をしたところ、だま(仮定)が示した。年間1000トンの処理規模の大規模再処理工場について計算したところ、災害は全地球的規模にまで及び、100キロ離れていても数千人から十万人という致死者の十数倍の被害を受け、さらに一万キロ離れても六のレムの被曝を受けて、全層が早期に死ぬことがわかった。これは、人殺し(殺戮)というに等しい。

それほどのはずで、各原発の使用済み燃料がミニに集中してあり、幼稚な技術とびに等しい防護材料のもとで、二、三層の厚さの燃料棒が何だかの放射性物質が、しかも超ウラン元素を大量に含んで一気にまきさらされるのだから、めっちゃくちゃになる。

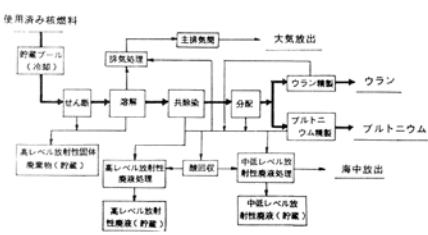
日本では茨城県の大洗湾村に年間二、三トン処理規模の再処理工場がある。図はこれと隣接する小笠原島に放射

また、プルトニウムは核燃料材料であることから、放射性物質として、一カ所に放射線が集中する。天然の中性子から核分裂の連鎖反応を起す。このように核分裂連鎖反応を抑制すると、核燃料が燃え尽きてしまふ。

今回のハンフォードの事故もミラした類のものであり、既知寸前の事

放射性物質を放射した時の影響だが、60レムで全廃して、200レムで4年が早期に死ぬとみてよい。以前、大事故が通例で、原発大事故には100キロ地点の人は30人に一人死ぬと言いたが、再処理工場も想定される放射線がこんなことではないことはおわかりいただける。

図2. 再処理の工程



**既知から核燃料へ**

また、プルトニウムは核燃料材料であることから、放射性物質として、一カ所に放射線が集中する。天然の中性子から核分裂の連鎖反応を起す。このように核分裂連鎖反応を抑制すると、核燃料が燃え尽きてしまふ。

今回のハンフォードの事故もミラした類のものであり、既知寸前の事

**タレ流しも原発以上 最悪の核汚染源**

事故がなくても、再処理工場は核燃料サイクルのなかでも、最も放射性能が濃縮された、最も危険なところ。しかも、それまでは使用済み核燃料のなかにも、タレ流しにも閉じこめられていたものを解放する過程にある。

図2はこの工程を示したものだ。せん断や溶解の工程で大量の放射性の放射線が出る。原発では、放射線放出の年間管理目標は希ガスから、液体に比べてある程度、重水再処理工場では、一日の目標が、希ガス80t、液体70tとなっている。つまり、再処理工場は、原発より1年かかって出すだけの放射線と、たった一

日、数百トンタレ流しを計算にできる。また、半減期が長くて危険な超ウラン元素や、トリチウム(三重水素)も出る。水素の同位体である水の形で存在し、生体内に容易に取り込まれ、(胎児や胎盤)が放出されるのも大きな問題である。

もともと軍事技術だから、そんなに低コストのもの。小規模の事故は日米両国で、東海村の工場は1/2000がたまる。東海村の工場は1/2000がたまる。東海村の工場は1/2000がたまる。東海村の工場は1/2000がたまる。

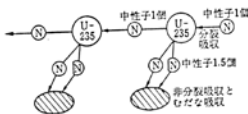
軍事用以外の目的で再処理工場を動かしているのは、これにはイギリスのウインズターとフランスのラ・アーグしかなく、アメリカは72年にウエストバレーを閉鎖している。ヨーロッパでは、このラ・アーグのものも、思わぬ核汚染が環境をこぼしてしまふ。原発をいかにしてタレ流しが問題となっていく。また、ウインズターも事故がたまる。東海村の工場は1/2000がたまる。東海村の工場は1/2000がたまる。東海村の工場は1/2000がたまる。

プルトニウムと燃料とヨウ素の高濃度貯蔵が、軽水炉以上に危険。不安定が高濃度、しかも実用化されない。再処理後の高レベル廃棄物の保管、処分技術は行方不明。メドレーは、再処理(1)抽出した、原燃料(2)の貯蔵と持っ。

3

# part 2 チェルノブイリ 核暴走の恐怖

図3. 連鎖反応



## 核暴走事故とは

今回のソ連の事故は、どうやら核暴走らしいという事になり、また核暴走とは、炉心の連鎖反応の制御に失敗して炉が危上りする事としてそのメカニズムを説明する。

ウラン235は中性子1個を吸収して核分裂をおこす。この際に不重の上ネビギヤードとも呼ばれる3個の中性子を放出する。この中性子がまた別のウランの核分裂をおこすという形を繰り返してゆくと連鎖反応という事になり、この中性子の一部は減速材や制御棒に吸収されたり炉外にもふたりする。そこで、このようにもたに消費される割合を除いて核分裂で出た1個の中性子が平均何個の中性子を生み出すかが重要と表わす重増倍率(じゆうばう)。

簡単にわかるとすると、このKが1のときは、いつもと同じペースで核分裂が維持される。(これを臨界と呼ぶ)。図3はK=1の状態を表わす。そしてK<1だと中性子が減速にかえって反応は増大し、K>1だと反応は低下する。

と聞いて、ソ連した反応は瞬時のうちにひらきもたかから、K=1にすぎないことも、ちょっとでもKが1より大きくなると、またたく間に中性子は道敷図的にふたつしてまう。厚膜からこめていり、そして原子炉は制御できない。しかし、都合のいいことに燃やすす中性子のうち、0.6%ほどは核分裂から0.4~0.10秒ほど遅れて出てくる。これを遅延中性子

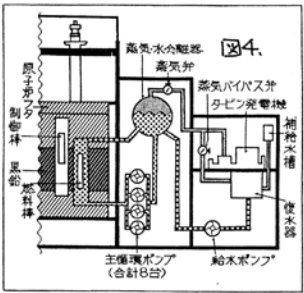
という。大部分が核分裂と同時に発生する即発中性子であるのに対し、この遅延中性子は、分裂で生じた死の灰の崩壊によって発生する。

と、即発中性子にこの遅延中性子を合わせた合計によって、K=1になり臨界になるようにして、この遅延中性子の割合(0.6%)で対応してゆき、この範囲内においてゆっくりとKを操作してゆけば、瞬時に出力上昇をきたすこともなく、炉の制御が可能となる。つまり、全体の中性子のうちの割合ではごく少ないが、この遅延中性子が重要な役割を演じているのである。

しかしこの世に原子炉の生み出した理由だが、この遅延中性子で対応できずに限界がある。Kといふうちにあまり大きく変化させると、即発中性子の増が加わり、必ず計算的に中性子がふたつ以上をこえて暴走してしまふ。だから、制御棒を急に抜くようなことは絶対してはいけない。(即発臨界による暴走)。従って、通常はK=1の近傍で少しづつ動かして出力を調整するのだが、Kと大きくしすぎると、坂をころがりかちるような現象は必ず計算的中性子の増がたまり、手の施しようもない瞬時のうちに原炉は爆発機種の爆性で暴走する。これを核暴走という。

無視されてきた原炉の核暴走の危険性

これは、原子炉が発電所の事故の問題ととらえてきたのは以前の事でも述べた「冷却材喪失事故(LOCA)」



## 瞬時に大爆発 出力は500倍に!

で、冷却水の喪失などによる炉心の暴走であった。これに対し、ソ連した核暴走の危険は原炉では少ないとされ、あまり問題にされてこなかった。それが起こったのだから、たいへんである。

冷却材喪失事故の場合には、炉心の過熱によって放射能が放出され、また一定の時間がかかるのに対し、この核暴走は燃料が数十秒で燃え尽きてしまふので、何の手も打つまいもなく、また爆発して短寿命の放射性物質まで一気にふたつとらふことになるので、より有害である。

ソ連した核暴走の危険は一部の研究者によつて従来指摘されてきたが、実際には危ないと思えない。想定外から発生して来た。しかし、ソ連した暴走に燃えが生じると、このやがたの難しい事実となった。

さて、前でも報告したように、8月にソ連が「チェルノブイリ」事故報告書をなすものが提出された。コンピュータ解析によつて結果を詳しく示すなどして評価できるといふ人もいたが、この間違った。どういふの重要な結果にもついで、解析してゆくと、ソ連した暴走の危険は想像を絶する。そして、この核暴走の危険は想像を絶する。そして、この核暴走の危険は想像を絶する。

図4は、チェルノブイリ4号炉の構造を示す。熱出力30万kW(電圧出力40万kW)のRBMK-1000型といわれ、チェルノブイリは日本の軽水炉の格納容器(お釜)の中に収められているので、合計100本の圧力管に分けられ、これらが炉心から分けていり、冷却水は空気に分けられ、これを下に80本の圧力管がかり、一系統に4分の主循環ポンプ(うち1台は予備)がつかっている。炉心の大きさは、高さ7m、直径10m、圧力管1本の内径は8cmであり、この中に36本の燃料棒(長さ3.5m)が入っている。中性子の減速材には黒鉛が用いられ、この重量は160トンに達する。(核分裂後の中性子の速度は2.2x10<sup>8</sup>%)







# はりめぐらそう 原発のネットワーク

## 原発「大事故」通信

ウクライナより放射能をこめて  
No. 7  
86・11・15

### 10・26集会に参加して

10月26日、東京での原発経路行動へ  
集会とデモに参加した。  
10月26日の反原発「者行動」は過例  
とみているが、こころしはかつてな  
い盛況であった。この日この数千人  
は、茨城の宮下公園などで200〜300人  
くらいが細々とあつまって、しゃほ  
しゃほとやっていたのだが、こころし  
は、一ヶ所多い100名のほどが日  
比谷公園の野外小音楽堂まで埋めつ  
くし、長蛇のデモ隊が銀座の町まで  
こやかにゆり歩いた。

集会のデモの冒頭にこうある。  
「きょう10月26日、政府、電力  
業界は、原子力の日と名づけて  
います。日本で初めて原子力の火  
がともったこの日、私たちはその  
冒険者の火を消すために、二二  
日比谷公園に集まりました。」  
既成団体の動員したものであ  
り、たまたま市民たちが、この  
ひとつの目的のために、自腹を叩  
いて、自らの意思で日比谷公園に集ま  
って来た。デモは、歌と音楽  
と、さんぽ集金が聞かれた。  
そして午後三時、デモ隊は、チブ  
クリの旗と、長い長い横断幕と、そ  
して、「とんでけ原発」と「原発の鬼

いぞとめた色とりどりの風船を手に  
銀座の街へくりだした。  
たまたま録合やせした左翼の宣伝  
カーが、我々をさんざん誹謗し、隊  
員がデモ隊に殴りかかり、あつくの  
理では、この連のチェレノブイリ原  
発事故粉砕、などと、右翼らしく  
しゃほしゃほと同じようなことを  
言ひながら奔走すまざるといっ  
たデモ隊もあつた。

子供も、大人も、男も女も、とし  
てなかに和服姿の若き者もあつ  
た。参加者があつたデモ、た  
より、それと一つにつなげた長い  
横断幕が、東京電力の入口と対鏡  
した。数ヶ月前の文芸座で、参加者  
が手にした風船が、いっせいに空へ  
と放された。

### 勇気ある人々の行動が

集会で私が感動したのは、次のこ  
とばつた。壇上で代表が読みあげ  
たデモの、その一節と次に引用  
したい。  
「15年前オーストリアで原発建設  
が始まったとき、抗議に集まった  
のは、た10人でした。それがい  
まや国民投票で原発の廃止を決定  
すまにいらしました。」  
私は、このオーストリアの人たち  
に敬びたい。10人の人たちの勇気と  
正しい判断が世の中を確実に変えた。  
ほんの少しの人々の行動がひうが  
り、原発を止めた。今こそ、正しい  
目と、そして勇気と誇りとともに、

### ローソクの灯の下で

私は今、この10月26日に、ローソ  
クの灯のもとでこの原稿を書いてい  
る。  
この「反原子力の日」の夜、時に  
いっせいに電気が消えうとうといっ  
びかけがあつた。ゆがた、東京電力  
は、各時から15分間、すべての電気を  
止めた。そして私の部屋では、終  
夜停電を要した。赤いローソクの灯  
がともった。  
原発がひんだ、電気がひんだ、夜  
遅くまで電気がついて寝まじ、あ  
くせく働き疲れて、何の昔か  
生活か。

不便かもしれない、苦悩するかも  
しれない、しかしその苦悩が、人生  
に響かぬくらみと、充実とを予え  
てくれるのではないのか。テレビも  
ない、電灯もない。しかし目の前  
で自分の手で、昼間に切り、明  
つた自分の労働の財産である薪が  
いっりの中で、ほろりと、赤々と燃  
えまて見たときの感動と私は忘れ  
ない。あの水車からのいっりの火の  
明ととて、現かたが燃えま。私の目の  
前の一点のローソクは何と燃えまか  
とつた、原発がひんだ、電気がな  
んだ、とんなくくらない物かいつた  
い何だというのだ。生の喜びとはな  
んだ。生活の充実感とはひんだ。  
「神々明によこせま、自分分のバ  
カバカしさをひとつづつはぎとり、

苦しさや喜びと、厳しさとやさしさ  
とを本心に己のものとし、豊かに生  
き、静かに死んでゆくために、とん  
なくくらないものへのこたわりと、  
乗りこえてゆきたいと思ふうのたま

### 広げようネットワーク

本紙は読者の手により勝手に引用  
され、複製され、郵送されまことを  
何よりも私は望んでいま、これは本  
紙の「一号」に書いた。本紙は、ず  
て「一号」を教えるに至つたが、現在の  
発行体制を認許すま、50部印刷し、  
読者の友人達に、アルバイトを雇  
つて勝手に郵送させていま。  
「一号」以来、10月26日まで、10回に  
私にせうらしたカンパは総額、大  
三五の円である（このべたからいた  
だいた、9月以降、10月26日まで  
にカンパしていただいたのは以下、の諸  
氏である。感謝したい。田中典久  
森剛一、西尾美子、新井常子、  
尾伊市子、佐藤幸子、菅井益郎、  
宮内秀子、湯本文子、水本由美  
以上である。自費出版は相当額とな  
つている。今後ともよろしく願  
したい。

さて私は本紙の発行のほかにも、  
「経営者」の「可」を建設的な「色  
々書いたが、今号では「こころ」に  
私にせうらした人、そして未知の  
方からの便利と認許をさせていた  
く。かなり以前（今号）にいた、  
たものもあるし、一部分しか紹介で  
まないが、お読みください。なみ、以  
下の編集等は水上聡さんにおまかせ  
したい。



# よせられたお便り

北から  
南から



## 5がつ

●東大院生 H.F.エン  
原発通信を送って下さり、ありがとうございます。朝日新聞の「論理時評」で、見田宗介が同様の試みをしていましたが、それより早く早急情報の整理をなさったこと、貴重な御教示として感謝、並びに敬服のいたります。とりわけ、原発は急に止まらないの内容はショックでした。新聞やテレビの報道は、注意して追いかけていたつもりでしたが、全くといっていい程度がかなったこと、です。見田論文にもあるように、日本でも既に安全基準が5倍以上に突出しているとか、科学技術庁のお決まりの「当座、重大な結果を生じおぼやかりな影響はない」との意味は、「二、三コモソリ、一カウント等」の単位の数値の御教示、お願致します。

●慶応大OB、T.I.エン  
時の経つのは早いもので、社会人2年目の今日、新聞を見てみると嫌なことばかりのおさま、暗い様。けれども、落ち込んでばかりいても面白くないので、ウツ暗しに斜読みに精を出しています。近頃の最悪は、こくは、今原発事故による世界日報の記事、ソ連増しのあまり、本当に「報道世界日報」をや、てしまつたのです。核兵器も原発も同じだ、核兵器も原発も同じだ、本當のことを書いてしまい、多分記者の首は飛んだであろうと思われ、大層な罪状。次が、同事業に対するアソビ全体的な反応。私の記憶では米国のT.M.I.事故の時は、こゝに騒がなかつたと思つたのですが、反感情と、絶対起り得ないとされてい、筆の方向が「側面」の原発は安全、東側のそれは危険」と、全く50年代の核兵器をめぐり議論がよつたこと、核は、兵器も発電も同じということを証明してしまつた。推進派の混乱ぶりか、まじまじと感ぜられます。へ日本には、千原との同型炉は無いと言われていますが、東海一も加はどつなるのでしょうか。この事故と機に、日本の一億二千万国民が、考へ直して呉れど困難、のむすか。

●私立M高教員 H.V.エン  
原発大事故通信、拝見致しました。実に、ちとまな龍、意見を述べたいので、ウツ暗しに斜読みに精を出しています。近頃の最悪は、こくは、今原発事故による世界日報の記事、ソ連増しのあまり、本当に「報道世界日報」をや、てしまつたのです。核兵器も原発も同じだ、核兵器も原発も同じだ、本當のことを書いてしまい、多分記者の首は飛んだであろうと思われ、大層な罪状。次が、同事業に対するアソビ全体的な反応。私の記憶では米国のT.M.I.事故の時は、こゝに騒がなかつたと思つたのですが、反感情と、絶対起り得ないとされてい、筆の方向が「側面」の原発は安全、東側のそれは危険」と、全く50年代の核兵器をめぐり議論がよつたこと、核は、兵器も発電も同じということを証明してしまつた。推進派の混乱ぶりか、まじまじと感ぜられます。へ日本には、千原との同型炉は無いと言われていますが、東海一も加はどつなるのでしょうか。この事故と機に、日本の一億二千万国民が、考へ直して呉れど困難、のむすか。

●上智大生 Y.T.さん  
チェルノブイリ原発について、記事「チェルノブイリ」に記事が出ていたのですが、記事「河野」の言う通り、原発事故について日本のマスコミの対応（不対応）には怒りにかかれます。私は有機農業研究会に入っていますが、今回の事故で、飲んでいる牛乳の放射能を気にしたというアレルギーが現れました。この輪を全国に広げられれば、工作中です。



●千葉県民 H.H.エン  
大事故通信拝見しました。私達の白姓の生活にも大きな影響を受けています。今生まれている場で、原発に反対の様に、こちらからかわつて行けるのか、やはり何かしなければならぬと思つて、貴省の許可の行動には頭が下がります。かたよ、と気になる点があります。へ絶対に行きたくない言葉だと思つて、今、全島分助の新聞のコロコロにつけた通信のコメント（急がず狂ったか）で検討してみたい。

●早稲田生 Y.H.エン  
頑張りますね。やっぱり河野さんだなと思つて、読んでみると、この人本気が怒つてもな、というのとてよく伝わってきます。

●東京市 M.V.エン  
通信拝見しました。頑張りますね。全く「全島分助」は何ぞや、毎日、怒りに怒つてますが、一人で

●神奈川 団体職員 M.V.エン  
原発通信を送って下さりありがとうございます。今後は御活躍を祈ります。

●有機農業研究会  
今回の事故で、飲んでいる牛乳の放射能を気にしたというアレルギーが現れました。この輪を全国に広げられれば、工作中です。

●早稲田生 Y.H.エン  
頑張りますね。やっぱり河野さんだなと思つて、読んでみると、この人本気が怒つてもな、というのとてよく伝わってきます。

「原爆大事故通信」 NO. 7  
企画・発行 河野直哉

↑東京都 大事故通信編集部 田代 隆一  
通信が助かれました。東京  
はまだまだまじまじと見ることが  
山手線の内側はあまり好きにならな  
いみたいとホッとして通ってあります。  
先日のサミットの時などは、我々は  
既にオセアニアに居ることと再確認



怒りでも始まりませんから、怒りを  
束ねます。いよいよ、折柄の水車  
村の本家からモヨロのみならず、  
セニウスモストロシナムも出まし  
たね。無農薬有機栽培とされている農  
民から、愛情こめて育てられたもの  
空から降ってくる放射能を思うとど  
うしていいかわからないとコメント  
フマの作物を送り出して、とて捨  
られず、葉っぱもみんな食べちゃっ  
た。そう、できるだけ種一杯やりし  
かならうで、ミネモネオの買  
ったくて知人、友人に送りまくり、  
郵送料に目玉をひっくり返してい  
る葉もいます。60年代のまじまじで  
余った分は反原発へのサインでも足  
らぬか、どうとう貯蓄もたいへん  
人もいますから、そう、怒りに怒  
り原発の火を消し止めましょう。

↑筑波大 大 原 啓  
原爆通信など、リフレ送ってこれ  
てありかどう。河野氏の無農薬の本  
土に感動しています。研究室に居て  
もそうしているが、うちがミヤコ  
折人になり、たつらと見えてシ

↑北上智大 大 K, H, エン  
先日、どうもごめんやまじまじだ。  
又、原爆大事故通信も頂きありが  
とうございました。原発は問題だ、  
と思いつくから反原発を人かせに  
してしまふ心を持たずにいた私で  
すが、あの事故で、本当に明日は我  
が身と関わると、覚悟を決まっています。  
有農産物云々と口をこぼすも、原発事  
故が起これば、農産物もどうかな  
ワケです。よ、みんなもうと願  
と書いてあったけれど、みんな受け  
とめ方がフルというか、どうしよ  
うもないんじゃない、ってカンジ  
も、と願いで本当に止めたい、次  
は日本なんじゃないかと心配です。  
かく言う私も、反原発に身を投じ  
よう、などという事は、まだしません  
が、せめて、大事故通信をまとめた  
と書きます。お金はないけど、服の  
少ない、社会人と大差かして、服  
んば、て次出したいです。



↑愛知果 大 原 啓  
「上と健康愛知1年になり、会員が  
す。九月より河野氏の投稿に感  
てお便りを書きました。私も3年位  
前から自給自足に入っていますか  
地球を獲う放射能の前には、無農薬  
野菜も、健康食品も、空気に存在に  
思われます。三重県の若狭原発反対



↑東大 大 原 啓 K, O, エン  
原爆大事故通信、大変興味深  
読ませて頂いております。

↑長野県 大 原 啓 H, H, エン  
先日、とても素晴らしい贈物、本  
当にありがとうございます。心ほ  
かりで飛箱ですが、切手を同封させ  
て頂きます。何かのお役に立てて  
下さい。

↑三重県 大 原 啓 Y, E, エン  
原爆大事故通信など拝見し、感激し  
ています。何よりも、農協中央会と  
いう境からの発言は、大きな挫折の  
中、書かれておられるだろうし、そ  
の影響もまた、大きいでしょう。全  
連にはそんな勇気のある青年は不在  
の様です。濃連こそ、もとと居と大  
にして叫ばねばならぬのに。これ  
からも頑張ります。

↑大阪府 大 原 啓 Y, E, エン  
原爆通信、お送り頂きありがとうございます。  
ご返事、私自身、断片的に聞  
いている知識、環境学、軍事史エ  
ラム、経済学、社会学問題、から  
して、いつか問題を表面化して、破  
局的な事態に陥りますので、大  
くなくとも、先送りしてありますので、大  
変興味深読ませて頂きました。

に10年前から参加してきましたが、  
共産愛知ではないかと冷い目で見ラ  
れてきました。しかし、今回の投稿  
でとてもホットした気持ちです。け  
れども、国民投票でもしない限りど  
うしようもない。現在、いらいらど  
うのほうがいいです。私は、石油スト  
ーム、クーラーも、ほいでお電代は、二  
千円以内で生活しています。何か私  
にできること、ありますなら、お教  
え下さい。



# 原発「大事故」通信

——ウクライナより放射能を逃がして

No. 80 86.12.15

# チェルノブイリ 死者予測100万人

●悪意に満ちた新聞報道 「死者5万人を」「6千人にすりかえ」

去る8月、ソ連から発表された報告者には事故による死者予測が盛り込まれていた。新聞はこれを「死者5万6千人」と発表したが、これは悪意に満ちた報告者の恣意の予りかえであった。ソ連報告者によっても実は、死者数を4万人と見積もっているのである。またこの点を説明しよう。ソ連報告者では50年間の放射線照射による集団線量を500のラドレムとし、将来4千人のガン死者が生じ、これに甲状腺腫瘍による死者十五万人が生ずるとしている。ところが、これは体外からの被曝にまつだけのことだ。そして、食物なども通して体内に放射性物質がとりこまれていることによる体内被曝の検討を行っている。そしてこの方がはるかに影響は大きく、被曝は5ラドレム1平方メートルにのり書いていいる。ソ連派の計算によればこれにより4万人の死者が生ずることになり、ヤキの体外被曝による死者5万人を加えれば死者十万人以上7万人であらう。連日報道されているので

ら。このことが新聞はどのように重くあつたかの記事と一切無視して、死者予測を前掲の「6千人」にすりかえて報道した。マスコミタヤ、ひさしやさんでいしようもない。

●放射線量数億〜十億 Ci  
チェルノブイリ原発の放出放射線量についての報道も誤っている。ソ連報告者では、放射線量に「1Ci」の記述があり、新聞では「5千万キュリー」を放出し、この他に放射線を放出し、計一億キュリーと報じたが、これも誤りであった。

●ソ連報告者では他国の死者を一切していな。  
ソ連報告者は放射線の量を、5月6日時点の許値と報告書は注意書きしている。最初の濃度でかたりの放射線が小さくおんだだけだから、事故のおきた4月26日にだけだつたが、この間、放射線は、断続的に、この間に蓄積したものを補正する。と一筆に書く4倍になつてしまひ、放射線量を放出したわけだ。

また、ヤキの死者予測については、同様の問題を生ずる。本紙冒頭にも書いた「外野被曝」のラドレム、死者4千人。体内被曝はラドレム1平方メートルにのり書く。ソ連報告者では、他国の死者予測を一切して、すりかえていっている。そして、「1Ci」を考慮して、いっている。放射線量によつて、異なる中のサンプル

ごとく、ソ連派の死者予測にすりかえられたことをいふ。ヤキが50以外については、30km内に2千人、30km外のソ連領内に3千人、計5千人に、ソ連に死者として、いひました。ソ連に、他国へ飛んでい、ソ連に海に飛んでい、ソ連にたつと考慮しなさい。

また、陸地に落ちたに海に落ちた分、ヨーロッパ以外に落ちた分も考慮しなさい。また、放射性降灰は、空中中に落ちた粒子と地表に落ちた粒子を別れたものなの、ガス性のものはいい、ソ連報告者では、ソ連領内に死者として、ガスを性のも、5月6日補正の問題を考慮すれば、放射線量は一億キュリー2億キュリー、単位との推定は容易に算出される。

また、ヤキの死者予測については、同様の問題を生ずる。本紙冒頭にも書いた「外野被曝」のラドレム、死者4千人。体内被曝はラドレム1平方メートルにのり書く。ソ連報告者では、他国の死者予測を一切して、すりかえていっている。そして、「1Ci」を考慮して、いっている。放射線量によつて、異なる中のサンプル

また、ヤキの死者予測については、同様の問題を生ずる。本紙冒頭にも書いた「外野被曝」のラドレム、死者4千人。体内被曝はラドレム1平方メートルにのり書く。ソ連報告者では、他国の死者予測を一切して、すりかえていっている。そして、「1Ci」を考慮して、いっている。放射線量によつて、異なる中のサンプル

れた地球のみ行つた結果にすぎない。ソ連領内でも、計算されていない部分がある。従つて、ソ連報告者で全世界にのり書くにたいして、死者は10万人単位との被曝が出てくるのである。

●「ゴフマンの計算式では死者90万人！」  
とこでも、一定の線量の被曝に対し、どれだけの死者が生ずるかはいのちからである。

ICRPでは1平方メートルに1人、死者としてみたり、これがいよくつきの極端な計算であることは本紙でたびたび強調してきた。ソ連報告者では5千平方メートルに1人としていっているが、また井の中の蛙に立てば、死者数は更に大きくなる。

また、ヤキの死者予測については、同様の問題を生ずる。本紙冒頭にも書いた「外野被曝」のラドレム、死者4千人。体内被曝はラドレム1平方メートルにのり書く。ソ連報告者では、他国の死者予測を一切して、すりかえていっている。そして、「1Ci」を考慮して、いっている。放射線量によつて、異なる中のサンプル

新生児:	65人・ラド
5歳幼児:	75人・ラド
10歳児童:	95人・ラド
20歳成人:	225人・ラド
35歳成人:	365人・ラド
45歳成人:	1,325人・ラド
55歳成人:	20,000人・ラド

各年齢層が混在した被曝集団に、放射線によるガンで1名の死者が出る吸収線量は268人・ラドである。<sup>9)</sup> 1名のガン死あたり268人・ラドとは、268人・ラドあたり1名の死者ができることでもある。

$$\text{ガン死者数} = (\text{人} \cdot \text{ラドの値}) \times \frac{1}{268 \text{人} \cdot \text{ラド}}$$

表2

観測した野から抽出された放射能同位体の組成\*

同位体**	抽出された放射能(μCi/g)		5月6日までの放射能の割合(%)
	4月26日	5月6日まで***	
<sup>137</sup> Xe	5	45	~100
<sup>90</sup> Kr	0.15	-	~100
<sup>85</sup> Kr	-	0.9	~100
<sup>131</sup> I	4.5	7.3	20
<sup>134</sup> Ie	4	1.3	15
<sup>135</sup> Cs	0.15	0.5	10
<sup>137</sup> Cs	0.3	1.0	3
<sup>90</sup> Sr	0.45	3.0	2.3
<sup>90</sup> Zr	0.45	3.8	2.9
<sup>106</sup> Pu	0.6	3.2	2.9
<sup>140</sup> Ba	0.2	1.5	2.9
<sup>140</sup> La	0.5	4.3	5.6
<sup>140</sup> Ce	0.4	2.8	2.3
<sup>140</sup> Pr	0.45	2.4	2.8
<sup>147</sup> Sm	0.25	2.2	4.0
<sup>147</sup> Gd	0.015	0.22	4.0
<sup>238</sup> Pu	0.10×10 <sup>-4</sup>	0.8×10 <sup>-3</sup>	3.0
<sup>239</sup> Pu	0.10×10 <sup>-4</sup>	0.7×10 <sup>-3</sup>	3.0
<sup>240</sup> Pu	0.20×10 <sup>-4</sup>	1×10 <sup>-3</sup>	3.0
<sup>241</sup> Pu	0.02	0.14	3.0
<sup>242</sup> Pu	0.3×10 <sup>-4</sup>	2×10 <sup>-3</sup>	3.0
<sup>243</sup> Am	0.3×10 <sup>-4</sup>	2.1×10 <sup>-3</sup>	3.0
<sup>244</sup> Am	2.7	1.2	3.2

\*放射能±50%、素人の注意を要す。  
\*\*放射能の単位はμCi/g。測定は5月6日までに行われた。  
\*\*\*5月6日までの抽出された放射能。

本紙ではICRP評価より10倍低い100人レム当たり一人を死亡といふマンロー氏の計算式を、これまで何回か紹介したが、ゴフマン氏は更に厳しい評価としており、ヨーロッパの反原発派はこの数値がかなり受け入れられてゐる。

ゴフマンの計算の時数は、前頁の(表1)に示すように、細胞分裂の多い(若し若年層は)影響が大きく、従つて若い人ほど死亡しやすいといふ年齢別評価を行つてゐる。これは、各年齢層を混合してゐる場合より、28人レムあたり一人を死亡とすることを(表1)はうかがふ表現してゐるが、と線の場合は10人レムに等しい。

マンローのゴフマンの式とあはめてみると、ソ連領内の「外野」の人々、体内に2人レム、計2億4千万人レムでは、実に90万人も(100万人)の死亡が予想される。しかも、この死亡のほとんどはソ連領内の「外野」で、しかもC<sup>137</sup>とI<sup>131</sup>の核種で中心を占めてゐる。つまり、核種の結果なのである。

表3 ゴフマンの国別死者推定

ソ連	212,150	スイス	5,700
オーストリア	4,900	リトウエ	1,300
ブルガリア	5,500	ポーランド	35,700
チェコスロバキヤ	3,000	ルーマニア	66,000
フィンランド	4,450	スウェーデン	15,400
フランス	11,800	トルコ	18,000
西ドイツ	39,400	イギリス	13,600
東ドイツ	12,800	ユーゴスラビア	15,900
ハンガリー	1,620	日本	370
イタリア	6,100	計	475,500

セシウムだけでチェルノブイリ事故では実に様々な種類の放射性物質が飛散した(表3)のうちの、初期のうちほとんどを寿命をもっと少なく量も多いセシウムのような赤かすやヨウ素上が問題だが、長い目で見れば、半減期が長く、いつまでも毒や食料、水などに蓄積してつて、食物連鎖のほうに伝へてゐる。その代表格は半減期30年のセシウム137であり、ヨーロッパではこのC<sup>137</sup>による環境汚染が極めて深刻視されてゐる。C<sup>137</sup>は半減期56日ゴフマンは、チェルノブイリからのセシウム放射能(0.17+0.03)を1970年と仮定して、全世界での死者数を計算してゐるが、それによつて50万人の死者が生ずるとしている。表3はこれを各国別に分たしてゐる。(なか、ソ連報告ではソ連領内のC<sup>137</sup>汚染量を100万人と見てゐる。他にヨーロッパの死者数もほぼ同量とみられる。これは、このC<sup>137</sup>の量とみられる。)

とどろきか果てはさらに厳しいと考へねばならぬ。オーストリアはC<sup>137</sup>、C<sup>134</sup>に比べての死者数を推定すると、長寿命核種に比べて、C<sup>137</sup>とC<sup>134</sup>の半減期は28年、C<sup>137</sup>は56年、C<sup>134</sup>は12年と短く、C<sup>137</sup>はC<sup>134</sup>に比べて何の核種の汚染度も多くなる。オーストリア、ソ連、フランス等の放射能汚染のみに比べて、オーストリアでは内野被曝により100人の死者が生ずるといふ。これに他国からの放射能汚染の影響も加へると、初年度以降の放射能汚染の影響は、オーストリアの死者数の半分以上を占めてゐると考へられ、結果は更に悲劇的である。

以上、外野被曝と内野被曝の双方を考慮すれば、世界で100万人単位の死者が推定されても全く不思議ではない。

**深刻な食品のC<sup>137</sup>汚染**

これは体内被曝をさらに増大した原因となる。表4は、マンロー氏が計算した、平均的オーストリア人が一年間に食べる食品の放射能汚染の推定である。これによつて、一年間でおよそ100万BqのC<sup>137</sup>を体内にとりこみ、さらに汚染食品は40ミリレムとなる。

オーストリアの人口は80万人であるので40 mremの人口を乗じ、オーストリアの国民の平均的なC<sup>137</sup>の摂取量は、40 mremに入れば、オーストリアでは内野被曝により100人の死者が生ずるといふ。これに他国からの放射能汚染の影響も加へると、初年度以降の放射能汚染の影響は、オーストリアの死者数の半分以上を占めてゐると考へられ、結果は更に悲劇的である。

以上、外野被曝と内野被曝の双方を考慮すれば、世界で100万人単位の死者が推定されても全く不思議ではない。

**表4 平均的オーストリア人のC<sup>137</sup>摂取量**

場合によつては400倍の被曝もありえた

食品	摂取量 kg	濃度 Bq/kg	C <sup>137</sup> 摂取量 Bq
小麦	129	2.0	258
大麦	80	2.0	160
ライ麦	48	2.0	96
トウモロコシ	19	4.1	78
ジャガイモ	11	0.5	5.5
リンゴ	10	0.3	3
りんごジュース	6	0.4	2.4
ビール	47	0.0	0
ワイン	6	0.3	1.8
牛乳	110	0.0	0
ヨーグルト	68	0.0	0
チーズ	42	0.0	0
バター	36	0.0	0
卵	36	0.0	0
合計	—	—	891



編集・発行 河野直哉

危険さゆめまゝ  
「原発銀座」

それにしては恐ろしいのは、チェルノブイリ4号炉の事故の際、その隣りの3号炉が停止されたのは、4号炉爆発の4時間後だったという事実である。

植田敦氏は「今度も、爆発による放射能汚染のためには炉の運転が不能になるのでは」と心配を表明している。だが、そうだとすれば実に怖いことである。一つ原発が止まると、毒食いは血まみれの心境で、2号炉、3号炉と停らねたらだ、こうしてこの危険を示している。ましてや、近接していくつも原発が集中立地している福島県若狭や、若狭湾沿岸の危険は言うまでもない。

いすれにせよ、今回の事故の原因は100%という低出力での運転に同意があった。多量に出力を落としたため、炉心にたまったXe、Smに中性子が吸収されて出力が上昇してきた。そこで制御棒をあげたが、これによって、しかし出力は上がらない。低出力下では炉心の反応度特性は不安定である。おまけに、反応度の余裕も大きくなく、一時的ゆわゆるぎに対して極めて弱い状態が作り出された。

植田氏は、この低出力運転の傾向が危険な消費電力、その結果一瞬で反応度が急激に上昇した。そしてテスト開始約20秒後の1時23分20秒

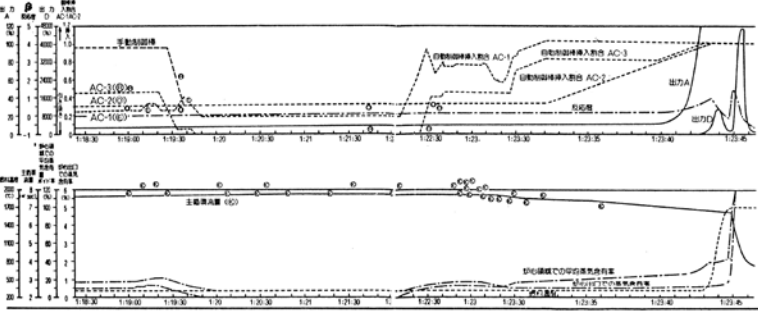
にはすでに制御棒が急激に自動挿入されはじめていたところから、事故はこの時点で始まった。このとき、ソ連報告書ではX線は一切明らかにしておらず、またこの制御棒自動挿入の事故については何ら説明がされておらず、謎の部分がなっている。植田氏の推測が正しいとすれば、今後説明されるべき部分として注目したい。

原者沈没。  
だが放射能投棄と許可したというのが

だ、前に言ったが、ソ連原者の沈没についても触れておきた。事故はほぼ基礎の核ミサイルと横たんだ出力10万kwの原子炉の基を保持する原者の沈没であるが、海洋の汚染が心配される。

言う、この炉は何の許可もなく巨大な放射性物質が海洋に投棄されたことにならなければ、いったい、人類共有の公海であるのに、なぜ許されたのか。誰も許したわけでもないのに、危険さゆめまゝ原子炉や放射能のかたまりが、軍事の名のもとに秘密に、あつらひの海でうつついていく。

そういえば、西武百貨店やソニー連の原子炉衛星が空から降ってきたことがあった。いすれにせよ、とんでもないことである。危険な放射能の投棄も誰にも知らずとなくうつつうつつと進んでいる。危険な放射能の投棄も誰にも知らずとなくうつつうつつと進んでいる。



て認めない。人類共有の海を、空をうつつ以上、人類全員の許可を得るべきである。すくなくとも我は、全面的に反対である。  
★本誌は、日本評論社「モデルゲイリ 原発事故」巻末水戸小出、植田論文などに原発と環境問題の最新論文などを取り上げていくと断つておくと、

ポナスカンパの  
お願い

ポナスカンパの季節になりました。本誌は毎月刊行ペースで如新刊刷し、100部郵送しております。郵送費（人件費アルバイト代）、資料代等、一冊500円かかります。また本誌では、新企画としてまた新たに新刊とリクエスト企画しております（乞ふ期待）。  
実際に吹雪や急激な降雪の所、皆さまのポナスカンパと、暖かいお便りとをお待ち申しあげておきます。おこさまへ、お喜ばせたい。

「あけましておめでとう」の挨拶をきいてから、いろいろな色の中になく、たまたま、ますます暗い年末があと少しあります。手描きの水彩画を期待して下さる方も、おこさまかと思いますが、年初の二枚は本誌の巻末まで、ただです。但例の水彩画の発表書きは、おこさまも淋しい限りです。

年始の二枚挨拶  
失礼させて頂きます。

「あけましておめでとう」の挨拶をきいてから、いろいろな色の中になく、たまたま、ますます暗い年末があと少しあります。手描きの水彩画を期待して下さる方も、おこさまかと思いますが、年初の二枚は本誌の巻末まで、ただです。但例の水彩画の発表書きは、おこさまも淋しい限りです。

①

# 本当に必要なものを みんなでわかちあう世の中に

## 原発「大事故」通信

NO. 9

87・1・1



ますます暗い一九八七年がやってきました。例年ですと、正月はくつろいで気分をすたためたのりけでありますが、年を追うにつれ、ますます悪くなつてゆく世の中をみると、も「あけましておめでとう」な気分を言ふ気にはなれません。これまでも更に危い年が始まるかと皆怪すばかりです。

ふりかえつてみれば、昨年は史上最高のチェルノブイリ原発事故が生じ、ついに世紀末の鐘の音がきこえはじめました。にもかかわらず政府軍は依然原発推進をつつり、それどころか、死者60万人ともいわれるこの大事故に接したはずの労働組合までもが、原発推進を叫ぶ有様です。総選挙での自民党大勝は、取をこうがるように悪くなま世の中を、まことに象徴するところでした。

悪くなま世の中とは、そのときをええれば地球など、このゆれつつどつなつてもかまわない、という世の中であり、既得権の擁護と「合理主義」被さる理の徹底によって弱いものを切り捨てて、他人はどつなつて自分ごとえ生き残ればよいという世の中です。新幹線の運営も自動車社会の蔓延もこの国家もが亦その原因です。たにもかかわらず、これを労働者のせいにする国鉄の分割民営化もその一つであり、石炭産業も同じも同様であり、底辺層下では離職者の雇用吸収のみでもなく、この産業の本根株合理化を進めようという話や、農業もなかなくしてしまふという議論もその一つです。マスコミは算帳を話すと、写真雑誌は時定の人を突きたきにすぎ、いじの社会の産物です。そのなかで大新聞掲載が導入され、シート、ヘルメット着用義務化にみられるように、有無をいわずに必国家権力のみが肥大し、天皇在位の年などという時代進行の危険なムチがたたり、軍費増大と増徴も、それを知らず。

「合理化」の名のもとに強い者、いじめをし、果ては同じ競争にたつて、相互不信と利害衝突のみを差む世の中にはあくまで反対をつつり、本当に必要なものを、みんなわかちあひながら生きまゆく世の中にもつて一歩を踏みだし、一人でも仲間をいやす年としたと思ひます。

一九八七年 元旦 坂野直哉

といつて、本年は現状をいっとい取りやめ、本邦の都達をもつて新年のこめいこうとさせていたまきま

さて全国慰助中央会(常務部)勤務も本年どう早目を迎えます。社会人3年目ともなりますと、身にサビガまといはじのますが、「系統補助の方針」とか「慰助人」といった存在はまるごとなく、自分の頭で考え、農家の人と、消費者と、ともに歩み実践しながら、両者の胸をいくらかひりともつなぎ、農業の、そして地域社会の再生に努めてまいりたいと存じます。

一方、仕事のかたから、田舎ノ浦の茶畑の耕作、水車むら、いろいろはた「福祉会」の企画、本通産の発行や抗議の投書・電話、その他の活動も従来通りつづけてまいります。この他にも本年は新たな活動を考えております。

その一つは共同購入で、大空時代の及人達を中心に、月一回、有機野菜産物などの共同購入の会が結成する予定です。食料教育品目、数量などゆつやかなものにすぎませんが、良りゆいものもより安く、などという身勝手な思ひのかりを排して、これまてつくりあげてきた人間関係を土台に、作者と使う者が手をつなぎ、また住まきたための素材を分ちあひ、心豊かになつて生きていこうと考へてまいります。

2つめに、日本評論社の月刊「経世」の11月号から12月号の連載

載をさせていたたけたいになりました。日常生活のなかから素材を見出し、都市と農村との接点に立つ者として感じたことを筆直に表現することを、四面楚歌にたたさるという状態に光を当てるとともに、自己研鑽の場にもしたいと考へております。

本年も何年より多くお願い申しあげます。

### 新春 エネルギー論

原子力は役に立たない

原発事故の危険性については本誌でしつこく取りあげてきたが、原発がこわいのは良ゆかつた。しかしエネルギーはどうかか」という意向とされることがあるで、踏えておきたい。

まず水に、原子力はけつして「石油にかわるエネルギー」ではない。原子力から得られるのは電力のみで、これは石油の用途のた、たにすぎない。自動車や飛行機など移動用燃料や化学原料や一般熱源など石油の派の用途に原子力は使えてきない。しかも、原発の建設・運転には大量の石油を要する。大型プラント自体石油工業の産物であり、燃料ロケットの採掘・濃縮・輸送も、石油がなければきかない。つまり、石油がなくなれば、原発は全く動かなくなる。とても石油の「代替」などはない。

一九八七年 元旦 坂野直哉





②

しかしこれでもなお、原子力は石油の「節約」にひりつらるとの反論がある。しかしこればかり原因である。原発の建設・運転にはさきよにのべたように大量のエネルギー投入が必要であるが、それ以上に深刻なのは放射性廃棄物・廃炉の管理コストである。放射性廃物を長期にわたって安全な形で処分する技術はすべて失敗に帰しており、今後とも可能と見られる技術者の間でもはや通説。放射性廃物と何万年も管理する以外はない。従ってエネルギー収支は負の可能性が高い。つまり、原子力は長期的にはエネルギーを生み出す以上に食いつぶす「sink」ついでである。

また、原子力は、核融合または太陽エネルギーにのみ、エネルギー問題が解決するまでの「つなぎ」でないとしつ人もいる。ところが、核融合も太陽エネルギーにも未来はない。しかも技術者の間では通説。つまり、石油には替りうる有力なエネルギー源は他に一つ存在しない。

まず核融合だが、これも得られぬのは電力だけで、しかもその技術難問は果てなく、実用化は困難である。たとえ実現したとしても、実にはかたがたい施設と必要とし、建設のために浪費される森林資源など地下資源は膨大であり、さらにエネルギー収支が正にならないうと、絶望的にあきらめざるを得ない。おまけに核融合はグリーンエネルギーだなどといわれぬのは喜ぶべきで、炉はすぐ放射化して使いものにならぬく

り、巨大な核のゴミとならうと、日常的に放射性物質（トリウム、ウラン）をたし流す。

太陽エネルギーもたいて、太陽からの放射エネルギーを使おうとするには膨大な設備とそれのための莫大の大量投入を要し、エネルギー収支が合うとは考えられぬ。

つまり、石油こそが最後の資源だったのである。用途も広く、最も扱いやすい（つまりそのための資源、エネルギーコストがたかくても）資源だったのである。従って石油以上に「密度の高い」たとえは原子力、さらに核融合にエネルギー源でも、反対に「密度のつよい」たとえは太陽エネルギーにエネルギーでも、ともに熱力学的に不利である。これはいかなる技術でも、としてもたいて、技術をも、と迂回生産にも、この条件が可能になったとしても、完全体の効率は低くなる。つまり難しい技術により、エネルギー開発と進められは進むと、物性という現実的問題に直面する。そこから設備は巨大化し、稀少な地下金属資源と大量消費、地下資源の枯渇と一層早め、その一方で迂回生産にも、原発が産物などの汚染はますますはかりである。これは物理の障壁である。

問題は、優秀な技術があり、今の世の中があるのではなく、優秀な資源そのものがあつた。このため今この世の中があつたといつてもいい。技術が進歩したとしても、優秀な資源が見つからなければだめで、つまり、原子力とか核融合とか太陽

とか、石油よりもはるかに「劣悪」な資源を用いてエネルギー開発を進めたとしても、それは迂回生産による地球の汚染をいっしょに促進するのみであり、また廃物・廃炉による地球汚染と「廃棄物処理」にせよのみである。

本道はそうやって遊んでいけばずむかどうだろうか。しかし、石油の汚染はどのくらいか。優秀な資源はみんな使いつくした、それだけ残されたのは放射能はじの大量の廃物、残されたエネルギー源もないに先代の残した欠の尻を管理しつづけるだけばならないという難題が課されるのである。

**原発問題とは エネルギー問題ではなく経済の問題**

ニつれてみてみると、原子力はあつるか、核融合もエネルギー問題の解決にはならないのである。なのになぜ原子力開発をすすめるのか。それは、原子力が産業としてつかうからである。労働組合が反対しないのも、産つても、金がもたらさるからである。

つまり、原子力とはエネルギー問題でも何でもなく、経済の問題だつたのである。悲しいが、エネルギー問題など、本当は誰もまじめに考えてない。たつたのだ。まじめに原発・エネルギー問題を考えれば、原子力は最もあつた資源であつた

なぜならエネルギーを食いつぶすから。しかしこれでも原子力開発をすすめるのは、迂回生産による、とどろいてきたいものを作り、汚染をばらまいてきた処理さつた。たつた。自給自足とつづける現代産業社会にかけざる有力な全まわりの道具に役立つからにはかたがたない。

私に言わせれば、「原発がなくなつたらエネルギーはなくなる」といふ人はほとんど外的で、原発問題がエネルギー問題だと考えるのはよほどあつた。世の中、全てがカネになりつつある。原発とは、資本家も、労働者も、皆者、みんなメシの種にする。カネにならなければ、かたがた原発問題とは、こうして経済にしがみつくか否かという問題のみである。こんなこと言つて、ついでに「原発問題とはエネルギー問題だ」といふのが世の通説になつていまいけれども、それは完全なワソである。

私が原子力の問題と追いかけて来てつくづく感じるのはこのことである。「原発がなくなつたらエネルギーはなくなる」といふ人、人は言う。しかし、どうでもない。たつた。原発がなくなつたら、産業がたつた。景気が悪くなるまで、失業するまで、というものがほんとうの意味なのだ。

ではどうすればよいか。以下、新春の初巻に、「原発のよい世の中で描いてみた」。



# 原発「大事故」通信

No. 10  
87.2.20

## いよいよはははじめた 汚染食糧が

実の定、およびやく、出たものが出はじめた。五の新聞記事のとおり、チェルノブイリ原発事故により、極めて高濃度の汚染された食糧ものが、日本にもやってくる見込みだのが、(見出しは) 西日本新聞、本文は冷嘲新聞。

それよりもつとむじ(話)は、下の記事である。立花隆が、「連載・情報ウォッチング」として、『週刊現代』に書いたものである。昔すまじの寒くびる、(宋) 慶(宋) 語(宋) ので、細かくて読んでも、(宋) 語(宋) が、全文、じつくりと見せまじい。

### 輸入ナッツから放射能

ソ連原産 トルコ産、基準値超す

【本紙東京20日電】ソ連原産のナッツ類が、放射能汚染されていることが、厚生省の検査で明らかになった。検査されたナッツ類のうち、トルコ産のナッツ類は、放射能汚染の基準値を超過していることがわかった。厚生省は、このナッツ類の輸入を一時差し止めるよう、関係国に要請している。



### チェルノブイリ事故の被害はますます

軍需品に力を入れている。軍需品の原料、一月分を減らして、(位) 防共兵器はハリウッドを殺すなどのニュースが、(位) 著書で知られる。田嶋氏が、「チェルノブイリの汚染食糧」と題して、次のように書いていた。

「チェルノブイリの原子炉が爆発したあと、ソ連ではウクライナの設置地が壊滅した。チェルノブイリは、(位) 減少した。チェルノブイリは、(位) 史上最大の汚染に見舞われた。小売、(位) ともなう。この殺戮を、(位) 撲滅してしまつたのである。ソ連の殺戮の量は、(位) 史上最高の一億二千万、(位) 数字が、(位) 十一月に報じられた。果たしてこれは、(位) 流れ、誰が食べるのか」

「これは次の通りである。ソ連の殺戮の量は、(位) 史上最高の一億二千万、(位) 数字が、(位) 十一月に報じられた。果たしてこれは、(位) 流れ、誰が食べるのか」

んでいる。私は私に新聞を読むほうだが、こんなニュースはひとつも読んだことがなかった。広瀬氏は次のように書いていた。  
「以上のわずかな事件のうち、私が日本の新聞とテレビから知つたものは、わずかにウイリエンの一件だけだ。新聞をすみからすみまで読み返し、テレビのニュースを見続けても、これほど深刻な問題があることさえ、知ることができない」  
このような重大ニュースが、日本の一般のニュースメディアからは伝えられてこないということは、大問題である。

「チェルノブイリ」の原産地が壊滅したあと、ソ連ではウクライナの設置地が壊滅した。チェルノブイリは、(位) 減少した。チェルノブイリは、(位) 史上最大の汚染に見舞われた。小売、(位) ともなう。この殺戮を、(位) 撲滅してしまつたのである。ソ連の殺戮の量は、(位) 史上最高の一億二千万、(位) 数字が、(位) 十一月に報じられた。果たしてこれは、(位) 流れ、誰が食べるのか」

### 知らずに汚染食糧が入る恐れも

結果、ニュース源をたどると、AP、UPIが流した外電だったのである。だが、AP、UPIなら、新聞も放送も、各社が全部行っているはず。これらのニュースも各社の外信部まではじいたのである。だが、ボツになっていたのである。

外電各社が流しているニュースは、テレリンクから二十四時間無休で、ひっきりなしに吹き出されてつづける。その総量は一日に十二万回、(位) 十二年分はなになる。

実をいえば、その大半は日常的にボツになっているのである。外電を伝える紙面や時間がそれほどあるわけではない。記者やデスクの判断で、片断から捨てられている。外信部も入ってきた外電で、新聞、放送を通じて、ニュースとして国内に流されるものは、おそらく、せいぜい一行くらいでないかという感じが、関係者の大ざっぱな推測である。それくらい少ないほうが多いのだ。

チェルノブイリの食糧汚染のニュースも、(位) 一つ一つ小さなニュースは見なされ、他のもっと大きなニュースに埋没されてその度にならなくなったのだらう。しかし、(位) 一つ一つ小さなニュースでも、こうしてならべると、大変な食糧汚染が起きていることが、国際的な問題になっていることがわかる。先にのべてきたように、日本にも、隠れたルートを経たり、隠れた形で加工されたりして、いつ汚染食糧が入ってくるかわからないではない。

### 一つ一つは小さなニュースでも

汚染食糧が運ばれてはじめて、世界の食糧市場の中を通じはじめて以来、それがいつどのような形で日本に入ってくるかわからぬものではない。ここに報道されている例に見るように、原産地から別の国を経て輸出された、加工食品になったりして運送しているのだ。ソ連から食糧を輸入していないだけでは安心できないのである。食糧輸入国の日本にとつてこれは人ごころではない問題である。

だが、これを読んでいて、疑問に思つたのは、広瀬氏ほどこのニュースを知つたのである。  
「ダイヤモンドBOX」の新年号を読んだら、その疑問が氷解した。広瀬氏が書いた、チェルノブイリは地球を殺す」という記事の中で、これらのニュースをどうやって得たのかを明らかに自分でやっているのだ。

広瀬氏はダイヤモンド社のMDB(イデータベース)を通じて、世界最大のデータベースダイアログに接続し、AP、UPIのニュースファイラを呼び出した。  
「汚染」の三つのキーワードを「検索」すると、AP、UPIがこれまで流したニュースのうち、この三つのキーワードをすべて含むものが出てきた。それが



1

# 原発の全面廃絶を

## 原発「大事故」通信

NO. 11

87.3

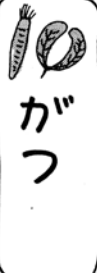
ウクライナより放射能をこめて

本号では、再びNo.7号以降に「E」  
いたお便りを紹介しよう。紙面都合  
合上、一語しか紹介できませんがお  
読みください。

「反原発のステッカー、不審の手紙」  
手紙を元に大量に在庫があります。  
無料で差し上げますので、ほしい方  
はどんどん申込んで下さい。  
なお、以下の編集は美濃茶婦マ  
んにお手伝いいただきました。

### 不安の声次々と 農協青年大会で初の原発論議

第三十三回の全国農協青年  
大会が一月十九日から三十  
日にかけて、東京の日本青  
年館で開かれた。この大会は  
十六万人が参加する全国農協  
青年組織協議会（非協）の総  
会として毎年行なわれている  
もので、今年の特徴は、緑と  
食料を大会で、原発について  
の議論があったので、紹介す  
ておきたい。二十九日の六つ  
の分科会のうち、経営環境対  
策という分科会が、各地で環  
境強化や空かん、空びん、公  
害などの問題とともに、原発  
を取りあげられたのである。  
青森県代表が、核燃料サ  
イクル基盤計画や原発計画の  
問題点を書いた資料を配布し  
取り組むを勧告したのきき  
つけ、同県代表は、昨年十  
年四月五日に学習会を開催し  
て以降、核対策委員会を設



がが

●長野県 I・Hさん  
原発「大事故」通信、本白再受  
いたしました。私の飼っている山羊  
の乳をえ、チエルのアイリの放射能  
を浴びていて、人様に有害はあるの  
か？の思いであります。この前諏訪  
市で合成洗剤の基金のあと、教人の  
仲間が見えて話はどうやら焚き論、  
それが単なるフィクションではなく  
リアリティを持って来たことにショ  
ックでした。時と同じくして政治も  
経済もゆきゆき。ヨハネの黙示録  
が現実となりませんように。



がが

●東京都 M・Iさん  
消灯キャンペーンを呼びかけた者  
です。原発「大事故」通信を西尾漢  
さんより拝見いたしました。  
すぐに感じて下さってとても嬉し  
く感謝しました。すべての原発がな  
くなるまで、毎月26日と呼びかけ  
ています。今後ますますしくお願ひ  
いたします。この美しい地球を守るた  
めに今できることからやってみてい  
ければ、と思います。

と云うが、代表からは、  
次のような報告や意見が続々と  
出された。  
「農協としては取り組んで  
いないが不安がある。電源三  
法の金もたんとなくなるとい  
う。福島「事故」が起これば  
ミカンが売れなくなるだろう  
生活がカネ中心になり、子ど  
もまで影響されて、原発  
がまたたかざるです。愛  
媛「開心」は、非常に高い。批  
評だけでなく、自分たちの考  
える原発はこうなんだという  
のを対面するべき（新築）は持  
つて、しかも道庁として反  
対を表明するに至っています。  
ない（北海道）「人間の生存  
にかけて、せつないも取り  
ていたくない」も取り  
たなかたもの。形にはな  
らなから、初めから、安全  
会では原発問題が議論に  
なつたことは注目している  
と思う。（大会参加者 M）

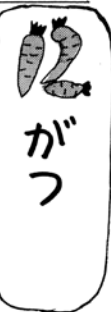
●東京都 K・Hさん  
アア チェルノブイリ  
タイハイノ、ネムリヤ、サマス、チ  
エルノブイリ、タッタ、ツキデ  
セカイ、ユルガス、オドロイタ、チ  
エルノブイリハ、2、カイ、ア、ア  
X、リカ、イレバ、3、カイ、30  
ネンモ、マエデスヨ、ウラル、チホ  
ウノ、カクシセツ、ドコノ、ハセ  
タヨ、カザン、ア、ミハラ、ヤマ  
モ、ビツクリダ、コレゾ、カ、シ  
ル、ヒトゾ、シル、「ウラル」、カ  
クサンジ、ゲンスイバク、ジツ  
ワント、カタラ、ナラヘル、ダイバ  
クハツ、バルド、ロフス、カラ  
ナン、ボウハ、チエリヤ、ベンスク、X  
ザンテ、イチ、チヨクセン、マンナカ  
アタリガ、キシユテム、ダ、ソノ、  
キシユテムガ、ソノ、バシヨ、サ、イ  
マデモ、ソコノ、ソノ、ハ、ウエイ、ハ、  
ンスト、ア、カケマ、ワ、ロ、テイ、ソ

反原発新聞 87年2月号

編集発行  
河野直球

クウンテンモ、ゴハットゲソレ  
ン、セイフハ、イフサイ、ヒミツ  
シン、ガン、ラジオモ、ナンニモ、イ  
ワヌ、ソレン、コクミン、ナニモ  
シラヌ、トコロガ、ドツコイ、ホウシ  
ヤノウ、デテクル、デテクル、アツ  
チコチ、ドウアツガ、クシヤヤ、キシ  
ヨウガ、クシヤ、チニツガ、クシヤニ  
シヨウガ、クシヤ、ヤマ、ノ、ミ  
ツケタ、イ、ジヨウ、アタイ、ソレ  
ヨマタ、コレイ、ワイ、リ、ヨウ、シ  
テイ、イ、パイ、カイ、タ、ガ、ジ、エ  
ツ、ロン、バン、コレハ、オカシイ  
ナニカ、アル、イ、ロン、ナ、デー、タ、ラ  
マト、X、ア、ゲ、ソ、ニ、ツ、キ、ト、ム、オ  
セン、ゲン、ヤット、ワ、カ、ツ、タ、ジ、コ  
ノ、ト、シ、ジ、コ、ノ、キ、ボ、ケ、レ、ド、モ  
Vレ、ハ、ロ、ス、ウ、ネ、ン、ク、ロ、ウ、ニ  
ク、ロ、ウ、ラ、ツ、シ、カ、サ、ネ、ヨ、ウ、ウ、フ  
カ、ク、ニ、ン、デ、キ、タ、コ、ト、リ、ヨ、ウ、ア  
ン、テ、キ、ナ、カ、ガ、ク、シ、ヤ、ガ、ニ、シ、ヨ  
ー、ロ、ツ、パ、ニ、ボ、ウ、X、イ、シ、テ、ヨ、ウ、ヨ  
ウ、ハ、ツ、ビ、ヨ、ウ、デ、キ、マ、ミ、タ、ア、X  
リ、カ、ノ、C、E、A、ハ、シ、ツ、デ、イ、タ  
レ、レ、ド、モ、ダン、マリ、キ、X、コ、ン、ダ  
20、ネン、カン、ガ、マ、ツ、テ、タ、ウ、チ、エ  
ウ、ノ、ス、パ、イ、エ、イ、セ、イ、ガ、ミ、ツ、カ、リ  
ジ、ツ、ヤ、リ、シ、リ、ナ、ガ、ラ、ハ、ツ、ビ、ヨ、ウ  
シ、タ、ノ、ハ、77、ネン、ケン、パ、ツ、ド、  
ツ、サ、リ、ツ、ク、リ、ア、ゲ、ウ、ン、テン、ハ  
ジ、ツ、タ、ア、ト、シ、ン、タ、  
ア、ア、...

1



●神奈川県

H.Hさん

いつもお心にかけていた頂き、通信誌をお送り下さりましてありがとうございます。社会科学には三つの大きな視点があるようにです。「体制」と「階級」と「民族」です。しかし、小生にはどうも第四のもっと大きい視点があるように思えてなりません。

それは「技術」というものです。この自律的發展性は止めようがなく原子力を始め人類の権を次々に創り出し、やがて人類すべてを滅ぼしてしまうのではないのでしょうか。それなるが故に、今こそ技術文明に對する大きな批判撃力の存在が重要なのであります。

さて、いつも通信誌をお送りいたでくのみでは心苦しく、ここに少々ですがカンパを同封しましたので、切手代などに充当していただければ幸いです。ご活躍を祈りつつ、

●千葉県

S.Mさん

原発大事故速報、お送りいた頂き有難うございました。No.7の「事象ある人々の行動」が何人から始まり15年後には廃止の国民投票に持って行き決定されたとか、驚きました。でもよく考えたら、地球を包みこんでいる空気に放射能が混りまじ、これほレーガンも中曽根さんも、死の商人も金のマスクをしても

避けられないものだと思っております。彼らたちに、こんな単純なことが理解されないなんて、偉い人って意外に頭弱いなんだな」と思ったりします。コピーを配ってお読みくださいとお願ひしています。

●埼玉県

M.Sさん

先日、わざわざお電話頂き有難うございました。わが社ですが郵送料を送らせて頂きます。遅くなって申しわけございませんでした。お忙しいとは存じますが、どうぞこれからお願ひ申し上げます。

●東京都

H.Gさん

謹啓 寒波の候、貴兄におかれましては益々御清祥の程、万事が申し上げます。郵送料として些少ですがお送りします。

●東京都

N.Aさん

お手紙なうびに沢山の別冊を郵惠贈賜りまして有難く存じます。昭和二九年のビキニ模様の水爆のとき、海洋汚染の調査でひどい経験がありましたので、チェルノブイリだけでなく各国での原発問題には少くも絶望的ですが、貴兄のように唯一人でも活動を続けられる御発意に感銘いたしました。



●中国より

S.Mさん

大事故速報は進んでいますか？お仕事の方は相変わらずですか？私は現在、前掲のタイ族の村を目撃すためその途中地点にいます。明日はいよいよ亜熱帯植物の空撮とされるタイ族の村に入る予定です。中国では市場見物ばかりして豊かな食べ物の空気を振りまわっています。それでは、よいお年をお迎え下さい。

●東京都

K.Hさん

ゲンパツ、ダイジコ、ツウシン、イツモ、オオク、イタ、ダイテ、アン、リガトウ、ゴザイマス。コレハ、セン、アカハタト、クラベラ、ル、ヒジヨウニ、ダイジデ、キチヨウ、ウナ、シゴトデ、アルト、オモイマス。ケンシンテキニ、ハッコウワ、ツツケラレ、アナタニ、ケイフク、シテオリマス。

エンジツ、タマタマ、ユウビンキ、ヨクザ、タイセイ、ベツタリノ、ク、ラフツシ、フオト、ヲ、ミマシタラ、シモキタノ、カクネノ、ノ、ツタエテ、オリマシタ。ア、ア、イウ、スイシンガワノ、モノヲ、ミ、テイル、カギリデハ、ケンシリョク、ノ、カイハツモ、フソウノ、カリョク、オハツデンジノ、ケンセツナド、オナツシヨウニ、ナツトモ、キケ、ンデ、モノアントモ、ナク、ミエテ、クルカラ、オソロシイ、コトデス。イマノ、ケンシリョクノ、スイシン、ント、コノマエノ、タイハイヨウセ、ンソウノ、スイシメント、ヤリカタ



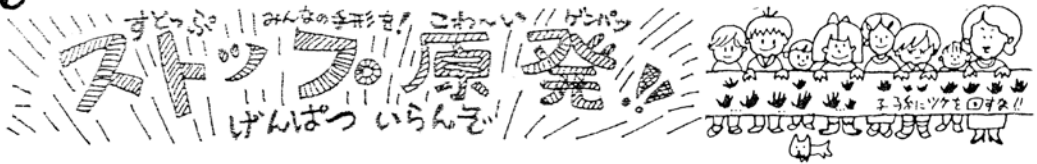
●東京都

M.Iさん

おけましておめでとうござります。大事故速報、送っていたままで、ありがとうございます。毎月あれだけのものを、お一人でも発行されるエネルギーはたいへん大事だと思えます。私など書かれたものを一気にと読んでしまうだけで申し訳ない気持ちになります。

年が明けてしまいました。わが社ですが、ボーンスカンパをさせていただきます。重い年が明けたと思っていました。一日一日の時間の流れは、以前と変わらなかりました。どうか、静やかに送り過ぎてしまします。消灯キャンペーンは、さして広が

3



もせず、仲間たちと細々続けてい  
ますが、灯りを消した牛乳缶がなんと  
もいえず、やみつきになりそう、と  
いうところで、(自画像)です。  
今年も御健闘をお祈りしています。

● 中華人民共和国 留学生 K.T.J

● 新倉愉快、新歳平安、  
あけまして、おめでとう。日本に  
いるときには通信を送って来てあ  
りがとう。

● 東京都 東大院生 H.H.J  
初春  
旧年中は大変の世話になりました。  
本年もよろしくお願します。私は  
誕生日が4月26日です。  
飛行者4月26日とはもちろんなり連  
日です。  
〇〇〇〇〇〇〇〇原発事故の

● 静岡県 水車むら T.U.J  
危走倉庫  
例年の如く版画を含む賀状バスト  
テン入りしているのに、本年は何と  
とか、こつそり一枚タキノヤへ書き  
なさい。将来この一枚は価値になる  
だろう。

● 長野県 I.H.J  
賀正  
昨年はいろいろ取って頂いて感謝い  
たしてあります。  
核、このやべの生物と共存不可  
能を何政企業も政府も推進するの  
か、永い目で見れば、俄りに停って未

はないのに。札幌七若共、三原山で  
のあんなに過剰反応する行政。そし  
て無関心の大衆。地上から核をなく  
さない限り安全な日は無い。

● 神奈川県 敬賀 A.W.J  
明けましておめでと〜うごいませ  
通信をいっつも送っていたにいて  
のに御無沙汰してしまい申し訳あり  
ません。来年就職する段取りがた  
りつありませう。そうしたら今う  
うな生活もできなくなるまで、い  
細々とでもかつかあいがいませう。

● 東大生 S.I.J  
あけましておめでと〜うごいませ  
本年もよろしくお願します。  
水戸さんはやはり絶望的なの  
うが。秋決の事と想い出していま  
す。成された我々が... 亡等とい  
ながら体が動かかないのはやはり愚  
としか言えないが、なく恥しいか  
です。

● 反原発の科学者として、私  
たちの先頭に立ってきてい  
たいた水戸敬賀先生へ芝浦  
工大、核物理学(が冬山の  
北アルプス)へ(創造)で遭  
されてしまわれまし。教  
年前には山中湖の東大の新  
入生歓迎会席における水死  
事故では、エロロジを考  
えま余り会見でもあった水  
次者も長つてあります。水  
車むらりの中山善一さん、沖  
縄の玉野井先生、和歌山の  
宇治田さん、エントロピー

● 神奈川県 敬賀 M.N.J  
賀正  
御無沙汰してます。原発「大事故」  
通信をいっつも読ん読ん読ん  
つてます。  
悲しみがこみあけてます。

● 神奈川県 敬賀 S.M.J  
謹賀新年  
いっつも大変勉強になる情報があり  
がとうございませう。今年もご活躍下  
さい。農業再建のため、ともにがんば  
りませう。

● 大阪府 敬賀 T.U.J  
あけましておめでと〜うごいませ  
旧年中は、原発アらし〜ん〜ん  
に在りませう。返事の方は急遽して  
おります。返事の方は急遽して  
ますが今年もよろしくお願します

● 東京都 敬賀 H.A.J  
謹賀新年  
貴君のお送り下さる「原発「大事故」  
通信」は、毎月拝読致しております。貴  
君の旺盛な行動力に敬服するとともに  
新聞に掲載されない事実が余りに  
多いことに驚いております。



● 東京都 敬賀 T.M.J  
明けましておめでと〜うごいませ  
多様な本業との合い間をぬっての  
作、いっつも感服して拝読して  
語りあいたいませう。

● 東京都 敬賀 T.H.J  
新年おめでと〜うごいませ  
敬賀 敬賀 敬賀 敬賀 敬賀  
語りあいたいませう。

● 神奈川県 敬賀 T.U.J  
あけましておめでと〜うごいませ  
これかうも付良く、いろいろな運動を  
通じて輪を広げる為にかんばりま  
しよ。

● 東京都 敬賀 Y.E.J  
賀正  
毎日、原発事故の新聞を送って  
来て、どうもありがとうございます。  
今度カンパをします。

● 東京都 敬賀 M.N.J  
あけましておめでと〜うごいませ  
「通信」どうもありがとうございます。  
興味深く読ませて頂いて、いっつも  
何かと大変でしょうが今年もがんば  
って下さい。

3



●兵庫県 K.G.&H.G.  
謹賀新年  
いつも通信ありがとうございます。読者と励まされます。急げ者の私が恥しい。元気で。

●静岡県 M.M.  
新年おめでとございます。  
いつも通信ありがとうございます。今年もよろしく。

●筑波大 院生 H.A.  
毎度、堂々たる通信、がんばってください。つくば4年間はもうそろそろ終わりに近づき、同好のようないイベントを打ち上げます。4年前で、1回目の花火です。た、ネットワーキングといふながら、身体的なタフネスがないのが特徴でもあり、弱点でもあることや。私たちが、今後どうなることやら。私たちが、不手の手紙が実は「幸福の手紙」だったというパロディをみごとに渡じられた方がいいと思っております。

●京都府 ひょうたん島 島民会議  
あけましておめでとうございませう。化がねばならず、あせってもなからちいさな声、ちいさな一歩が。今年もどうぞよろしく。

●東京都 K.F.  
新春を看す謹んで御祝詞を申し上げます。  
いつも反原発 News をありがとうございます。

●和光大 教員 K.O.  
厚き通信の発行、御苦勞までです。大変だと感じますが継続を期待しております。



●茨城県 K.S.  
M.V.様より原電大車、故通信版を送って頂き、読ませていただきました。皆様の一連の活動へ大変エゴ考、エントロピー概念、水車毛、そして原電：シには只々頭が下がります。今は只、シンパとしていただけに苦しく思いますが僅かばかりの長持を同封させて頂きます。御役に立てば幸いです。

●千葉県 「核断まっぴら会」 意見書を募集  
私は工と健康の読者です。先生の工と健康誌9月号の原電事故がモテラチモチはと興味深く読んでいたできました。私たちが、原電の延長線上にある核断に反対しています。あつがましいお願いですが、私たちの趣意に御賛同いただけましたら、カンパの御協力よろしくお願ひ致します。

カ△△  
ありがとうございます

昨年10月27日以降、今日までに以下の方からカンパをいただきましたのでご報告します。寺尾忠能さん、佐藤孝人さん、中村尚司さん、瀬尾孝さん、寺田良一さん、宮田せいさん、種本恭一さん、矢澤潔さん、湯浅敏之さん、安藤芳さん、平出和夫さん、合田秀樹さん、佐藤寛夫さん、井口みどりさん、市谷壮さん、中島大さん、柳湯俊之さん、合原亮一さん、白井水衛さん、東原乃さん、謝村錦司さん、中島大さん、中野芳彦さん。――昨年10月27日以降のカンパ総額は、合計4万6千円の円です。どうもありがとうございます。



「原電組織的松反撃通信」  
もあつて刊行開始！

本誌の姉妹版として、「原電組織的松反撃通信」も刊行を開始しました。これは、新聞・TV等々誤った報道がなされたとき、そのつど、その報道内容と問題点について批判を加え、おつたえ可能な速報版です。すでに「も」発行してのりありが、速報版という性格から、全面的に届けようことができません。一部のオハの郵法に限り、マあります。松反撃通信を送ってほしいという方は、私までご連絡いただければ、以後もれごとお送りします。

「けしからん新聞記事」  
募集！！

右の通信の材料にするための、けしからん新聞記事なども募集しております。

新聞、雑誌、TV等、マスコミの報道をのぞいてもうこうです。けしからんものを見つけたら、とにかく書いて、すぐに私までご連絡ください。お願いいたします。

編集・発行

河野直哉



# 原発「大事故」通信

No. 12  
ウクライナより放射能をこめて  
87.5.12

チェルノブイリ1周年  
4.26  
反原発行動  
参加ありがとう！

## 原発ない社会を

### チェルノブイリ事故から1周年



チェルノブイリ原発事故一周年の反原発デモ。26日午後、東京・茗荷谷で。

### 約千人が集会、デモ

日比谷 多彩な催し、アピール採択

「チェルノブイリ原発事故一周年」を記念して、東京・日比谷公園で約千二百人が集まり、反原発デモを行った。

集会は、首都圏のほぼ全海運や東北の市民グループの代表者や新幹線建設反対、主婦や子どもなどにより、放射能汚染の防止を訴え、また福島県産物の購入を促すなど、多彩なアピールが行われた。主催は、首都圏のほぼ全海運や東北の市民グループの代表者や新幹線建設反対、主婦や子どもなどにより、放射能汚染の防止を訴え、また福島県産物の購入を促すなど、多彩なアピールが行われた。

### NEWS NEWS NEWS

- 今号には、2種類の付録を同封しております。
- ①「週刊アヘイボーイ」5/19号の表紙……本紙も取材と受けて掲載してほしいのでおみせ下さい。
- ②「経済セナー」(日本評論社)4月号、5月号コピー表紙と農村とあそぶの。というテーマが連載しています。

## 反原発の集會 世界で日本で

### 「チェルノブイリ」1周年 主婦参加めだつ



いろいろな団体が集まって開かれた「4・26原発とめよう」東京行動。反原発の寸劇も登場。26日午後、東京・日比谷公園、小音楽堂で。

「チェルノブイリ」1周年を記念して、主婦を中心に、さまざまな団体が集まって開かれた「4・26原発とめよう」東京行動。反原発の寸劇も登場。26日午後、東京・日比谷公園、小音楽堂で。

「チェルノブイリ」1周年を記念して、主婦を中心に、さまざまな団体が集まって開かれた「4・26原発とめよう」東京行動。反原発の寸劇も登場。26日午後、東京・日比谷公園、小音楽堂で。

「チェルノブイリ」1周年を記念して、主婦を中心に、さまざまな団体が集まって開かれた「4・26原発とめよう」東京行動。反原発の寸劇も登場。26日午後、東京・日比谷公園、小音楽堂で。

# 「煙でまた原発事故！」

「チェルノブイリほどじゃなかったから大したことはない」とは何事か！ 原発事故が常態化し、「事故なれ」してゆくこの愚鈍さと異常さ！

25日、チェルノブイリ事故一周年を記念してロンドン市内をデモ行進する反核運動グループ＝ロイター



ロンドン  
【ロンドン二十日路透電】増強された反核デモ隊は、ロンドン市内をデモ行進する反核運動グループ＝ロイター

## 欧州で反核デモ

チェルノブイリ事故一周年

【ロンドン二十日路透電】増強された反核デモ隊は、ロンドン市内をデモ行進する反核運動グループ＝ロイター

チェルノブイリ事故一周年

## 欧州で反原発デモ一周年

【ロンドン二十日路透電】増強された反核デモ隊は、ロンドン市内をデモ行進する反核運動グループ＝ロイター

久し振りの「大暴動」です。といふまでもない。何となく、チェルノブイリ事故一周年の日にあたり、しかも日曜日である4月26日に開催された「反原発行動」に、人も多くの方の参加を得た。その中心に、筆者のうちから対象をいくぶん絞って、精力的に風刺パースで「反原発行動」を宣伝し、郵送して参加を呼びかけた。同時に、反信用のハガキを同封して参加予定者の集約を促し、同時に、呼びかけ人として連名に名前を掲げた。これにより、参加者の輪を広げようとしてきた。以下の、地方のオマケを中心に、

一部の読者のオマケには、しばらくの間、ご迷惑をいたしました。4・26行動への集約のとりくみの故、お許しください。

さて、この4月26日には、全国各地で、また世界各国でも反原発行動が繰りひろげられました（本誌新報記事参照）。私たちのとりくんだ東京では、日比谷公園に約100人があつまりました。肌寒く天気がよく、お天気味でしたが、デモ終了まで、時折小雨がはらつく程度で、傘もささず、みんなが乗り切ることができたのは、幸いです。

私たちは、ときに述べたように、オマケに、ご迷惑をいたしました。4・26行動への集約のとりくみの故、お許しください。

## ソ連で原発事故か

【モスクワ二十日路透電】ソ連でも同様に原発事故が起きた。ソ連共産党は、この事故は、チェルノブイリ事故に匹敵する規模のものであると発表した。ソ連共産党は、この事故は、チェルノブイリ事故に匹敵する規模のものであると発表した。

【モスクワ二十日路透電】ソ連でも同様に原発事故が起きた。ソ連共産党は、この事故は、チェルノブイリ事故に匹敵する規模のものであると発表した。ソ連共産党は、この事故は、チェルノブイリ事故に匹敵する規模のものであると発表した。

Cs-137 Cs-134 Ru-106 Sr-90 Ce-144 Pu-239

# いまだ 食物は放射能まみれ

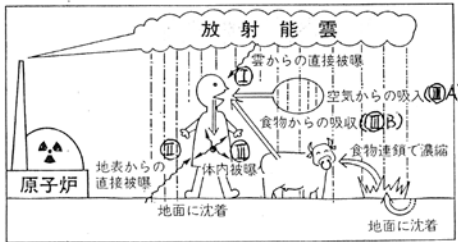
No. 13  
87.6.17

## 原発「大事故」通信

—ウクライナより放射能をのりて

図1

原発事故による被曝の経路



チェルノブイリ1年を経て、ヨーロッパの食料が米ほど汚染されているのか。日本人の輸入食路は、はい、もういなか。—このように問われているにすぎない。今更には、

表1

核種	半減期 (日)	放射線量 (mCi)	放射線率 (%)	放射線量 (mCi)	摂取量 (kg)	危険度 (10 <sup>4</sup> Bq)	放射線量 (mCi)	半減期 (日)	危険度
希ガス									
Kr-85	(11年)	0.56	90% (100%)	0.50	-	-	◎◎◎	☆	☆☆
Kr-85m	0.18	24		22	-	-			
Kr-87	0.05	47		42	-	-			
Kr-88	0.12	88		61	-	-			
Xe-133	5.3	170		153	-	-			
Xe-135	0.37	34	31	-	-				
ヨウ素			70% (20%)	77	2,000	1,426	◎◎◎	☆☆	☆☆
I-131	8	85		108	300,000	13			
I-132	0.10	120		153	10,000	587			
I-133	0.89	170		171	2,000,000	3.2			
I-134	0.04	190		135	60,000	23			
I-135	0.28	150	135	60,000	23				
テルル			30% (15%)	9.3	2,000,000	0.2	◎◎◎	☆☆	☆☆
Te-129	0.05	31		1.6	9,000	6.6			
Te-129m	34	5.3		3.9	10,000	14.4			
Te-131m	1.25	13		3.9	8,000	167			
Te-132	3.3	120	36	8,000	167				
アルカリ金属			50% (10~13%)	3.8	4,000	25	◎◎◎	☆☆	☆☆
Cs-134	(2年)	75		1.5	20,000	2.8			
Cs-136	13	3.0		2.4	6,000	14.8			
Cs-137	(30年)	4.7	2.4	6,000	14.8				
アルカリ土類			6% (4~5.6%)	5.6	5,000	41.5	◎◎◎	☆☆	☆☆
Sr-89	52	94		0.2	100	74			
Sr-90	(28年)	3.7		6.6	100,000	2.4			
Sr-91	0.40	110		9.6	50,000	7.1			
Ba-140	12.8	160	9.6	50,000	7.1				
遷移性元素			2% (2.9%)	3.2	50,000	2.4	◎◎◎	☆☆	☆☆
Mo-99	2.8	160		2.8	6,000,000	0.02			
Tc-99m	0.25	140		2.2	20,000	4.1			
Ru-103	39.5	110		0.5	400	46.3			
Ru-106	(1年)	25		1.0	200,000	0.2			
Rh-105	1.5	49	1.0	200,000	0.2				
不揮発性元素			0.4% (3%)	0.02	20,000	0.04	◎◎◎◎	☆☆☆☆	☆☆☆☆
Y-90	2.7	3.9		0.48	4,000	4.4			
Y-91	59	120		0.60	5,000	4.4			
Zr-95	65	150		0.60	50,000	0.7			
Zr-97	0.71	150		0.60	40,000	0.6			
Nb-95	35	150		0.64	40,000	0.6			
La-140	1.67	160		0.60	20,000	1.1			
Ce-141	32	130		0.52	60,000	0.3			
Ce-143	1.38	130		0.34	50	25.2			
Ce-144	284 (107年)	85		0.52	20,000	1.0			
Pr-143	13.7	130		0.24	30,000	0.3			
Nd-147	11.1	60		6.6	90,000	2.7			
Np-237	2.35	140		0.00024	0.2	44.4			
Pu-238	(90年)	0.06		0.00008	0.2	14.8			
Pu-239	(274年)	0.02		0.00008	0.2	14.8			
Pu-240	(7千)	0.02		0.0136	10	50.4			
Pu-241	(15年)	3.4		0.002	10	7.4			
Cm-242	162	0.5	0.00008	0.4	7.4				
Cm-244	(18年)	0.02							

**食品汚染**  
問題はセシウム(Cs)・ストロンチウム(Sr)・ベリリウム(B)・セリウム(Ce)・ヨウ素(I)である。

図1は、原発事故の際の被曝経路を示したものである。まず、大事故で発生した放射能は、放射性物質は、かたまり放射能として、地下

に流れゆく。①は、この際、外から直接受けける被曝である。放射性物質は、拡散してゆく過程で、地面に落下し、汚染される。②は、この地盤から直接受けける被曝である。③は、空気中、体内に落下した放射性物質が、体内からして、人体に被曝を与えるものである。④には、呼吸の吸気中に、この放射性物質が、食物と一緒になって、体内に入る。⑤は、食物と一緒になって、体内に入る。⑥は、食物と一緒になって、体内に入る。

原発事故の際の、セシウムとヨウ素の放射性物質を拡散し、核種によりその挙動は、様々なので、汚染の程度が異なる。核種により、汚染の程度が異なる。核種により、汚染の程度が異なる。

図2 放射性物質のたまる臓器

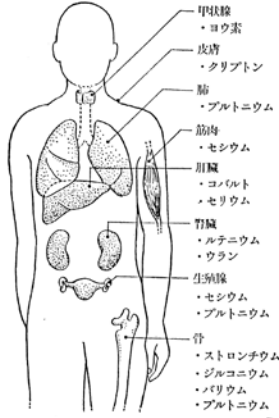


表2 平均的オーストリア人のCs-137摂取量

摂取量	濃度	Cs-137
Bq/kg	Bq/kg	nci
127	2.0	259
80	2.0	160
48	2.0	96
19	2.4	78
6	10.0	63
110	0.5	55
68	3.0	51
47	0.4	20
62	0.3	19
36	0.3	18
36	0.3	11
—	10.0	110
—	—	41
合計	—	891



編集発行: 河野直哉

③は体内の放射能である。しかし、④の全量が事故の際に放出されるわけでもない。④ほどの放射能を示したもので、ラスマンセン報告にみける最大濃度の事故想定を基準にしたものである。また、(C)の数は、今回の事故について、濃度が発表されたものである。糸がスは、死亡と全壊を仮定した。⑤は、④の濃度の1/1000、つまり、セシウムもかなり低い。

⑥に④を比べると、核種ごとの放射能がわかる。これは⑤である。

⑦が小さければたいしてかわらない。核種ごとの放射能は果敢と、体内にとりこまれる。かつ、排泄しやすいものが放射性である。

図2は、放射性物質がとりこまれた場合、どの臓器に集中的に蓄積されるかを示している。たとえば、セシウムは筋肉にとりこまれるので、ほとんど全身についての指標といえるが、ストロンチウムは骨に集中的

に、ヨウ素は甲状腺に集中的にとりこまれる特徴に注意しよう。特定臓器に集中すると、その臓器に集中的な汚染が生じ、がん(放射線)の原因となる。従って、セシウムについては人体全体で対象に汚染量や放射能を計算するが、特定臓器に集中するものについては、さらにその臓器ごとの汚染量の算出が必要である。対照的に、ストロンチウムやセシウム(β線)は全身に均等に分布する。ヨウ素については甲状腺汚染が問題となるので、甲状腺汚染と同様に扱う。

さて、⑥は核種ごとの、年間摂取限度をいかにしているか。この数はが小さいほど、危険な核種と見られる。セシウム(β線)は、事故の事故のときにどの核種がどのくらいをとりこむかの指標となる。これは⑦で示してみた。

⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺

図Aの場合には、放射能も、⑧⑨で示した濃度の高いものが汚染となる。これは、④や⑤の汚染の分布が、食品汚染の場合には、長期にわたる汚染が問題となるので、右の汚染に注意。半減期(寿命)の長い核種が問題となる。

⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺

いまだかつて深刻なセシウム汚染

⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺

⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺

表3 食品のセシウム汚染度

食 糧 品	含有セシウム (Bq/kg)	同 (μCi/kg)	年間 消費量 (kg)	年間セシウム 摂取量 (μCi)	年間 摂取量 (mrem)	死者推定値	人口億 分当たりの 年摂取量
牛肉	西ベルリン 2月	53.2	1,436	19	2.7	1.08	1/25万人
	オーストリア 2月	22.0	5,940		11.3	4.52	1/6.7万人
	★インスブルック	3,700	99,900		1,898	75.92	1/3,500人
豚肉	西ベルリン 2月	16.8	454	47	2.1	0.84	1/32万人
	オーストリア 2月	52.0	1,404		6.6	2.64	1/10万人
羊肉	西ベルリン 2月	53.2	1,436	-	-	-	-
	オーストリア 2月	85	2,295	-	-	-	-
トウモロコシ	フランス 10月	2,000 ~4,000	54,000 ~108,000	(19)	(1,026 ~2,052)	(41.0 ~82.0)	(1/6,500人 ~1/3,250人)
牛乳	南ドイツ 1月	72.1	1,947	129	25.1	10.04	1/2,377人
	オーストリア 2月	15.8	427		5.5	2.2	1/12万人
チーズ	西ベルリン 2月	5.6 ~21.3	151 ~575	6	1~3	0.04 ~0.12	1/670万人 ~1/223万人
	オーストリア 2月	1.1	30		2	0.08	1/335万人
パン	西ベルリン 2月	11	297	68	2.0	0.8	1/34万人
	オーストリア 2月	5.7	154		-	-	-
小麦	西ベルリン 2月	5.7	154	-	-	-	-
	オーストリア 2月	13.5	365	-	-	-	-
穀類	南ドイツ 1月	2.9	78	-	-	-	-
	西ベルリン 2月	21.6	583	48	28	1.12	1/24万人
穀類	西ベルリン 2月	11.3	305	30	24	0.96	1/25万人
	オーストリア 10月	74	1,998		150	6.4	1/4.7万人
穀類	西ベルリン 2月	39.2	1,058	-	-	-	-
ビール	西ベルリン 2月	3.9	105	-	-	-	-
ビール	西ベルリン 2月	2.1	57	110	6	0.24	1/112万人
ハチマキ	西ベルリン 2月	609.1	16,446	-	-	-	-
きのこ	★★新入品(ノル)	980	26,460	-	-	-	-
	西ベルリン 2月	603	16,281	-	-	-	-
社茶	西ベルリン 2月	3,757	101,439	=	(26)	(1.04)	(1/26万人)
	★★ノル産	3,700 ~37,000	99,900 ~999,000	=	(26 ~256)	(1.04 ~10.4)	(1/26万人 ~1/2,560人)
パスタ	(日本の輸入品) 2月	28 ~60	594 ~1,620	-	-	-	-
マカニ	( " ) 2月	44	1,188	-	-	-	-
ウチス	( " ) 2月	41	1,107	-	-	-	-
チョコレート	( " ) 2月	50	1,350	-	-	-	-
チョコレート	( " ) 2月	46	1,242	6	7	0.28	1/96万人
チョコレート	( " ) 2月	7	189	-	-	-	-
チョコレート	( " ) 2月	21 ~774	5,697 ~20,898	-	-	-	-
日本の制限値	370	10,000	(89)	(6,590)	(264)	(1/101万人)	(39,000)
タイ	21	567	-	-	-	-	-
スウェーデン	22.2	600	-	-	-	-	-

甘すぎの日本の規制値  
トピロ紅茶は要注意

30年、Cs 134の半減期は約2年、従って...

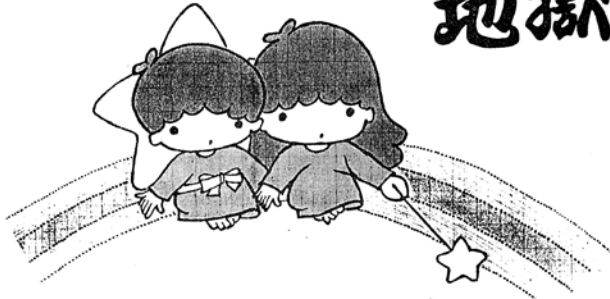
セシウム汚染の影響を教育界が先...

★にネイ牛肉の値は、乾草と...

の放射線汚染をもうにかけるのであ...



# 原発原爆一字の違い どちらにしても 地獄行き



## 原発「大事故」通信

NO. 14

87. 7. 24

—ウクライナより放射能をこめて

暑中お見舞い  
申し上げます。

3がつ

さて、またまたお便りがたまったので、紹介させていただきます。3月以降現在まで、「原発大事故通信」や「農業つばし粉砕通信」など、に對していただいたお便りです。

なお、今号では反原発のスタッフと、不幸の手紙とを再度目録してあります。雨ではがれたり、褪色したスタッフの強化を願います。また、不幸の手紙は、コピーするなとして、できるだけ多くの友人にお送りいただき、反原発の輪をすこしでもひろげるよう、あなたのご尽力を期待しております。

10月には、ふたたび恒例の「反原発行動」が予定されております。手紙No.12でもお知らせしましたように、426の集会には、「大事故通信関係者など」で何人を集めることを目標に呼びかけるところ、計り名の参加を得ることができました。10月の反原発行動では、ひとまわり大きな目標を立てて、さらに大勢の参加を實現したいと考えております。10月行動のよりあはれ同封のご案内のとおり行いますのでぜひおいでください。

8月以降、このとりくみに対して金おいを注いでゆくつもりです。なお、おい、そうのご協力を賜りますようお願い申し上げます。暑中お見舞いとあわせて、ごあいせついたします。

河野直踐

大阪府 T.Mさん

↑ 大阪府 T.Mさん  
 T.Mさんから「原発大事故通信」やスタッフカードなどを頂きました。「通信」は貴重なニュースで注目して拝読しました。よい御活動をしており、ことに敬意を表します。小生が出した旧印刷物などごりんくたさい。

↑ 山梨県 山梨大学 SKさん

↑ 山梨県 山梨大学 SKさん  
 原発「大事故」通信を送って頂き有難うございます。売上税ではあれほど大騒ぎするのに、原発に関しては息つく暇もなく、騒ぎを忘れてしまふ世論に些か呆れております。薄くも痒くもないからだとしたら、人間として情ないことです。貴兄の孤軍奮闘を頼もしく思っています。僅少ですがカンパを同封します。

↑ 東京都 国学院大 MOさん

↑ 東京都 国学院大 MOさん  
 コメの運動は3ヶ月余をスタートにして形をとりました。今後もっと強く広い運動を展開しなければなりません。すべての理路をうけてまいります。すべての理路をにげたいのですが、私たちが自身に押しつけているから入ってきにくいのでしようか、又私たちが自身に知恵と方法が足りないのでしょうか。このように悩んでいる時、貴兄が「農業つばし粉砕通信」を創刊された感動です。ぜひ私たちに足りない

↑ 東京都 SMさん

↑ 東京都 SMさん  
 陽春の候となりました。御健勝にてお洒落のことと存じ上げます。今春、大卒を卒業し、某所へ就職することになりました。めでたいことばかりも言っておりませんが遊ばず、責任を背負ってまいります。それにして、河野さん又何が変なことへしかし、極めてまともなことを始めるのですか？

↑ 東京都 KHさん

↑ 東京都 KHさん  
 コゲンシヨク ハイワリヨウト イウ シジヨウ サイダイノ ハンガイ  
 アクマハ エガオデ ヤツテ クルト イウ。ハイワリヨウト イウ ビノイノ 毛トニ ススラレテ イル。ゲンシヨク ハツデンハ マサニ アクマノ シワチヂアル。ハイワトハ ナント ミリヨクテ キア コトバ ガロク。コノ コト バニ ミンナ タマサレル。センセ カイノ ヒトビトが ケマサレテ イル。ナンジヨウキョウ ナンゼンセント ドクワ エキツツケル。ナンシロカラ デザレル。ミノ ハイ。コレハ ドクニモ ステル。コトが デキナイ。ミライ エイゴウ。ワレラ、ミソシハ コノ ドクワ ア ビツツケチケレバ ナラナイ。ナンゼンナン ナンマンセント イノチ

ヲムシバミ オビヤカシ ツツケル オリルベキ ホウシャノウ・ダイジコガ オキレバ カクバクハツト カワラナイ ダイサンジツモ タラス。ワレワレノ ドコニ ソンナドクヤ ケケンヲ シモンニ オシツケル ケンリガ アルイカ。コレハ カツテ ナチスドイツノカンコクニツボンガ ヤッタ アノセンソウノ ダイハンカイヲモウマワル キョダイナ ハンガイコウイテ アル。ケンバツハ カクヘイキト ナランデ ソクジ ハイゼツ シナケレバ ナラナイ。

ゲンシロデ、ゲンシヲ ホウカイガセルト イウ コトハ シゼンノイチバンノ オオモトデアル。ケンシテ タタキツアスト イウ コトデ、コレハ コンゲンテキナ キュウキョクテキナ シゼンハカイデアツテ、タンジツテ ヨウニン テキナイ、コノ シゼンヲ ハカイスルモノニ タイシテ シゼンハホウシヤノウト イウ モウドクデアツクシユウ スルノデアル。

△東京府 和光大学 K.O. 聖者の魂張りにほたてだん 魂心しております。怒りを忘れた青年の多い今日、貴君のような人は大変貴重に思います。益々これから大いに怒り、活躍して下さい。

○千葉大学教員 Y.N. さん いつもいっも原産通信を送り続けて下さり、有難うございます。私も今年が下級教員最後の一年で、残され



た学生とのふれあいの機会を大切にしたいと思っています。また別の有機農業の提携を、まことに調査したみづの県内組織について、ずつと注視し続けておられます。最近「有機農産物」が市場に出まわると「食育委員会」など、会員が出入りが多くなり、つい三年ぐらいの間に半数ぐらひは顔ぶれがかわったといわれております。いきおい、生産者の方は、われこそは真正正銘の……といったことを強調して排他的な意識をつよくし、消費者はますます安全への過度の疑念を抱いて、お返しに組織維持に懸命になると言っています。これでは、こうして豊村、貴君、一般の消費者への運動の拡大といった目標がむしうながおりにされ、アツアツ危険を感じます。最近、多摩市にある農市場ののせんといいかたは連絡がつかない。私は提携だけを神聖視して市場流通をきびしく排除するのはよく、こうした運動の方もあたたく見えてきたと思います。

4がフ

●岡山県 保健所 T.B. さん  
選挙結果は傍らにたまるものでした。原産力産業への従属人口をどこへ分散させるかという重要課題を解かずして原産力を止めることはできません。ここまでする生産者様達から豊村・都内問題までかりんできて然る感に陥るのを察じません。それでもあなたはんぼるのですから、私もそれに従いたいと思います。

●東京府 Y.K. さん  
がんばり河野直哉、貴君の行動力、不屈の精神に心から拍手を送る。若干ではあるがカンパも送る。後反撃の開始の号令に、心躍る私です。可能な限り応援します。ところで今夜の国会(参議院)選挙に貴君は出馬しませんか？

●長野県 T.H. さん  
いっも原産のミニコミありがたうございます。今回はたてふづけた二通も来て、いやあ若けらのほかんぼってナンターという印象でした。別に水を差すつもりはないんですが、人それぞれ、やる時にやるしかないわけ、私にとっはとこも千石日比谷に出むくだけのゆとりもなく(今年も粗うん様の中古を買ってあげて、ワワー一本で畑をうらなう「音の百姓はこの苦勞をうらなう

だから：ことごとく毎日を通しております。かつまた河野さん(①)代のカンパすらできず、やはり「衣食足りて運脚に身が入る」うたを正ししいのです。そのうちまたいいこともあるだろうと思つて、いましばらくはあなたに甘んじておりました。

●千葉大学不農産業 H.H. さん  
毎日こくろう様です。原産にしろ米の自由化にしろ、私自身の生活に直接的に不おいかかっています。今の自分の生活の中からどうにかしなければ(いやどうにかする)と思つています。

●埼玉県 A.K. さん  
前略、毎週通信その他様々なお知らせを送り続けて下さりありがとうございます。相変わらずの連軍には敬服し、牛着せの労の多さには氏の熱意を感じざる次第です。

●兵庫県 A.S. さん  
お久しぶりですが元気ですか？そのようですね。例によって原産とか頭張っているみたい。先日、水車村へ行ってパンファステッカーを見ました。というのも私たちは今、近所にある水車を再興しようとしているのです。終戦前後まで使われていたというもので、それからほうちろてられるままになっており、特に三年前の大雷で小屋の一部が壊れ水車本体が崩れに落ちてからはいじりかひどくなりました。このまま



では早晚つかいものにならなくなつてしまふと思ひ持主に相談したところ、伏せてもらへることになりました。ソフトエネルギー実証の場とか言つて、後押ししてくれるところないかな？

●東京府 私立M高 H.U. 職員

毎回原発反対の通信を送りいたゞき有難うございませう、チエールアイリイ事故は原発の恐ろしさや世界に知らせてあげて可ね。事故がなくても廃棄物の問題は深刻です、私も原則的には原子力発電などに頼らない方がよいと思つて居ますが、現在の日本では今直ぐ廃止は難しいでしょうね。太陽発電が早く軌道に乗ればよいのですが、貴君の御努力に敬意を表すると共に、その様な運動が日本の原子力政策の方向へ変えるようにがんばら思ひます。

●東京府 東京水産大 K.M. 大助教授

V連の原発事故から一年たとうとしております。十年後二十年後の人間の生命や健康への影響を心配せる事態が次々と明らかになりつつあります。V連のみなさん、日本各地の原発の近くで暮らすみなさんと重なる場合、輸入食品の危険性を強調して、ただけ原発をつくらせず止める動きが広がるか疑問を感じます。原発の危険なことは多くの人々が知りました、それを止める、つくらせず

ない具体的な動きをどうやってつくり維持するかの事です。

●三重県 海防博物館 Y.I. 職員

4月26日は芦原原発地元への南島町の町談話に入る筈に、残念ながら命加できません。しかし、津波は、漁師らの活躍で微動だにしませんから安心下さい。ぜひ、親会に及原発の声を増刷して国が「原発やめ」と言わせて下さい。

●千葉県 三里塚農産会 Y.G. 職員

4月26日は「野菜の会」の集会がありましたので出席できません。いつもがんばつておられるのを、ほんでなごめるばかりで申し訳ありません。私は今、大井町に「障害者」の人たちと一緒に働く場と、今年一月にパン屋がオープンした「なますのパンハウス・モル」に私ウツキーを運ぶのが毎日おくり、しています。三里塚の野菜は合夏ながら、ております。



5が7

●東京府 国立市議会 Y.O. 職員

香葉の美しい季節となりました。皆様には相変わらず元気なご活躍の事と存じます。

さて、今回の統一地方選におきまして、私は香葉の絶大なご支援により、上位当選を果たすことができました。今回の立候補に際しまして、前回三重県(次点)の反省に立ち、昨年夏の終り頃から準備に取りかかりました。各界のご活躍の立派な方が数多く、推せん人になつて下さり私のこれまでのご活動が繋がりができてPTAや消費者連帯、部落、指教有機農業、反原発など様々な運動で出合った多くの友人や普通道のお仲間など多岐な方々の物心両面にわたる暖かい支援があったればこそ、無事当選を果たすことができたのだと深く感謝しております。どうもありがとうございます。

●佐賀県 大分県生 O.N. 職員

いつも通信を送つていただき感謝しています。原発立地案にたいなごりなかなか有効な運動を組まれたる余裕もなく、減農薬野菜運動に決まれているので通信は良い刺激になりました。

ところで、先日は無礼にもおスタンプを押して、恐縮しています。現在、二六〇〇組とにかくせに出て、

我が借家も少しは楽になりました。九州の農協にはたくさん配るつもりです。

●毎日新聞社 S.M. 職員

前記、過日は原発の件で、案内いまだき誠にありがとうございまして、当時は連載の取材などで忙しく、返事もお出しせず誠に失礼致しました。当日も短時間行いませんでした。残念です。今後よろしくお願ひします。

●北海道 中会 Y.Y. 職員

御願ひ、ステッカーを送つて下さい。わずかですが十月同封します。政治状況も悪化し、活動もやりづいなか共に団結を以て頑張つて下さいね。

●長野県 I.H. 職員

毎号勉強させていたいただいております。多謝。



編集・発行：河野直践

●東京都

M.M.さん

河野さんの原登「大事故」通信を初めて意識して手に入れたのはNo.2を国立の公民館で見かけた時でした。全民協協のとても考えられない無神経な愚考を報道した新聞記事の取り上げ方が面白くて（失礼）何枚か取って皆に配ったものです。

私達の通信はとも角、隣人に渡せるものにしてもらうことでも始まりました。また、新泉社から「ノンちゃん」の原登のほんとうの証」というのを、こちらは中学生を対象に中学生の先生達と作りました。

以前、早見さんによって農協が夜品添加物のパンフを出していましたが、そんななかたちで農協が反原登のパンフを作るといふことはいないのでしょうか？生産者がもっと自分の問題として発りを待たてくれると良いのですけど。私達が今の米輸入、農業政策について、自分達のことばで語れる体験・学習をさせてほしいと思っております。

発行所 M.M.さんは、「三多摩反原登通信」を出しておられます。又、手紙にも書いてあるように「ノンちゃん」の原登のほんとうの話」という絵本を出版されています。

●東京都

I.T.さん

拝復、ご無沙汰いたしました。お元気でご活躍の様子を存じます。さて、農協中央会の研究会では、私のような台所の主婦の体験報告を

どこまで農協の方が受け入れて下さるか疑心暗鬼で伺いました。が時勢の流れで、ようやくか時期以上消費者ニーズに合わせた流通・販売への地域の特性を活かした差別的な営業（報告）を強く押したいなりました。従来の農協の体質から生産（農で生きたる農業を果とす）を元として日本での農業を守り育てる積極的な経営も自立し、各地での今後の取り組みを期待したいと強く存じます。河野様の勇断と実行力に深く敬意を表わします。発行所 有機農産物の提携にたずさわっていただけるエエさんに私が職場で担当している農協職員むけの研究会で講演をさせていただいたところ、大好評でした。ほしい方には研修生のレポート集を分けます。



●神奈川県

東大 K.E.さん

お元気でいらつやいますか。いつも「原登大事故通信」を送り下ってありがとうございます。私はいまひとつ原登反対の立場にふみきれないのと熱意と暇に欠けるため、積極的な行動をとれないことを心苦しく思っております。せめて対送料ぐたいは自分でもちたいので切手を同封いたしました。先日、原登大事故通信を種かからの

●千葉県

生協 K.H.さん

「大事故通信No.13」で輸入食品の放射能汚染について取り上げられていましたが、輸入食品だけの問題ではないようです。今年に入ってから、私の勤める某生活協同組合では昨年産の豆茶（国産）の供給をストップしました。独自の検査の結果、セシウム137の合計が、25ベクレル毎522ベクレル毎という高レベルで検出されたからです。同生協では固の味めた加ベクレル毎という基準は、汚染度の高い欧米に足並みをそろえた基準であるため不安があるとして拒否されました。これに差がついて、これまでにモイタリア産スパゲティ（60ベクレル毎）、トルコ産ローレル（月桂樹）の加ベクレル毎の供給をストップしました。国内産農産物の供給停止は初めです。

事故の直後、日本でも牛乳の汚染が問題になりましたが、一年後の今でもこんなに高い値が検出されたこととは、今さらながらショックでした。現在流通しているお茶や他の食品、そして飲み水、土壌などのことを考えると、本当に途方に暮れてしまいます。今後においても、抑えられていない汚染の状況はますます明らかになるように思っています。でも、汚染が明らかになつた時、どういう対策を立てればよいのでしょうか。某生協にお茶を供給している生産者は無農薬・有機農法でまじめにお茶づくりに取り組んでおられます。とりあえず、汚染された約クワトンのお茶は生産者が買いとっていますか（その積額は約1千万円にのぼると言われます）今後どうゆう措置をとればよいのでしょうか。前記のスパゲティ等は、どうなつたか知りませんが、このツツは、誰がどうやって入ればよいのでしょうか。

カンパありがとうございます

3月以降現在までいただいたカンパ（一切手含み）以下のとおりです。ありがとうございます。

- 小出昭一郎さん、種本裕一さん、大崎正治さん、室田武弘さん、松田豊弘さん、北沢明英さん、上田又さん、川西琢也さん、谷口吉光さん、有川岳彦さん、山道康多さん、片柳義春さん、飯田加奈さん、藤田裕幸さん、M.K.さん、その他。
- 計3万1788円になります。
- 今後ともごつきよろしくお願いたします。

# 原発「大事故」通信

—ウクライナより放射能をこめて

87・9・10

NO. 15

編集・発行

刈野 直哉

反原発10・25行動  
への参加を！

去る8月24日夜、東京大手町の農協ビル会議室で、「原発大事故通信」読者のどのつどいしが開催され、約10名の出席がありました。

会議では、去る4月26日の反原発東京行動のとりくみについて語りかえるとともに、今度の10月行動でどうとりくむかを話しあいました。おもな意見としては、

- とにかく大勢のつめよう、というやり方はよいので、今回もやまべきだ。
- ただし、初めて参加した人にと、ては、知りあひも少ないし、よく

ゆからずにつまらぬ、思いをする  
とよくないので、みんな何がを  
作るなどのとりくみができないか。  
●ただ反原発集会といっただけでは  
集まりにくいので、何か他の企画  
とできあわせにできるいか。  
などがありました。

一つの意見にもとづき、今回は、  
前回を上回る200人を目標に、人の  
つめをすまことになりました。この  
方法については、集約する連絡を  
ひやすことになり、同封のようにな  
りました。また、今後にわたっての  
継続的な参加をはかするため、「ラジ  
オ体操」のように、参加するたびに  
スタンプを押してゆくようなものを  
作ってはどうかとの意見が出て、と

りくむことになりました。(近月中  
に作成予定)  
二つめ、三つめの意見については、  
具体的な名案がうかばなかつたため  
当日まで前向きに考えてゆく程度に  
とどまりました。

何はともあれ、前回は倍する、200  
人の参加をめざし、読者の皆さんに  
はぜひとも参加されよう、強く訴  
えます。

というわけで、10月25日までは、  
私は人あつめに忙殺されることにな  
りそうです。原発の事故論や危険性  
論、エネルギー問題への視念などは  
不敏です。一とおりとあげてま  
しましたので、「原発大事故通信」は  
当面10月25日にむけての呼びかけを  
主軸にみなさんへお便りを届けさせ  
ていただきます。  
ではよろしく。

# 原発「大事故」通信

—ウクライナより放射能をこめて

# 農業つばし徹底粉砕通信

No.2 No.16  
合併号  
87.10.9

## おねがい①

反原発行動に参加を!!

10月25日の反原発行動が目前にせまってきました。200人の参加をほころと企画し、準備をすすめてきました。また、列紙のような状態です。今回は、あなたもぜひ参加を。そして、呼びかけ人になつて、連帯をひきうけていただいていませ。ひとりでもふたりでも、多くの人をよこそうてみて下さい。  
**おねがいます。なぶ。当日は同封のカードとチラシをこまめに。**

## おねがい②

農業を守りたのに署名を、

今回は、私の取場(全中)で提起している署名用紙を同封してあります。別に取場に加担する必要もありませんが、食糧の輸入自由化、農業つばしに反対するということ、私の取場から、賛同をおねがいしてあります。一枚の署名をこめようになつていきますが、全奇理めなくともけつこうです。もっと用紙をほしいという方には差しあげます。  
署名用紙は全中に直接郵送して下さい。

## おねがい③

カンパを!!

ただいまもかまいませんし、私あてに郵送していただいても結構です。署名の目標は、なんと300万人となっています。メスは10月一杯、ぜひ、おねがいます。

最後のおねがいは、カンパのおねがいでございます。10月25日の呼びかけだけで、印刷代、郵便代、人件費が約10万円と支出することになると思われます。ちなみに、私の送料は月々、キトリで15万くらいあります(残算はますべし)。)

おねがいます。なぶ。当日は同封のカードとチラシをこまめに。

編集・発行 河野直哉

①

# わが身を削ってでも 原発を止めよう

## 原発「大事故」通信

NO. 17  
ウクライナより放射能をこめて  
87・11・26

10・25集会参加者敬  
告  
前回はすらすらと、  
迫られる深刻な反省。

はじめの町や、ておきまが、この通信は、テレル・ブイ事故以来私が皆さんに「私信」を書きつづけてお届けしているものです。けつしてそれ以上のものではありませんが、今回の通信は、この初心をいまでも、思ふこととそのまま、述べさせていきたいと思います。

10月25日の原発東京行動における参加の状況は、4月の集会のときならず及ばないという結果ばかりになりました。

私は、4月の時の参加者数と比べると参加をつくりあげようと、前回はひとか月前より月単位で取り組むよう開始しました。そして通信を毎週ペースで発行し、同時に呼びかけの方法に、また当日の運営にも別個とははるかに工夫をこらし、精力的な準備とサポートができたつもりでした。

ところが、予め相談のうえ、前回に倍する加人に目標をあくことに決めた。参加の集約にあらたにもかかわらず、参加者は前回は前回より85

人という結果でした。呼びかけに對する反応が今一歩という感念をあらたに、個人的には何となく思い手感かしていたものの、このほどの惨状にあゆまというのとは想像外のことでした。

名前を出して人を集めるのは虚利的・ノルマ的である、という批判はありました。私自身のやりかたに問題がないというつもりもありません。しかし、そのようでは、いったい何だというのでしょうか。

問題は、私を含めてひとりひとり、本心に集まると成功させようと思っていたかどうかが、本心に、原発を止めよう、という意思を、実行し、責任と持て、いかにできるかです。

私たちは、本心に、真判たいくしたのではありません。このこととを自問してみたいのです。

集まる全体の参加者数も、4月の時より若干少ないようでした。このことはいいか、原発を本心に止めるだけではない、ほんのことにいるものだとすれば、こんな負い、いのではないでしょうか。そして本心に原発が止めるべきなのではないか。

### 自己批判：私は本心に 原発を止めようつもりなのか

私が考えたのは、やはり、自身身のなか、またまた真判が足りな

いのでないかというところです。

私は、正直言って、テレル・ブイ事故で自分を変えたはずでした。それまでも「原発反対」は口にしてはきましたが、切迫感をもつて、このままでは、とんでおのことになると自覚するに至ったのは、やはりテレル・ブイ事故でした。

しかし、自身を本心にその切迫感を皆さんに伝えることができてきたのではありませんか。自身がかたく、口先だけでなく魂裏のものとして原発を本心に止めるようとしてきたのではないかと。

やはり、自身の中にある甘んががあったことを認めずにはいられないのです。

### 個人々の真剣なりけみが 原発を止める

そこで私は26日の日曜日、通産省前の抗議行動に参加しました。昼休みの職場をぬけて、通産省前でチラシを配り、ネクタイをしめてかけつけた人、主婦の人たちとともに、二百人ほど手をうなぎ、通産省前を封鎖しました。

そう、私は、昼休み、職場から定時とはこぼさず、は、べき、ことなのです。たいしたことではないのです。それだけのことであるのに、「自分が行かなくても」という甘んが私の中に、あったことを否定できません。

そのとき、私はいくつかの決意をしてみました。その一つは、かな

らず、毎月毎日は毎日のハンストと続行しようというものです。

私は従来、職場にのみならず、原発の活動を行ってまいりました。しかし、それでは、私の持つてくる周囲に伝えることにはならぬでしょう。日後的な原発のとりくみを推進する私が、そのようなことでのい、しようか。別な周囲からは奇異な見られようか。批判を受けようとも自分の主張を行おうのか、正しくないのでないか。そんな自分自身を、あきらみ、周囲の人にも「原発を」とまじめには考えとてくれないう。

――そう考えて、この26日、私は妻の指し教にハンストの宣言文と並りに至りました。以下、その全文を掲載いたします。

みなさんへ

テレル・ブイ事故以来二年半が経過しました。事故による死者は百十人単位に達し、手続されません。にもかかわらず、わが国では依然原発推進が行われ、私たちは依然として「最後の教訓」と、教訓として受けとてくれています。

このままでは、近い将来、わが国大規模な原発事故が起きます。これは、ほぼ確実と思われま。私たちは自身の生存に對して、私は原発をいなくしてつくり、私は原発の運転を許すこととは、殺人に自らつづり、子供の基本的人權を侵害する犯罪行為

(2)

といやまをしません。

以上のような考えにより、原発  
開発に對する協議の念を止め、原  
発の全面停止まで、毎月二十六日  
（十月二十六日は「原研の日」  
です）を終日ハンストの日とし  
します。皆皆株主には迷惑を  
かけぬ所存ですが、何半、理解の  
ほどの願、申し上げます。  
一九八七年 十月 二十六日  
河野直哉

この書き文をもって、私は今後毎  
月26日にハンストを行う所存です。  
しかも、原発の全面停止まで、続け  
るというのが私の決意です。

と同時に、私は、原研の汚染を止め  
ました。原研事故発生後「汚染塔」と  
「急遽生産管理報告塔」と「あゆせ  
る」本の塔を出して、現場内に日  
常的な「反原研力」の雰囲気を作  
ったのです。

さらに私は、現場内で原発の署名  
名をばじめて回覧しました。そうし  
たところ意外にも多くの人が署名を  
して下さりました。労働組合員た  
けでなく役付きの人も署名してく  
れました。30名分の署名用紙を繰返  
して回覧したところ、回覧途中も一杯  
になつたので、いったん私の手紙に  
かえつてきたり、私に代わりて役付  
きの人が署名を頼んでも取手はつり  
はないへん嬉しいことでした。

原発を本当に止めようとするなら  
は、自らの生活を犠牲にすべきだと

犠牲にならなければなりません。

個人個人の勝手した切迫感と、真  
剣な態度とが周囲の人にも感動し、  
原発を止める力になつてゆくのだと  
思ひ信じてやみません。

### 身を削つても原発を 止めたい私の決意

これは、身を削つても、  
原発を止めたいという私の決意の一

### はじめに

チェルノブイリ事故から一年半が経ちました。恐るべき事  
実と、果てなく暗い未来像とが明らかになりつつあるにもか  
かわらず、マスコミからは、この汚字はすでに消えつつあり  
ます。はじめにインテリな報道をクシ流しておいて、あとで  
忘れた頃にこっそりと小さな記事で訂正し、沈黙を決めこむ  
いつもの手口で、もはや今日のマスコミからは、本当に大切  
なことは学ぶことができません。マスコミの書かない所で、  
何がおこっているのか、私たちは知らねばなりません。

チェルノブイリを経験して、一体何が変わったというので  
しょう。広島・長崎のデータ見直しにより、放射能のこわ  
さはこれまで考えられていたより一ケタくらいのことすらわかっ  
てきています。推進派は、聞き直りと言いついに終始し  
て、何一つ学ぼうとはしませんでした。規則違反と無断改造  
の連続によって、原発は無理矢理稼働率を上げていのが現  
状です。事故や故障はもはや常態化しており、各地の施設で  
放射線物質の紛失、タレ流し、日常茶飯事となつています。  
チェルノブイリほどではないから報道すらもされないと、  
これが異常な世の中でなくて何でしょうか。

近い将来、日本でも大惨事が起るのには、ほぼ確実と私は  
考えています。データをひとつひとつ整理していくたびに、

つてあるつもりです。

私は、このまま原研、本社の発行  
や新聞、テレビ等への投資をストップ  
して、反原発のとり組みをストップして  
ゆきます。

そしてさらに当面とくみた、いの  
が、ひとつには私自身の脱陽や地域  
で、小々でもよいから、グリーン  
を作り、仲間をふやしてゆくという  
活動です。「大事故通信」とつづい  
ての活動は、でなく、身のまわり  
の活動も活性化したい。ハンストも、

その裏付けにならばと思ひます。

オスが、反原発の社説です。辛  
しい、水車から念誦の手によって、  
私の文章が、同封のものをもうのハ  
ンズレットになりました。このハン  
ズレットを使った原研と、どうが  
皆さんの手を用いて下さい。時間の  
許しがかり、その解散をいさうやま  
す。原発を止めたため、私が身体  
的に、まきまき、一つとして、責務  
としてひきまき、つづもりです。

それが裏付けられてゆくのです。私たちに、残された時間は  
もうあまりないのかもしれない。放射能汚染によって、食  
べたくてもどこにも食べものすらない世界。しかもそれが  
半永久的に続くのです。自分が生きるといふただそのことだ  
けのために、私たちは一歩をふみださねばなりません。生ま  
れた自分の子供たちが、友達がどんだんガンで死んでゆく  
のを見、自らも白血病の床に伏して、「お父さん、お母さん、  
どうしてこんなものを作ったのか。」と自分を責める世の中。  
何の罪もない子孫たちに、私たちは何と語り未来を課そうと  
しているのでしょうか。

この冊子は、そんな気持ちにつき動かされて、原子力の専  
門家でも、医学の専門家でもない私が、あえてとりまとめ  
みたものです。原子力問題に関わってきたといえ、素人の、  
ごく常識的な知識からも、マスコミの報道のいかにも多くが誤っ  
ているかがわかるのです。本書は、筆者が連載した日本有機  
農業研究会の機関紙「土と健康」の論文を、整理し、再録し  
たものですが、その論文の内容は筆者がチェルノブイリ事故  
以来発行してきたニュース「原発大事故通信」をもとにして  
います。ご許可いただいた同会に厚く感謝いたします。また、  
冊子の末尾に資料も付しておきました。ご活用していただく  
ことを念じております。

一九八七年 十月 水車むら会議 河野直哉

③

# 原発大爆発は、もはや時間の問題だ。

このままでは、本当に大事故がおこる。

このままでは、5年や10年のうちに、本当に日本でも大事故が起ころうであらう。私は、悲しいことに、ほんとうと確信するに至つております。

原発の危険性、大事故の恐怖、日本列外ではないという事実——これらはすでに私が本誌にたびたび書いてきたとおりです。

しかし、皆さんは、このようにだけ深刻に受けとめて読んでいただけでしょうか。けつしてオレバーの表現ではないのです。原発大事故は日本で近いうち起きる。本当に原発を止めないと、私たちはまきさらひな。このほかいつわらざる私の言はらうです。

けつして起らぬといわれたメルトダウンが、スリーマイルで起りました。そしてこのことは、絶対起らぬといわれた原発の大爆発がソ連でおこり、百千人が死ぬに至りました。そして日本。

7月には高浜一号炉で、無町改修した原発5基の釜が脱落して、タービンに食いこんで止まるという事故が生じました。極めて、そんな改修工事、すなわち差引の屋敷です。一次冷却系が破壊されれば、これは明らかにメルトダウンに至まう。

真ら事故した。福井の住人は、この改修工事も、原発に生れしました。

その事故に憂ひあがつて、いままたまた重大な事故のしらせです。敦賀一号炉、10月1日に試験運転中、7%の低出力でタービンの試験をしようとしたところ、一次冷却系内のみかづつぶが急に出力が上昇を停止して、事故が起した。チェルノブイリと、全く同じではないですか。7%という低出力の運転と、いい、試験の実施と、いって急激な出力の上昇と、いって、チェルノブイリと全く同じです。チェルノブイリでは泡ができたから暴走したのに対して、日本では逆に泡がつかわれ暴走する」という、私の本誌ゆゑで書き出したことが、まさに起つたのです。停止が、すくてもおくれたら、停止に失敗したら、日本はチェルノブイリになつて、たとい、このあやや間一髪の恐怖を、あなたに知つていただろうか。マスコミはこれをも全く報道しなかったのです。

そんななかで、村井の側では、広島長崎の被爆調査員が、すでに決定的になつてきたといふのです。このデータが見直さないと、放射線の人件に対する影響は、従来考えられていたよりも、一桁も大きくなることとなります。放射線被曝によるリスク許値は、従来よりも10倍程度は低い、という結論です。

スパージにカニで、入れたタイプ

の文章は、私が書いたパンフレットの「まるかき」初版です。私が、あなたに對して、できることは、ただ文章を綴るといふことだけですが、決して誇張でもオレバーでもない、正直な私の気持ちを右に綴つたつもりです。どうか、私の所持する読みとて下さい。

世界の流は「脱原発」  
今、声を高きすに  
いつ出すと、いつのか。

そうなのですか。あなたは、能力があなたに非はれ、大死にしようとしてゐるのです。今、原発に反対せずして、いつ反対しようというのでしょうか。原発問題に「日本自身と決める」ことは、原発の危険を許すといふこと、すなわち、原発が政治的判断に臨むにはなつてしまふことを、ぜひあなたに知つてほしいのです。

原発の運転を許すこと、もはや日本に對する、殺人加害行為であることと、ぜひともあなたに知つてほしいのです。それでもなれば、あなたに原発に對して無きを決めよのか、私はあなたに伺いたいのです。

もはや、世界の流は明らかだ。脱原発の方向に向つています。日本のマスコミがいかにかこのことを隠し、プクしようとも、この方向は明らか



10.25集会の様子 4 銀座の町をパレード 日比谷公園での集会。「原発いりません」と書いた塔屋、風船がみえる。





①

# 新春のごあいさつ

## 原発「大事故」通信

No. 18

88.1.1

—ウクライナより放射能をこめて

また新しい年がやってきました。

ゆきこまる世の中で、次から次へと起る悪化に、これに対し、ひとつひとつと勇躍と奮え、自らが正しい信ずるものを自分の知人・友人達に伝えようという作業に、ひたすら忙殺され毎日です。すくなくことを心づかえ、ただいまも夜更けの時間と闘いながら、なにどの及しい時間を削いで、こまごまを申し上げます。

世間では相もかわらぬ原発推進の狂言がまかりとがり、原発大事故の目撃者と近づいています。いまや人間の性の基本は何であらうなれ、ひたすら拝金主義の奴隷になり、正者の手によって、農業ついでに嵐が吹きますよんています。もはや限界に達し、闇夜の度を深める経済状況の中で、多くの人が、自分だけが何とかなる残ろうと、合理化の叫びに乗せられ、ののしりあい、けむりしあつ姿はあゆみです。労働組合は自らの主により、自らを右翼的組織のなかにあとしこみ、戦前の大政翼賛体制もあやむせませます。もはや、私たちが身を託すような組織ではなくなつたのです。

「一億総参入、一億総活躍」になつてしまつた世の中で、ひとりひとり「これがいいのか」と問ひ直し、一歩も二歩も、これを改めてゆく具体的行動に一歩を踏み出す以外、もはや出口はなくなつたようです。貧しくとも、物たたくとも、お互いが手をとり、はげましあひ、相手を生きかし、自らが相手によつてまがさく願ひしいみよりに向けて、私たちは大きな覚悟と、決断を迫られていひます。

自らの生き方の選択の中で、豊かな生活のありようを、心の中に存続させようではありませんか、自治し、共生してゆく社会、経済のしくみを、すくなく補強し、取戻さなくてはなりませんか。そんな仲間を、ひとりでも多く作らなかり、あなただけで、おぼろしいと思ひます。

一九八八年 元旦 河野直哉



というわけで、昨年同様、本誌の発行も、新年のこめいエフといたします。

さて、今年の抱負は？

ひとつは、原発を止めるための一層の奮闘であります。本誌の発行、ハリスト、可能な限りの諸行動の参加、社説、劇場や地域での地道な活動に力をいれ、予定であります。

その一環として、本年五月24日に東京で開かれる「反原発・一万人全国集会」をぜひとも成功させたいと思ひます。ただし、目的は「万人集める」ことでも、集会の成功そのものでもありません。

この集会をひとつの大きなステップとして、将来にわたつて、まことに大きな反原発の流れを作り、本当に原発を止めるためのとりくみなのであつたらう。

あなただけの集会への参加と、あなた自身の手による仲間づくりと、将来にわたつて強いとりくみとを、再度強く願ひ、こめいませ。

●「農業ついで」に関して、登舟で「デパート」の連環攻撃が本の自己研鑽と、みなさんへの前への場となる、てきまつたが、連環は本年の1月号号とも、て終つていひます。

他方、すでに着手しており、本年のとりくみの中心に、こめいと知れぬのが、全国のが、勇気を、もつて有様農業にとりくんでいひます。

農協の職員活動です。これは、現場での仕事のおいづれをめぐり、(佛農林中金研究センター)の手紙によりて、専念するもの、少教派といへば、純粋に住み農協の活動に力をいれ、ななな、農業の現場をサシても変え、消費者や地域住民とともに、傷だらけになつた農業を甦らせたための、確にしたいと思ひます。

●「おまかせ」で「徹底分析」通信の力は、あまりに刊行できず、米ましたが、折を見て、いれぬき農協批判への巨論や、私の考えをのびを明らかにしたいと思ひ、ていひます。

●「こんなことをしながら、私の母日はあつた、たたくまてゆきます。そんなので、土・日曜には、こめいと、同じようた。田子・浦で、借りていゝ米畑を耕しに出かけたり、水車もちを新したりが、日曜となつていひます。

田子・浦も水車もちも、自然の中で仕事として、遊んだりのてきまつて、自炊しながら、ゆて、ていひます。あるに、ていひます。一語に仲間と、食事をし、話をするのが、私の幸しひです。声とかけ、ていひます。



河野直哉

②

# これだけは知っておきたい 最近の原発ニュース

## ① 背筋の寒くなる出力調整運転

それにしても、最近の日本の原発の運転管理のずさんさには、目に余るものがある。その最たるものがこの出力調整運転である。

本紙でもたびたび紹介してきたように、電力需要は落ち込みの傾向にあり、電力は余りに余ってしまっている。そんななかで、水カや火力を止めて原発の稼働率を上げてきたわけだが、電力需要の小さくなる夜間には、原発の発電能力では需要を上回る事態がまじってきた。従来、原発は100%で一日中フル運転するのが標準だったが、このため、昼間の12時間は100%で運転し、それ以外の時間かけて出力を徐々に落とし、夜間の時間を切り詰めて運転し、またその時間を切り詰めて100%に上げるという運転の実態が四国電力の伊方2号炉（PWR）で行われた。これは、制御棒の手動調節と不ろ素濃度の手動調節によって行なわれるもので、PWRについては再循環流量の制御による同種の運転が、福島3・5号炉において、95.5%出力までの範囲で半年度より行

なわれている。

しかし、これほどでもないことである。低出力で運転するのだから、100%運転の時より安全だろうなどと考えたが、こんな間違った考えは100%出力の時に最も安全的に運転が行われるように設計されているため、かえって運転の不安定さは増大し、核暴走などが生じやすくなるからである。あのチェルノブイリ事故も、不安定な低出力運転の時に起こったことを思いだしてほしい。

それにみたら、原発が運転を開始したり止めたりする時に、何日もかけて出力を徐々に変化させるのがみづうである。炉心の温度、冷却水の流量、制御棒の入りぐあい、炉の圧力やあわりの量、中世を吸収するキセノン発生量等の微妙な変化によって、核の反応度は着しく変化する。これをいうのが、何日もかけてじわりじわりと出力をかえるのが、運転の常識であるのに、急激に変化させるなど、危険な無謀な運転以外の何物でもない。おまけに、このように出力を変化させることは燃料棒を損傷させることが知られている。

こんな出力調整運転は、今までは誰も行ってこなかった。といっても、危険すぎたからである。電気が余っても、100%出力の運転を行うのが原発の常識であった。今まで危険な行なわれなかったことは、大事故に繋がらないが、運転の失敗、大事故の発生は確率的に高まることになろう。私は、この問題を相当に重視し

## ② 相次ぐ日本での原発事故

本紙で小けたこともあるが、信じられないような事故が相次いでいる。昨年7月には福井の高浜1号炉で無断改変して蒸気発生器にトリウムを注入した事故、10月には敦賀1号炉で、一次冷却水のポンプが止まり、二次冷却水のポンプが止まり、炉心が過熱して燃料棒が溶け出すという重大な事故が生じたので運転を止めた。ポンプや蒸気発生器の故障を破壊でもした。冷却材喪失炉心溶融となる、恐ろしい事故であった。また、10月には敦賀1号炉で、調整試験中にタービン駆動機が故障して出力を50%にしたところ、炉心の泡が危ないで炉心が暴走しかけた。11%に出力が上がって緊急停止した。低出力の運転という、タービンの試験という、炉心の泡の問題という、チェルノブイリと全く同じ事故であった。ここに恐怖をいだく。停止がすこしでもおくれれば、また止まり止んだ失敗したら、あわやチェルノブイリでもあった。

この他にも、どどいのがいりうがある。関西電力の高浜2号炉は、日本ある蒸気発生器細管のうち11月にまた新たに6本の損傷が見つかり、一部は内側にむやり内管を挿入して補修し、あとには検査して使うことになり、ついでに内管に検査したまま運転することになった。PWRは

どこでも似たような事故が起る。炉心の泡が危ないで炉心が暴走しかけた。11%に出力が上がって緊急停止した。低出力の運転という、タービンの試験という、炉心の泡の問題という、チェルノブイリと全く同じ事故であった。停止がすこしでもおくれれば、また止まり止んだ失敗したら、あわやチェルノブイリでもあった。

それは、4月に福島第一の1.3.5号炉で地震の時に、出力が危ないほどまで上昇してやどと停止した（地震の揺れを感じて止まった）という事故で、あわや暴走寸前だった。昨年11月には福島第一の地震で、大飯1号炉が停止した。このとき、轟音とともに蒸気が出し弁から放出され、30秒間、100mの高まで噴出し、すわ爆発かと地元ではパニックになった。こんなことをやっているうち、さつと大事故になるにちがいない。もはやスレスレのところまで来ていることを、私たちは認識しなければならぬ。

## ③ チェルノブイリの被害は更に深刻か？

チェルノブイリの半世紀は30年だから、チェルノブイリの汚染はまだまだ続き、現在も進行中である。食糧汚染が相変わらずみづみづいのは本紙でもとりあげたし、ポーランドでは年間70

③

万人あるはずの新生児が20万人になつた(つまり、相当数)の女性が妊娠中絶を行つた)とが、各国で中絶を求めた女性が病院に殺到したとかいう話も伝わっている。

私は本紙を手にあいて、長期にわたる食糧汚染の影響で、チェルノブイリ事故による死者数はセシウムだけで100万人、他の核種も入れれば数百方になるとの計算を行つたが、被害はこれとさらに上回る恐れも出てきた。

というのは、ストロンチウム90(半減期28年)の汚染が、予想外にひどいからである。当初の計算では、ストロンチウムの放出量はセシウム90+91の約3%とみていたが、ヨーロッパの食品デパートではセシウム比10.5.20%の水準に達しており、Y連報告者でもストロンチウムの汚染はセシウム比100%の9%の水準などと書いてある。ストロンチウムは、セシウムに比べれば30倍くらい危険な核種である。放出量がセシウム比5%なら、セシウムと同じ位の影響がある。しかし、この5%を上回るような水準だとすれば、その影響はセシウムをばるかに上回ることにになり、被害計算したときストロンチウムでやり直せばなるまいからである。ちなみに、ストロンチウムの検出はセシウムよりずっと難しい。同じように放射量は少なくても危険な核種の問題は、アルトニウムがある。これらの放出量が多過ぎたのかとすれば、被害推定そのものを見直しは必要となさう。

④ 広島・長崎の被曝線量見直しの方向に

放射線の危険性は一ケタ高く

放射線の人体への影響については、広島・長崎のデータがもとになっており、これがICRPの「10万人レムあたり1人死」という数字が語られてきた。しかしこの批判が絶えず、原動力施設労働者の疫学調査などによって、100万人あたり1人死と、この主張が原動力の中でなされ、私も後者の数字を利用して来た。ところが、最近の日本合同研究で古い研究(ハトリ)という、は間違いないということになってきた。新しい研究(ハリス)のなかには、かつて、1ケタは、広島の中性子線量は従来の研究より一ケタ少ないというところがある。換言すれば、広島での影響の多くは中性子線ではなくガンマ線によるもので、ガンマ線は思っていたより二つという結論である。2つめは、被曝者のなかでガンマ線と中性子の割合が古い研究より多かつたというところがある。

この両者をあわせた結論は、放射線によるガンマ線危険性は従来の考え方の5分の1程度にも落ちるといふものである。とすれば、原爆被害の主張してきた数字にかなり近くなる。これは、原爆問題の根本に及ぶ、大きな問題である。

⑤ 炉心の35%が熔融していたスリーマイル島原発

1マスコミよ、大嘘の責任をとれ

8年前の3月、アメリカでスリーマイル島原発事故があった。事故のあと、炉心の熔融はないという宣伝がマスコミをうらめて行なわれたが、やはり、炉心はとけていたことがアメリカの調査で明らかになった。米国のエネルギー省の調査によれば、炉心の35%は融けて33トンが熔融し、そのうちの16トンが流れ落ち、原子炉容器の底にたまった。また、これをXルトダウという。また、容器の底の計装案内管の一部が熱接傷していたというから、底ぬけ(Xルトスルー)寸前に達していたとみてよい。底がぬければ自らの核燃料棒によって灼熱した燃料棒は、エラに下に落ちてゆき、コンクリートをもとがす。これが地下水などに再融すれば、大規模な水蒸気爆発を生じ、チェルノブイリ同様の事態は避けられない。

スリーマイル島でも小規模な水蒸気爆発が起すた。したが、全く偶然にも、大爆発に至らず、みんなのところまでくわらした。運転員は、炉の中で何が起っているのか全くわからず、原子炉の圧力の高低だけが、炉に水を入れた止めたりしてといううち、たまたま危機を脱したというが事実のようである。35%の炉心熔融があったのになにか、なかつた」と今日までかく

⑥ 日本のお茶も汚染されてきた!!

1そんな中で食糧規制が緩和の動き

チェルノブイリの影響は、日本では大したことなかったと思つていた人は多いはず。ところが、生活ウラア生協では、06年産の茶葉が汚染がひどく、廃棄せよとされた。問題のお茶は、06年産三重県産のもので、セシウム(94+107)が29ベクレル/kg検出された。さすがに07年産のものは大したことがなかったが、国の規制値がベクレルに過ぎぬ高い高濃度汚染。厚生協では国の基準は許さずととして一ケタ厳しく7ベクレルという自主規制値を設けているが、これをばるかに上回り、供給停止の大バニク。

輸入食品では、国の基準を上回るものが次々と検出されてきた。ハナッソ、トナク肉、ハーグ茶、香辛料など)ヨーロッパへ積み戻された。いるが、検査はごく一部の物だけだ。から、巷に出回っているのも多いはず。こんな中で、Eは新たな食品の規制値を決めた。従来は、セシウムの1一般食品につき100ベクレル毎となっており、これ自体は数字だったが、さらにこれが緩和された。

④

といつのも、古い基準だと、ヨーロッパの食品が、のちなみひかかつてしまふからだ。セシウムの基準線ともひびいり、ヨウ素、ストロンチウム、アルミニウムの基準値はなほひどい。ヨウ素はセシウムに比べ約千倍、アルミニウムは数千倍、数倍の物質なのに左の基準値である。

これでは、何のための基準値かわからない。というよりも、汚染された死者が誕生することを前提として設けられた基準値に就いてまきまきの異動をさかみしめぬばならない。

新しい規制値				古い規制値			
飼料	のけ水	動物の食品	乳製品	食品一般	ヨウ素	セシウム	ストロンチウム
—	400	3,000	500	—	—	—	—
—	2,500	800	1,250	600	—	—	—
—	—	400	3,080	—	—	—	—
—	—	10	80	—	—	—	—

⑦ 各国の情勢はすべて「脱原発」へ

各国がすでに脱原発に向けて歩み出していることはたびたび報じてきたが、ここでもとめておこう。世界

からとりこされ、相もかわらぬ原発推進という自らの愚行で自らの墓穴を掘っている国の代表が、日本である。

●イタリヤ 昨年11月の国庫投票で反原発の声が高まり、80%の高率投票で、原発立地には議会の同意が必ず必要になった。この国庫投票は20万人が集まった反原発全国集会で提起されたもので、緑の党が国会に議席を得たことや社会党が反原発に方針を変えたことなどが、新種の原発建設は困難とみられる。

●オーストリア 国民投票により、原発の廃絶を決め、解体中。

●スウェーデン 国民投票で、20年までに現在ある12基の原発の段階的廃棄を決めた。

●デンマーク 85年の国会決議で原発を維持しないことを決定

●イギリス 労働党が原発反対の方針を明確に打ち出した。労働党は、野党とはいえ、影の内閣ともいわれる。政権獲得の可能性もある大政党だ。

●ユーゴスラビア 昨年11月、国会が2000年まで原発の建設を行わないことを宣言。

●スペイン 82年以來、5年にわたる原発建設もラトリウムを一年延長

●フィンランド・メキシコ 原発の新規建設、稼働を凍結。

●スイス 原発開発停止の国庫投票が請求されている。

●西ドイツ 昨年一月の総選挙で緑の党が躍進、押しも押されぬ新しい一大勢力に成長した。社会党も州レ

ベルで原発反対の方針を明確化するところがあるわけてきた。各地で数万、十万人単位の激しい反原発斗争がくりひろげられている。

●アメリカ 産業界はずむに原発から撤退。原発建設計画のキャンセルは4回を越し、新設案は79年以來、まったくなし。

●フランス ナトリウム漏れという大事故をふくんだ増強増強、スーパーエニックス、運転直後にフレンチにお払い箱の方向に。これが「夢の原子炉」のなれの果てかへたし、また別の原子炉を作るといふ。

●ソ連 反体制派による反原発デモ公然化。レーニンビルバチコフ合意はなせ成立したか？チェルノブイリで核の怖ろしさを目のあたりにしたからかもしれない。ケルノイアイリで穀倉地帯に大打撃を受けたソ連の農業はつぶれたも同然。未来にわたってずっとアメリカから食糧を買わなければならぬのは必至。そのための和解政策とみるのは勘ぐりすぎか？

⑧ 核管理社会の入口で

イラク軍が、またイランの建設中の原発を爆破した。新聞などは「原子力時代は、こういう戦争があつてはならない」と書くが、これは話があべこべである。人類の悲劇でありながら今、世界からは戦争がなくなつてはいない。たとすれば、戦争が

この世にあるにもかかわらず、原発をフクるのは賢い行為とはいえない。戦争がなくなつていからこそ、原発を作つてはならないのである。また、ラジウムでは、がん診療所に放置されたセシウムが、解体業者の手にはいり、これがあつては出まわつて病人が被害をうけ、40人が入院、10人が重症となった。これは、放射線物質が至るところに出まわると、現代の宿命といえる。昔もたにおいも虫です。わかさぬうちに個体をむしばむ放射線物質の管理など、はじめからできなわけがないのだ。医療用に、また安全性の問題があるにもかかわらず食品への照射など、放射線物質がやたらに供されるようになってきた。果たしてこんなことはいいか、根本的に、私たちは、原子力というものを、共存することが可能なか否かを問いつくべき時にきていると思ふ。

放射線の管理など、でまうこない。それなら、その「放射線を管理する人」をまきしく管理しろ、ということになってゆく。恐ろしい管理社会への道。原子力は、けつして人類を解放することはないだろう。原子力を手に入ることによって、人類はますます自由を失ひ、穴の中に閉じこめられていくのだ。



# 仲間づくりの 相談をしましょう

原発「大事故」通信  
—ウクライナより放射能をこの世  
NO. 19  
88・1・20

## みんなは 目覚めはじめている

スリーマイル・チェルノブイリとつづいた年度の大きな騒ぎを経て、世界の流れは大きく「原発」に向いてきている。これは明白な事実である。にもかかれず日本では、政府・財界のみならず、労働組合や革新政党までもが、「原発推進」を叫ぶという、世界的にみても極めて異常な事態に陥っています。

このままでも、恐らく原発は止まるでしょう。近い将来には、恐らく、徹底的な事故改良による、しかし、それは、すべてがおしまいです。それまで、なにかが心を止めなければいけないのです。

しかし、いかなる場合でも、「原発」の事はこの日本も、しつかに広がりつつあります。

それは、政府組織のなから生まれただけでもなければ、既存の運動から生まれたものでもありません。「命の尊厳」にのめり込んだ人たちが、「住まざる」というたごのたごのことだけのために、人間としての本能と感性に訴えて、ひとりひとりの人間として、声をあげはじめているのです。

また、たらの母を心配する母親たちの声。地域の自然に身をまかせたよせの漁民や農民の声。自分たちの未来を憂く見つめた若者の声。人生の老境を過ぎの使命を覚した老人の声。——これらは、マスコットの姿面を追うても、政治の表裏を捉えても、決してわかりません。しかし、この表裏を捉えて、人々は目覚めつつあるのです。あらゆるほと戦場と原発の署名を回すのは、何もきわなくとも40名の名前が記入された、てくまという事実、見ても知らぬ全国各地の人から私のもとに届いた手紙やカンパが絶えなという事実。私の作った「ハッパ」トが数10冊、いや100冊単位の注文を受け、全国の未知の人々に届いて、配られていくこの事実。

私は、現在の情勢を、このように見ています。

## 地域で、職場で、学校で 仲間づくりを！

- ひとりの人間として、おかりはじめよう  
めつて、この声。
- しかし、これらの声を束にし、表裏の両面を攻撃せぬは、原発を止めようとして、まかせん。
- 本誌でたびたび紹介してきましたように、今春、5年ぶりの原発安全調査会が東京でひらかれます。
- とき 4月23日(四)・24日(五)
  - ところ 東京・日比谷
  - 内容 23日午後 分科会(討論)
  - 24日全日 本集会(主として)
  - 規模 一万人

## どうすすめるのが いいか

では、どうすすめるのがよいのでしょうか。

私は前回の集会において、100人なり200人なりを目標に、みんな参加しようと呼びかけを行いました。しかし、これでは一定規模以上の広がりには困難です。もっとひとりひとりがそれぞれに、仲間を誘い、ひやして参加してゆくことが必要になってくるのです。ですから今回は、前回のようないく、200人を集める呼びかけは行わない予定です。それだけが、も、という「プループ」を作った参加するのです。そして、そのとり組みは、いろいろが始まっています。

例① 中島大(ふさま情報もさし氏を中心に、水車むら会議「東大エロロシー」の会)が独自のとり組み(23日午後)にソフトエネルギーのシンポジウム、翌日の参加を呼びかけ、その討議中、水車むら会を中心に、従来参加しな

かった人への参加を促す。

例② 全中、全連連など、大手町近辺の書誌漁業団体に、身近に原発の仲間がいえることがわか、たので、連絡会ができた。

例③ そして全中では新氏が、また全連連では某氏から中心になり、労働組合の若手と原発関係について、映画会(戦場内での仲間拡大をのぞく)を2・3月に討議中。

例④ 筆者としては、産別労働組合の役員をしていながら、3月に「こころ」原発関係の討議会を討議中。全中だけではない、他の職場の全国組織での仲間づくりをのぞく。

例⑤ 同時に筆者としては、地域(港区高輪)でのグループづくりを討議しており、人数は少くともいから、地域グループが集会に参加する。また、3月の彼岸の時には、お寺と原発のパンフレットを配布する予定です。

今回の集会では、こうしたとり組みが中心にならざるを得ない。また、同じように小さなグループを作ってみて下さい。

しかし、どうしても仲間づくりが困難で、また、これら以外のグループに属さない人もおられるでしょう。そうしたおのたのためには、「原発大事故速報記者グループ」もあわせて作り、みんなの取組に立ちたいと考えています(しかし前回のようになんかおぼろげな、あまも、小なグループとしてのもりです)。

# 1988. 4. 23-24 反原発全国集会の成功を!

どうするのよかの  
相談をしたい  
(隔週定例的)

「万人集会」については、全体的実行委員会というのがある。その中で相談をして準備をすすめていきます。しかし、参加者がいろいろいる。これは、やはり遠い存在です。

他方、今回開催地にした千代田、それだけが小さなグループを作りましょうといっても、そのようにすすめていったらいいのかわからない。どうすればいいのかわからない。なかなかむずかしい面もあります。

そこで、本誌の読者を中心に、4月の集会までの間、どうすすめていくかの相談会を定期的に行うことにしたいと思います。

その目的は、上記のものへたまたま、参加者みんなでいっしょにまでやり、一定人数の確保に向け共同でとりくむという前回のものとはちがったものと考えています。

目的のオ一は、小さなグループとそれを作ら、参加してゆくための相互の信頼を築く。

目的のオ二は、顔合わせのイベントによってほぐしあってゆくことです。小さなグループを作、これをいれれば何となく不安なもの。時々顔を合わせ、ほぐしあひなげます。そのことにより安心です。

ペースとしては週間に一回程度定例的に開いてゆくことを考えてい



ます。必ず毎回開催されるわけにはいきません。そのことは考慮していただきます。

つまりでは、オ一回、オ二回の相談会を本誌の読者で決定したものです。皆さん、どうかわかりにくくたせ。(毎回開催の予定です)

●地区

●農協ビル

(注)別に「901会議室」がありますがこれとは別。

**オ1回**

反原発相談会

2月8日(月)

18時半～21時

於 農協ビル9階  
全中オ1会議室

**オ2回**

反原発相談会

2月24日(水)

18時半～21時

於 農協ビル9階  
全中オ1会議室

河野直哉

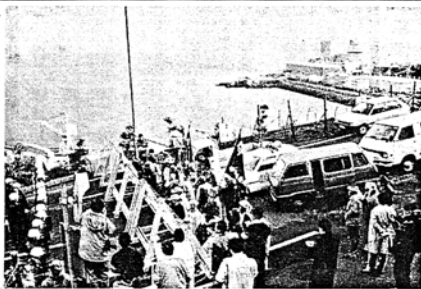
# 急激に燃えひろがる 反原発の炎

## 原発「大事故」通信

No. 20

88.3.6

ウクライナより放射能をこめて



出力調整実験の中止を申し入れた時、押しのけた燃料容器のキャパシタを動かして入れない調整電力社員（左）、右に見える白いドームは建屋が出力試験が行われている建屋

## 伊方原発で出力調整試験

### 高松で3000人抗議行動

原子力規制庁の検査員が伊方原発に立ち入り、出力調整試験を実施する。高松市では約3000人が抗議行動を行った。伊方原発は、3月5日午後10時、出力調整試験を開始した。この試験は、原子力規制庁の検査員が伊方原発に立ち入り、出力調整試験を実施する。高松市では約3000人が抗議行動を行った。



伊方原発は、3月5日午後10時、出力調整試験を開始した。この試験は、原子力規制庁の検査員が伊方原発に立ち入り、出力調整試験を実施する。高松市では約3000人が抗議行動を行った。伊方原発は、3月5日午後10時、出力調整試験を開始した。この試験は、原子力規制庁の検査員が伊方原発に立ち入り、出力調整試験を実施する。高松市では約3000人が抗議行動を行った。

反原発の炎が、急激に燃えひろがっている。日本に広がった。高松市では約3000人が抗議行動を行った。伊方原発は、3月5日午後10時、出力調整試験を開始した。この試験は、原子力規制庁の検査員が伊方原発に立ち入り、出力調整試験を実施する。高松市では約3000人が抗議行動を行った。

その後、伊方原発で出力調整試験は、高松市で約3000人が抗議行動を行った。伊方原発は、3月5日午後10時、出力調整試験を開始した。この試験は、原子力規制庁の検査員が伊方原発に立ち入り、出力調整試験を実施する。高松市では約3000人が抗議行動を行った。









流れは 確実に 変わりはじめた

# さあ、これからが本番だ

## 原発「大事故」通信

NO. 22

88・6・15

ウクライナより放射能をこめて



ウクライナより放射能をこめて

**東京行動が目的ではない  
原発を本堂に  
止むための出発地**

「原発止めよう」東京二万人行動が終りました。東京の反原発集会でこれまで集まったのはせいぜい千五百人、二万人なんて想像だ「まあ五千人ぐらい集まればOK」はつくか「本堂に集まらなかつたらどうしよう」などとい



88. 6. 25 金

チェルノブイリから2年

「1万人行動に市民2万人」

東京で「反原発」集会

う暴発同様の心配をよそに、予定に倍の3万人の人が東京にかけつけました。これだけの人が、しかも手弁当で、反原発というたゞのことのために、全国から集まったのは初めてのことでした。女性たちが依連れの人が目立ちます。反原発という考えがすでに広く浸透してきたことをしてこれに対する人々の真剣な思いがうかがわれます。

## 2万人「やめる原発」

「1万人」予想超す盛り上がり

東京・目黒公園で開かれた「1万人」予想超す盛り上がり。参加者は、北風が吹いて寒い中、黙々と静かに集まり、静かに訴えを述べている。参加者は、北風が吹いて寒い中、黙々と静かに集まり、静かに訴えを述べている。参加者は、北風が吹いて寒い中、黙々と静かに集まり、静かに訴えを述べている。



東京・目黒公園で開かれた「1万人」予想超す盛り上がり。参加者は、北風が吹いて寒い中、黙々と静かに集まり、静かに訴えを述べている。参加者は、北風が吹いて寒い中、黙々と静かに集まり、静かに訴えを述べている。

## 原発反対に市民の熱気

「東京行動」2日目

チェルノブイリ原発事故から2年。市民の熱気は、東京行動の2日目、目黒公園で開かれた「1万人」予想超す盛り上がり。参加者は、北風が吹いて寒い中、黙々と静かに集まり、静かに訴えを述べている。

「1万人」予想超す盛り上がり。参加者は、北風が吹いて寒い中、黙々と静かに集まり、静かに訴えを述べている。参加者は、北風が吹いて寒い中、黙々と静かに集まり、静かに訴えを述べている。

編集発行 河野直哉

社説

立ち止まって原発を考えよう

「原発は安全だ」といって原発推進派が主張する。しかし、この主張は、原発の危険性を無視して、経済成長を優先している。...

マスコミの論調に 変化が生じはじめた 流れは確実に変わってきた

そしてこの二万人行動をうけて、確かな手をたぐり現われ始めたのは、マスコミの対応です。...

既存の組織にも動揺 他方一段とひどくなる 警察の弾圧

四月の二万人集会の成功は、各方面の組織にも動揺をよみ始めています。警察の弾圧も一段とひどくなる見込みです。...

天声人語

「天声人語」の欄は、時事を諷刺する文章が主です。ここでは、原発問題や社会問題について、作者の意見を述べられています。...

公園内にとじこめて弾圧する警察隊



# 操業前に原発解体

NY州 安全性突き住民運動

【ニューヨーク21日電】ニューヨーク州の住民運動が、原子力発電所の安全性をめぐって、操業前に原発を解体するよう要求している。住民運動は、原子力発電所の安全性をめぐって、操業前に原発を解体するよう要求している。住民運動は、原子力発電所の安全性をめぐって、操業前に原発を解体するよう要求している。

マリアケはじりに完成した原発の  
操業前に解体へ。

**脱原発路線へ**  
方向転換論の  
今日本国政府は、原子力発電所の安全性をめぐって、操業前に原発を解体するよう要求している。住民運動は、原子力発電所の安全性をめぐって、操業前に原発を解体するよう要求している。



←日比谷公園内に設けられたホマコ団体の集会

た、四月の東京行動には創始者から  
らも著者、婦人公論を中心に多くの  
参加があった。日比谷公園では、  
の騒がれにたいして、原発問題も  
うろたえるのと突き上げられて、  
いともなう、これまでに既成の組  
織、政党は原発問題をあてて重視し  
てきただけに、原発券の運動の高まり  
のゆえに、対応が追いつかず、政治的  
な動きをみる可能性が出てきました。  
こうした情勢下で、日比谷公園で  
行われるのが、原発券の運動です。高松の  
出力調整事業の時は、芝浦橋にスリ  
カーを配り、たたりぬのに主婦が連綿  
されたり、こいこいで行われて  
東洋の行動でも、中野まがわら  
うらまゆり、いやがらせと  
奮闘する陣営がみられました。  
そして今回も、日比谷公園で連綿者  
前の人々を核動隊が出てきて連綿者  
に一切近づけず、日比谷公園内に  
こいこい、日比谷公園と核動隊  
を持って進んで、いた教人の陣人  
やホマコも、数十人の核動隊  
がみ、たが、たが、たが、たが、  
出可操隊にはまじり、また、  
朝には、日比谷公園管理署(東芝)が  
が取りも、いかに、核動隊が勝手には  
いりこい、核動隊を外にいきま、  
とが、いかに、核動隊が勝手には  
また、五月九日に香春のグループ  
が署名を提出して連綿者と呼ばれた  
ころ、30人もの署名が、こいこい、  
昼食をとり、核動隊しようとするのも  
阻止するといふ人権侵害が公然と行  
われています。こいこいの行動をつつ

い、原発から改め、ける、物とニカ  
さいるなどの被害を受けた人々  
いよう、  
しかし、私達はけし、息、こ  
をして、こいこい、自分  
たちの、子供たちの命を守り、当然  
の正しいこととして、こいこい、  
びびり、こいこい、こいこい、  
不当な陣営とはわがえして、こいこい  
よう、  
それから全くいびか、たのが、  
党の対応です。『東洋』紙上で、  
某々は、「二七在製」某島の材料的  
集金で、核兵器反対と、人々の願  
いに、原発と対置し、分断を  
と、こいこい、こいこい、  
行いました。核兵器に賛成している  
人は、いびか、核兵器も、  
という、こいこい、こいこい、  
に、相も、こいこい、安全な  
など、いびか、こいこい、  
原動推進への加担以外の何物でも  
い、こいこい、本、別、  
みがあるわけでも、何、こいこい、  
が、時代錯誤の情勢認識と、自ら運  
動の分断も、こいこい、  
善性を改め、こいこい、  
して、こいこい、こいこい、  
ちがい、こいこい、  
の人、こいこい、  
考、こいこい、  
生命、こいこい、  
考、こいこい、  
人々、こいこい、  
組織、こいこい、

## 楽しかった東京行動



↓日比谷公園でもつきたり東芝団体の集会



↓公園内の陣営にまつ、お店、コンサート。

さて、東京行動の報告と、おき  
ましよう、  
23日(土)午前中は連綿者前でも  
のよう、騒がれ、こいこい、  
は、こいこい、こいこい、

「ガイガーカウンター 鳴る野菜は絶対イヤだよ」は農業団体の作、たゞおまじの野菜



←パレードの先頭は乳母車。  
↓ 鉦座とパレード



金場でも、普賢の状況になりました。とくに、食糧米の問題の公園や、原爆と東原に止めた普賢をもつ海外ゲストの会場では、定座に座る人々がつかつか、会場の床にすわりこんでもまだ入りきれないという大盛況になりました。夜は水車も各隊主催のソフト、エネルギーのシンドラムや車大鼓隊等の若者各派交まらうかれ、にぎわいました。

翌24日は晴天にめぐまれ、人々が続々と日比谷公園につめてきました。子供連れの若や女性の参加者が多かったのが自立ちました。2万人に及び、この参加者は日比谷公園、小有楽堂にはとうてい入りきれず、公園内を埋め尽くす有様。公園内では勝手に八百屋、本座、カレー屋などのが至る所にオープンし、バンドの演奏やいろいろなコンパルトも聞かれます。公園はさながら反原爆の解放区の様相を呈しました(前ページ参照)。

約30名がもうまを挙行し、参加者の目をよみました。パレードは二時半、さうら開始、地方からの参加者が早々に順に出発しましたが、ものすごい人数のため、先頭の人が解散地点に着いても後戻りはまだ公園を待つという状態で、全部出発するまでに二時間近くかかりました。

この晩には、「ホーマツ団体」農業団体、水車もろく関係めつて300人の人にも参加し、パレードも三隊列に切替。ホーマツ団体は車庫、クレープの先頭を走りましたが、先頭には水車から乳母車に乗せた赤ちゃんとともに参加した今夫妻が立ちました。参加者は、みんまて甲斐し、持ちよった黄色のドラム型のほうしとつけ、笛やカスタネット、ドラムを鳴らして「原爆なくともえい、ないか」原爆いらないのうたがだいたいとよびながら歩きました。

事前のとりくみがあつたからこそ……  
いろいろ反省点はありますが、この日だけの規模の行動は日本でも初めてのことであり、大成功といえるでしょう。しかし、この日だけの参加があったのも、各グループ・個人が事前のとりくみと行、てまたからうことできたもの。

私たちは地域でカラーパンフレットもに原爆全の案内を配ったところ、元の福祉会館に200人ほどが参加

さらにもう一産生参加のよびかけと、300の枚を配布したところ、高野・市民の会」を作り、十名ほどが参加しました。  
取組には仲間たち有志が積極的に学習会や映画会を企画、労働組合のつてなども進んで、農業団体の会」30名ほどが参加、リヤカーに積んだ野菜のぬいぐるみ、もうつみや、目をよびてくみましました。

A 屋敷町ではほとんど中心になつて倉作みに勉強会を開催、戦隊の仲間とこぞいみ、て大人ほど参加、N社につとめるNさんも戦隊の仲間五人が参加するなど、取組のよびかけが運動をひろげるといふことになりました。  
このほか、水車もろく隊では全委員によびかけ30名ほどが参加、東大、上野大、尼大、東武女子大、一橋大なども、学生・OBが声がかけて、チケットを前売りしておみせに参加しました。

「さあ、どうするか……」  
しかし、4月の具念は新しい出発点であられ、目的がなもみません。次は、原爆と米に止められたこと、うろた、です。色別りの別紙をみくらて下さい。

「原発大事故通信」No. 22」33<

# さて、これからを どうするか……

## 4.23-24 反省会 & 相談会 に来て下さい!!!

### ●情勢

4/23、24 東京行動のひとますの成功を終えて、ではこれからどうするかが問われています。

●情勢  
東京当日には、運動のよりなる展開と現実に原発を止めるための目的を押し、脱原発訴訟の再燃を促して新しい運動をしくもくもくとして展開がなされてきました。

日本にハイタリアのような国民投票のしくみはありませんが、イタリアでは国民投票により、昨午に原発を止めるという憲法改正で「脱原発法」の制定と結党派を現実に近づけ、そしてそのための全国的な大運動をつくってゆくことというのがその提議の因をなす。

●情勢  
連日の午々で進められたように、今回の集会は国内の組織(71)団のインパクトを高めるべく、脱原発訴訟を今後大きな政治的争点にできる可能性をもっているなかでは、検討に値する目標設定だと思いますし、二つとあわせて国会議員へのアンケートも行、ではどうかと、地域レベルで勝ち負け住民投票運動をやっているかという声も出ています。

中心となって長野・ハケ山グループ、一人規模の反原発のフエスグループに一回ほどにのりだ、生画でもしていますし、新聞にのり、かき書きもパンフレットも、賛助の対応も、この証書を集めて国会まで向かっていこうという動きも出ています。

●情勢  
他方、電力会社・連署者は「原発を止めよう」として、東京行動の実行委員会では、集会の報告、集会、映画ビデオの編集がすすまっています。

●情勢  
すくなくとも、7月10日以前には、下から集会やうしとかが4月(1)の頃から集会をしようというだけではないかという感じがします。

●情勢  
脱原発をめぐって、もうあがりていって運動をさらに大きくどう発展させようか、そして原発を具体的に止めるかをめぐって考えざるを得ない来ています。と、この中で、東京行動の実行委員会が7月10日(日)にみんなを対面と議論も相談会を企画して、いますので、ふまけておきかた。

●情勢  
また、4月の頭には、選挙民から自身でも、4月行動の反省会という

●地区

●ホーマツ団体反省会&相談会

■とき **6月30日(木) 18:30~**

■ところ **農協ビル9F全中沖会議室**  
(地下鉄丸の内線 大塚下車すぐ)

- 4月23・24日の集会についての反省をします
- これからのとり組みについての、さくばらんな相談をします。9時すぎまでありますので、ふくゆび 顔を出して下さい。

くばらんな小グループ相談会を行いたいと考えていますので、ぜひきて下さい。二つと相手にも連絡をとり、相手をかけあひ、そしてこの場をとりこんできたらうすので、各グループのリーダーが中心で、個人は福原にメールか電話か、お誘いをお願いします。

●農協ビル

会場(9階全中会議室)

注) 丸の内線改札を出るとすぐの農協ビルエレベーターホールに地下つながっている。

(注) 別に「90会議室」がありますがこれとは別。

●東京行動実行委 相談会

7月10日(日) 14:00-17:00  
み茶の水 統評会館 2F

東京行動実行委員会 全隊でのこれからの相談会です。

**「カー・パンフ」原簿10のあはれ  
三万部完売の増刊へ。**

本井三月に刊行したカー・パンフ「原簿10のあはれ」は、人づてに全国に知られ、「わかりやすい」「きれいで見やすい」「こいれなら、拒否反応を許すに足りて」ともなるとの好評をいじり、「二カ月前のまたたく間に三万部を脱りましてしまいました。」と、東京を中心に関東、地域を経て後配布したのもありますが、他は購入したいたもので、手続以上に反響が大きく、毎日のように全国から未知の方向からの注文が相次ぎ、送込に非便とあつては為替も、愛知では湖越隊も登場してきます。とにかく、三万部はなくなりました。また、二刷を準備しました。たくさん買っていただく限り、そのお金でまた

カー・パンフ「10のあはれ」	冊子「わいひほし」
東京 9,400枚(34冊)	東京 700冊(18冊)
神川 7,415 (6)	神田 555 (6)
山梨 2,030 (3)	石川 206 (4)
新潟 1,700 (6)	石川 100 (1)
石川 1,150 (4)	本郷 81 (3)
青森 1,050 (3)	本郷 80 (2)
川崎 1,000 (1)	千草 67 (4)
愛知 1,000 (1)	千草 60 (2)
千草 810 (6)	55 (2)
島根 700 (1)	60 (2)
神田 620 (5)	40 (1)
富山 620 (2)	38 (2)
愛知 590 (3)	13 (1)
岐阜 400 (3)	5 (1)
兵庫 350 (4)	5 (1)
大分 350 (2)	2 (1)
福岡 250 (1)	
埼玉 172 (1)	
栃木 100 (1)	
長野 100 (1)	
群馬 100 (1)	
福井 50 (1)	

どのどの印刷しようもスローガンにはあててきましたが、こいれを表現してあります。

また、小冊子「こいれにわいひほし」原簿のはなし」は筆者の講義用レシムのつもりで作ったところ、こいれも好評をいじり、オレ一版印刷(800部)と訂版(800部)ともなり、改訂版(800部)も別々をいじり、原簿は原簿のほか、とくに原簿でもあつて、現地のオタクで活用をいじているようです。原簿と止めた、少しも役に立ってと思つて、作、たもの、あつたに、心強さ思つています。また、とくにオタクオタクのあつても多く、地域のリーダーとして活躍のようです。それから、原簿の花や葉がオタクからの注文も多くなりました。

**カー・パンフのあはれ**

「10のあはれ」は80冊です。「こいれにわいひほし」は80冊です。送料は別とあり、ありますので、必ずお金を左記の郵便振替にてお送り下さい。

**カー・パンフのあはれ**

パンフ等については右代金を頂いてありますが、小冊子の活動につき別途カンパ(の手紙とあつた)を頂いてあります。昨月12月以降、本年の月9日まで、田舎(二回)の田を頂いてあります。お名のオタクですが、氏名は控えておいたさせていただきます。



また、このほかにもカー・パンフ購入者のために代金をお返しカンパを頂いて、お名前を載せてあります。お名前を載せてお返しします。お名前を載せてお返しします。

**本紙にのこる  
意見とくちをこ**

それにしても、仕事から帰れば、あつてもくちもパンフレットの発行に追いつく毎日です。また、七月には原簿関係、原簿関係など、雑誌と四回も予定し、死んでいきます。

当初、私信のつもりで、新聞に書かす、事実などとお伝えするつもりで発行してました。本紙でもありますが、お名前を載せてお返しします。原簿運動のひろがりやお仲間と各々のオタクのつながりの拡大のおかげで、本紙の発行もひとつの節目にまで、この原簿のあはれです。

今後のあつた等について、お名前を載せてお返しします。お名前を載せてお返しします。



# 10月8・9・10日 みんなで行こう 青森・下北 髯大行動

# 10月23日 せめてこっちだけでも 東京行動

## 原発「大事故」通信

—ウクライナより放射能をこめて

NO.23

88・8・25

**今年も下北に行こう！**  
—10月の連休に現地集会

再稼働のおかしな新聞に、いつにな、たう本当に夏か来るのかと思、ている。もう秋かやってきました。

秋といえば、恒例10月26日の「原、子力の日」に対抗した「反原チカの日」行動の準備をしよう。という、ことに決まっていますが、今年は、4/23/24、集念に「つへん」イベントとして、ぜひとも皆さんに提起したいと思、ひます。

それは、10月の連休に(10日)8、10日)、ぜひみんなで行こう。六ヶ所村に行こうという事です。

地への000人規模の大行動が予定、れているためです。青森にはの原発、の燃料をつくるウラン濃縮施設、④、原発の使用済み核燃料を集中して、貯蔵、のウランと、①トニウムを抽出、する再処理工場、②の日常的な濃縮、率や事故の際の被害は、原発の比、ては、ないという、③最悪事故、④低レ、ベル放射性廃棄物の処分場(希土場)、⑤、という「三要素」が計画、

この燃料サイクル基地建設に向け、この秋にはウラン濃縮施設の着工、低レ、ベル処分場の公開ヒアリング、チ、子院への公開、反原発運動は10月頃、にひとつの大きな山場を迎えてい、たのです。

これに対し、青森県民の間では、米にみるような、反対の声があ、つており、特に原発の反対は強く、青森県農協中会と反対を表明、知、事ともまみれていくと、い、う、なか、う、今日も集会が持たれます。

ぜひとも今回は、みんなで行、く、つ、たい。理由は次の通りです。

① 今年も東京での集会参加に取、り組んで来たが、ぜひ現地に行、く、。しかし行動の人数と、この現、地、行動への参加は困難だったが、今、回の行動は連休に組まれました、。これらは格別のチャンスです。

② さきに述べたように、運動が山、場を迎えているので、も、張、りたい、。具体的日程は左記の通りですが、。また準備は始んとするべく、い、い、段階、車からバスがつかなくとも宿泊、とかも未定は段階です。

③ 10日(日) 10時：県庁前を巡回行動、14、時：青森、内、を、機、場、運、送、場、合、(、宿、泊、は、青森か)

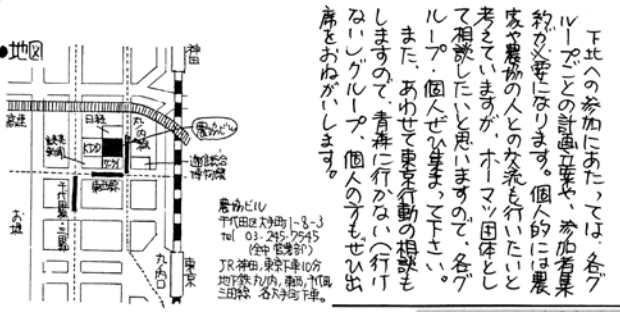
④ 10日(日) 下北半島六ヶ所村へ移動、12時：昼食とコンサート 15時：、村、内、で、

⑤ 10日(日) 若干のヒラ面など、部、の、加、も、可、能、で、す、し、グ、ル、ー、プ、毎、の、独、行、動、も、可、能、

**東京行動は10/23(日)**

他方、東京での10月行動は10月23、日(日)に決まりました。詳細は未定、ですが、今から予定をあげてお、き、。参加者の仲間づくりをすすめま、し、う。

**ホーム団体・個人として  
下北に行くための  
東京行動のための  
相談をしよう!!**



## ホーム団体・個人のひろは 相談会

＜下北行動・東京行動など＞

■ とき 9月8日(木) 18:30~21:00  
■ ところ 全中9階ホ会議室(東京・大手町)

① 企画発行：河野 直実践

こわいこわい原稿のはなし 1冊 200円  
 カラーパンフ 原稿10のはなし 1枚 20円  
 好評取扱中 (送料は別)

# ホームマツ団体 相談会のほうこく①

皆様への報告がたいへん遅く  
 なってしまいました。去る6月30  
 日、大手町の豊協ビルで、「原稿大  
 事故通信」読者と「ホームマツ団  
 体」の相談会を開催しました。

相談会には約10名ほどの出席があ  
 り、①各自が職場や地域、学校など  
 で小さなグループを作り、その時  
 令、時間帯として行動した4月23・24  
 日の「東京一万人行動」での「ホ  
 マツ団体」個人への反省、②こ  
 のからの取り組み方向についての相  
 談、③「原稿大事故通信」のあり方  
 についての話を中心に、ヤブくはら  
 んな相談を行いました。

## 出されたおもな意見

- 警察の不当な介入や押圧がひどく  
 なってきているので、こうした問  
 題をみんなどう伝えようか(現状  
 では無防備すぎる)。反対にこ  
 ちらを強硬してみんなが恐がまよ  
 うになってしまってもマイナス、  
 またどう痛しまか、対応を考え  
 る必要がある。(D)
- 青森県下北の現地在今年はかな  
 り動く情勢にある。核燃料サイク  
 ル基地をめぐって着工や公開シ

リンクが今年は予想される。原稿  
 以上に恐れ、読者でもあり、反原稿  
 運動にどうしては極めて重要な正念  
 場なので、東京での心ひりしてい  
 るさうでなく、現地とつながるこ  
 とが必要になってくる。(B)

● サラリーマン生活を送っている  
 以上、とりあらずに職場で地道に  
 仲間づくりや意識の高揚を心が  
 ていく以外ない。こうした意味で  
 は、「原稿大事故通信」は結果的  
 には現業にはないかもしれないが  
 ひろく仲間をひろげ、息のなが  
 たりくみとして取り組めるので、  
 やりやうのよいといえる。(C)

- 東京行動以後、大学内では原稿  
 の話は消えてしまつて、運動が衰  
 敗してしまつている。行動を起  
 すタイプの人が少ない現状なので、  
 常に話題にしていないと、一時的  
 なものに終わってしまう。(H)
- 直ちに原稿を止めることにはき  
 なくても、何か具体的なひとりの  
 結集目標や、マスコミに乗らな  
 くなやリオがないと、運動の継続  
 発展は難しい。原稿発表も、そう  
 したことの手段として活用でき  
 るか。(S, K)
- 原稿発表やイベントに「金」が  
 もつたかどうかが、これは現在の  
 中は変わり、マツ。どうした意味  
 では、原稿発表が「マツ」が  
 電気事業法の改正によるローカ  
 ルエネルギー普及をすすめること  
 のが、現業的ではないか。(N)
- 電力の生活態度をいかにいかに  
 もしれないが、産業界電力需要

の多いなかであつて、こいつに對し  
 てはあまり意味がないのではないか。  
 ● 警察対応の話に戻ると、最近の  
 反原稿行動はひとりひとりが勝手  
 に参加する形になつていて、一面  
 ではこれはいいことだが、混乱し  
 たりするがたいホされたりしても  
 フォローがないのでマイナスの側  
 面を持つ。(Y, T)

## 2カ月に一度くらい ヤブくはらんな 相談会をつづけよう

このような意見交換のあと、河野  
 あり、「このからの運動は各自がど  
 ぞの地域や職場ですすめる。それ  
 のやりやうを、やてやりはよいと思  
 うが、相互に意見交換や情報交換を  
 し、相互連絡としてゆくために、各  
 グループ・個人が出席して、よく  
 らんに話し合ふ会を定期的に開いて  
 はどうか」と提議を行いました。

これに對しては、賛成意見のほ  
 かに、毎回のワロン的なものだ  
 たら毎回出てくるとはいいない、毎  
 月一回ペースでは多すぎ、一定の  
 行動目標も、これで行つていっただ  
 がよい、しかし具体的な行動目標の  
 場なら月一回以上のペースであ  
 りない意味がない、この意見があ  
 りました。

そこで当面、次のようスタイル  
 で、ヤブくはらんな「ホームマツ団  
 体」の話し合いの場を定期的につ  
 づけてゆくという方向になりました。

## ②

① 原則として2カ月に一度ペース  
 で、ヤブくはらんな話し合いの場  
 を確保してゆく。

② 毎回出席を義務づけず、こはし  
 ないが、各ホームマツ団体・個人が  
 積極的に参加し、意見交換や情報  
 交換・相互連絡としてゆくための  
 ワロンとして位置づけよう。

③ 単なるワロンでいならぬが、な  
 ので、持ちまわりなどの活動機  
 会を設定し、そのグループの取り  
 組み状況や悩みを話し、ついで、  
 みんなで考えようための素材とす  
 ろう。

④ 各グループの取り組み方向では  
 どうしても肉體的になりがちな  
 ので、グループのメンバーと一  
 緒に集つて来るとすまふことによ  
 うに交流しあふ場としても活用して  
 ろう。

⑤ 基本的にはワロンだが、車走行  
 動のように大きな取り組みがある  
 場合にも、相談して具体的な行動  
 提起の場にも活用しよう。その際  
 には、もつとみんなに命令を持つ。  
 こうした方向で今後、継続的に  
 会を持つ予定でありますので、積極  
 的に参加下さい。一歩一歩の相  
 談会のおしらせも、この一回目、  
 というこになまわけです。



# 原発「大事故」通信

No. 24

88・10・12

— ウクライナより放射能をこめて

## 下北・六ヶ所(10/8~9)

# 核燃いらぬ大行動に参加してきました

### 青森県庁への % 申し入れ

10月7日午後10時半、松島町右で品川、東柳寺前を出発した。わたしたちは、一踏青森へ。途中道都高の波津にもゆかり。運転手君の頑張り。翌8日朝10時半には県庁前に着くことができた。

現場にはすでに500人近くの人たちが、息を凝らして固まっていた。ウラン濃縮施設、再処理工場、低レベル放射性廃棄物処理場の3施設。建設計画の取り消しを申し入れていくところだった。相変わらず県職員の様子には驚かされた。たけいとも、早くは沖地からかけ参った人たちの声に動揺の色はかき消せず、機動隊も手薄だった。せいぜいか、わたしたちのデモがひとまわりのア、ア、アとした感じになりました。

お昼過ぎからは、青森県庁本館と青森公園との間に、在外に分散しての集会になりました。そのための屋外集会に参加したわたしは、はからりと晴れた秋空のもと、まっさらとしたビュウニック大会にいらなから、各地のグループと交流するこができました。

### 青森の県民の声を聞く % むつ市での交流会

さて、県庁前を三時には着て、定なる目的はむつ市。前日には雨のため花火に荒れていたむつ港はうづまき、こぼれずか。その静かなる海を片目で見ながら、途中、六ヶ所村の石油備蓄基地を控ゆ。その巨大さに圧倒されつつ、30分余りのタンクに入った石油が一連で消費されてしまったこと。そしてその一部が地盤沈下でかきこぼれていること。事故が起きた時の危険性は、わたしたちはそれより想像いさめずしました。

十時より30分ほどむつ市に到着。ホテル(一軒は民営)にすくインしたわたしたちは、早速、今回の下北の阿の独自企画「青森県の県民の現状と原発の話を聞く会」に早交わり。日本の中々青森の県民の立ち位置。そしてその官公庁と民間との関係。そして、三毛とトールの建設の意味するもの。それらに対する反対運動の経緯と、実際の県民の声を聞くことになりました。その後は、県民の代表と面談。具体的な原発の建設、青森教育のつくり直し、生活者ネットワークのつくり直し、また消費者への注文(現在、牛乳は生乳調製輸入、マリン)など、それぞれ、その抱けたい果てまでも...の感じになりました。が、名残を残して胸に救われたのでした。

### 六ヶ所村での抗議デモ

翌朝ゆめに目をこすりながら、そぞろと朝食を済ませ。観光ツアーらしく「松山」へ。ちうど年に1回の祭りに当たり、いたこさんたちと大勢のあたりになりました。

東通原発予備地を控へ、前日は正午に六ヶ所村の集会場に到着。地元の高齢者の大にわたしの全味として提供していただいた抗議は、牛ならぬ人ごころたがしてこいた(約30人)。

核燃建設計画のため、自らの土地を奪われ、そのうえ更にもし三毛とトが、そやうものなら、放射能まみれにならざるまえない。という地元県民のたの叫びはわたしたちはどう応えたらよいか。そんなことを考えつつ、原燃之社、そして六ヶ所村役場へとデモ行進。日ごころに備わったという面々も、街路の雑踏ではなく、風にながくススキ席。ゴゴと水しぶきの水面には陸手のうがいもさることながら、人間はけぞはなく、自然も安んじまていしことを感じました。村の集落は入り、わたしたちのアピールに村の方々が手ごころ、こたえなくおこりました。夜路に響いたこころにはもう日はかり、一行は、心地よ、癒やを感じて、帰途に就いたのでした。

当初はたか口赤字が千超された今回のツアーでしたが、山梨からは3名も参加した3名、町田の主婦の方を含め、秋葉谷にもものほろ大先輩



青森県庁での核燃建設取り消しの申し入れ  
編集・発行 河野直哉



むつ市での青森県民の交流会



伊山のイゾウ



大幡所村での反原発会



核燃料建屋1号地に佇む尾高文沼

● 内容は、原発と止めた壁川から、トストをむかえ、また香森(下北)や新井柏崎からも発言をおねがいして

● 本年4月の反原発全国集会(東京行動)をひきついで、秋の個別・東京行動開始かれます。今回の集会は、従来の日比谷公園から、上野の水上音楽堂に会場をうつして開かれます。

# 10・23は脱原発の森へ上野へ

正午開場

## 原発とめよう10・23東京行動

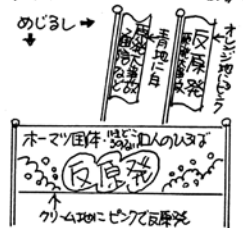
### 上野公園水上音楽堂 1:00-4:00

主催 ● 原発とめよう! 東京行動'88  
連絡先 ● 原子力資料情報室 03(832)1977  
日本消費者連盟 03(711)7766  
大地を守る会 0424(87)7811  
反核/パンフィクセンター東京 03(815)1648  
〒113 東京都文京区向丘1-3-7 自主講座内



### ホームレス団体・個人のひろば

《会場内 12:00~4:00開設》



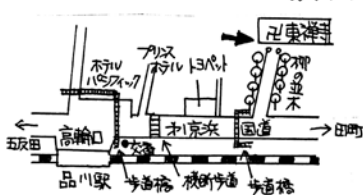
● 今回の東京行動は集会だけでなく、そのあとのパレードはありません。ただそのかわりの新しい旗みとして、各自が上野に集まってきた、ゼンケンとついでに旗をもち、あまのぼろの中を改てビラまきしたりしなからみんなにアピールする形を集まっています。とくに、なつこになってきます。ゼンケンも、各グループ、個人ごとにエスアととりかきしていきましょう。

● 今回の東京行動は集会だけでなく、そのあとのパレードはありません。ただそのかわりの新しい旗みとして、各自が上野に集まってきた、ゼンケンとついでに旗をもち、あまのぼろの中を改てビラまきしたりしなからみんなにアピールする形を集まっています。とくに、なつこになってきます。ゼンケンも、各グループ、個人ごとにエスアととりかきしていきましょう。

● 今回の東京行動は集会だけでなく、そのあとのパレードはありません。ただそのかわりの新しい旗みとして、各自が上野に集まってきた、ゼンケンとついでに旗をもち、あまのぼろの中を改てビラまきしたりしなからみんなにアピールする形を集まっています。とくに、なつこになってきます。ゼンケンも、各グループ、個人ごとにエスアととりかきしていきましょう。

### 東京行動終了後 ホームレス団体 交流会 をやります。

当日 5:00~7:00 at 品川・東禅寺



● 品川駅下車 上ホ10分  
東禅寺(品川駅) 316.16  
TEL 449-2594

● 交流会は、各個人、グループが、それぞれ声をかけあい、呼びかけ人をあつめて参加します。新しい人にもぜひ声をかけてみて下さい。本場の参加も歓迎します。

● 交流会は、各個人、グループが、それぞれ声をかけあい、呼びかけ人をあつめて参加します。新しい人にもぜひ声をかけてみて下さい。本場の参加も歓迎します。

# 脱原発法めざして 1,000万人署名 1月スタート!

**原発「大事故」通信**  
 No.25  
 88.11.13  
 ウクライナより放射能をこめて

## 脱原発の流れ確定!

脱原発の流れが、もはや押しどきの難いものに成長してきています。先日発表された「朝日新聞」の世論調査でも、原発反対の票は、推進の票を上回るに至りました。

そしてヨーロッパでは、原発の廃止や解体が、すでに具体的なシナリオとして進んでいます。これは、国民投票や「脱原発法」の制定など、法的な手段で廃止を求めようとする動きが、一列とみられ、以下のように分けてみます。

- イタリア……国民投票で新規の原子力発電所をストップ
- オーストリア……国民投票で原発の運転を認めない法律を制定
- スウェーデン……国民投票で運転中の原発の停止を可決。これを受けて20年までの全廃を国会決議で定めた
- デンマーク……原子力開発しないことを国会決議
- 西ドイツ……社民党が昨年までに全原発の停止を求め、法案を国会に提出、審議中。

**日本では「脱原発法」**  
 こうしたなかで、日本でもついに



「脱原発法」の制定を求めて大運動を展開することが決まりました。日本では、国民投票とか、法律制定の直接請求などという制度がないので、署名運動などをつうじて脱原発法の制定を国会に求め、国会議員の決議で法律を国会に提出し、これを可決させるといふ方法をとることにしています。

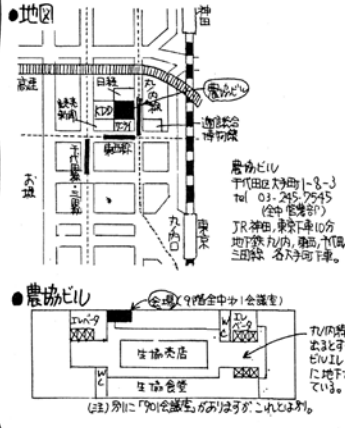
- ① 計画中、建設中の原発・核燃料サイクルの廃止
- ② 運転中の原発は、一定期間内にすべて廃止
- ③ 放射能汚染物は処分された後、放射性物質を管理する。

**来春一月から全国一斉に署名開始!!**  
 具体的なスケジュールも、すでに決まっています。  
 全国統一の署名用紙を、89年1月から、「脱原発法」制定を求め署名が、せいにスタートします。そ

## ホームズ団体・個人のひろば 11月22日(火) 6:30~9:00

### 脱原発法大相談会 全中9F才|会議室(東京・大手町)

参加できない地方の方、ぜひとも意見をください。



これからの「ホームズ団体・個人の会」は、単に集会に参加するだけでなく、読者ひとりひとりが主体的に仲間をふやし、人々に呼びかけてゆくための場になりたいと思います。そのための共通のものとして、「脱原発法署名」をみんなであつめる活動を柱にしたい。それには、ホームズ団体として何ができるか。そんな大学習会と大相談会。内容は以下の通り。

- 関係決定 —— 脱原発法をめざす運動にみんなできりこもう
- 実践報告 —— こうして署名運動や世論づくりの運動をするか  
 (1) 大学で……「アセスメント条例直接請求」の経緯(報告:当時の事務局長)  
 (2) 地域で……「港では署名集約者のネットワーク作りを開始!」  
 (3) 職場で……「生活クラブの職場でのとり組み」(報告:千葉職員・H)
- 討論 —— ホームズ団体では何にとりこめはよいか?  
 署名集約者のリスト作り? 共通のポスターやビラ作り? 脱原発法のえはがきリーフレット作り? それとも……?

地域で、職場で、大学で……

# 署名あつめのネットワーク作りを 読者一人一人の手で!

編集・発行 河野直哉

右の校指と連携して、次はこれ  
も国会の多数で可決することをおし  
します。そのためには、超党派で  
脱原発議員連盟のつよみのある作  
り、賛同者をひやくとが求められま  
す。そこで、くりかえし大量の着  
名を提出したり、これをつづいて  
らうたうな世論や国政レベルの争点  
に脱原発論を押し上げたり、国会に  
は選挙を首案に国会議員アンケート

して、来年度には参院選が予定して  
いることになり、ホー大連動は4月  
の10万人目標に向けて、脱原発  
の争点にこの争点をこころがけて  
るものですね。

「脱原発議員連盟」  
をのぞく  
「1,000万人の署名をすべし」とか  
ういふ、それですぐ脱原発止めの  
ことにはなりません。脱原発  
を単なる個人間の希望から、国  
人としてのための運動、世界的  
的な「脱原発」のレベルに押し上げ  
るという意味で、このまでの運動は  
全く違う。新しい段階にむか  
いましょう。

「脱原発議員連盟」  
をのぞく  
「1,000万人の署名をすべし」とか  
ういふ、それですぐ脱原発止めの  
ことにはなりません。脱原発  
を単なる個人間の希望から、国  
人としてのための運動、世界的  
的な「脱原発」のレベルに押し上げ  
るという意味で、このまでの運動は  
全く違う。新しい段階にむか  
いましょう。

「脱原発議員連盟」  
をのぞく  
「1,000万人の署名をすべし」とか  
ういふ、それですぐ脱原発止めの  
ことにはなりません。脱原発  
を単なる個人間の希望から、国  
人としてのための運動、世界的  
的な「脱原発」のレベルに押し上げ  
るという意味で、このまでの運動は  
全く違う。新しい段階にむか  
いましょう。

「脱原発議員連盟」  
をのぞく  
「1,000万人の署名をすべし」とか  
ういふ、それですぐ脱原発止めの  
ことにはなりません。脱原発  
を単なる個人間の希望から、国  
人としてのための運動、世界的  
的な「脱原発」のレベルに押し上げ  
るという意味で、このまでの運動は  
全く違う。新しい段階にむか  
いましょう。

「脱原発議員連盟」  
をのぞく  
「1,000万人の署名をすべし」とか  
ういふ、それですぐ脱原発止めの  
ことにはなりません。脱原発  
を単なる個人間の希望から、国  
人としてのための運動、世界的  
的な「脱原発」のレベルに押し上げ  
るという意味で、このまでの運動は  
全く違う。新しい段階にむか  
いましょう。

「脱原発議員連盟」  
をのぞく  
「1,000万人の署名をすべし」とか  
ういふ、それですぐ脱原発止めの  
ことにはなりません。脱原発  
を単なる個人間の希望から、国  
人としてのための運動、世界的  
的な「脱原発」のレベルに押し上げ  
るという意味で、このまでの運動は  
全く違う。新しい段階にむか  
いましょう。

## 脱原発法を実現して 港区のネットワークづくりを助けて下さい!

脱原発法の決断と実現  
● 脱原発法の決断は、脱原発議員連盟の活動によって実現されました。  
● 脱原発法の実現は、脱原発議員連盟の活動によって実現されました。  
● 脱原発法の実現は、脱原発議員連盟の活動によって実現されました。

### 脱原発法を実現するネットワーク作り

● 1,000万人の署名をすべし  
● 1,000万人の署名をすべし  
● 1,000万人の署名をすべし

#### 第II回相談会

日時: 4月10日(土) 15:00~18:00  
会場: 港区役所 3階 大会議室  
参加費: 無料  
申し込み: 03-5561-2111

「脱原発議員連盟」  
をのぞく  
「1,000万人の署名をすべし」とか  
ういふ、それですぐ脱原発止めの  
ことにはなりません。脱原発  
を単なる個人間の希望から、国  
人としてのための運動、世界的  
的な「脱原発」のレベルに押し上げ  
るという意味で、このまでの運動は  
全く違う。新しい段階にむか  
いましょう。

「脱原発議員連盟」  
をのぞく  
「1,000万人の署名をすべし」とか  
ういふ、それですぐ脱原発止めの  
ことにはなりません。脱原発  
を単なる個人間の希望から、国  
人としてのための運動、世界的  
的な「脱原発」のレベルに押し上げ  
るという意味で、このまでの運動は  
全く違う。新しい段階にむか  
いましょう。

# 「脱原発法」要求運動 1月22日(土)スタート 全国1,000万人の大署名を

## 「脱原発法用品」新発売!

- 全国1,000万を目標にした「脱原発法」署名がスタートしました。そして、懸念となっていた皆様ご期待の「脱原発法用品」も、やっと準備ができました。**チラシ、ポスター、はがき、のぼり旗新発売**⇒**別紙参照**
- 署名用紙のあつせんは行っておりませんので、直接、署名の事務局に申し込んで下さい。
- 署名は、年齢、国籍を問いません(子供も可)。署名用紙はコピーしてかきかまいません。

原発「大事故」通信  
— ウクライナより放射能をこめて  
No.26  
89.2.10

以下は、昨月号月頃から今日までの約10カ月の間に、私が全国各地の方から頂いた便りの一部です。紙面の都合で全部紹介できないのが残念ですが、各地の皆様さんの頑張りが残っています。私の半年間の活動と読みとっていただくことができればと思います。「なまはた、こんばん取り組みのしかたがあまりのわがごとく参考になることあるかと思えます。私自身の、として全国の方々の活動です。」

3/4月

● 原発もいよいよ末期の症状を呈してしまいました。これ以上堆積する金はございません。従来の地産地消は着目業者の崩壊状況にも耐えて必死に運動を続けています。安心下さい。4月23・24日に1万人が集まるなか、たつ、東京の反原発運動の敗北でしょう。

● (三重・海の博物館 Y・I) ↓三重・南島町の古本舗源流は、昔は原発反対とかかけて頑張っていました。差違差違不承で地産地消が変化しており、ミニに電力会社がついてこもうとします。そして、全国からこの地産地に100万円の出金(1万円でも引なしは可)、みんなを支えようという運動が行われています。

- (石川県小松で原発反対のあつまり)
- (23・24の成功を祈っております)
- (二のここと、すうとは事に埋没すまひをせよ、ていましてが、最近やつと危険性まんの「危険な話」を読んで、原発のことを考えようになりました。昨12月に子供も生まれ、てしまったので、本当はもうと早く真剣に考えまへきだったのですが、どういうわけで、「こいはいはなし」50部と、10のおはなし追加部は、て下さい。私の住んでいく土地が100世帯なので、そこに配るつもりです。4月24日には、なんとか都合をつけて upstream もりです。
- (兵庫・会社員 R・G)
- (私を、「いらんがゆ」原研力総電研 名古屋ヤチの000人集会)の準備に日々進んでおります。4・24には名古屋から大勢出席します。
- (愛知・T・F)
- (春うしくはりました。いつも原発大事故連発危難うございませ、甲府でも反原発運動が活発化してきていますので、通信をスキャンして、にもお送りしたきたいと思えます。
- (山梨・大井校長 S・D)
- (石川・J・M)

● お元気がですか。カパーペンについてですね。9月には北海道で初めての原発の抗議運動が予定されています。地球上の原発を全廃するためにも、この抗議運動を止めないことがいかに重要かを御察しております。4・23・24には日比谷でのご案内がもしもありませんがよろしく。(北海道・菅生 M・O)

↓この不便には氏の出している「東京電力放射能監視」が同封してあります。

● 23・24日はお疲れ様でした。娘はかりとおもしろかったらしく、家に帰ってからも放射能マークのセーリングを下さい、ついにいよいよ説明していただきました。

● (おれが「一応」、「原発止めよう」高野市長の会)というのを作ったのだから、一人行動が終わっても、月一回集会をやるとか、会を維持していきませんか(東京主婦 K・L)

↓私の地域からも、おのれがの会を作った当り十人ほどが参加。おの手紙のような感じで、こんどは「脱原発法署名」にむけて運動中。知りあひも老成に成らぬが、脱原発法署名を集めよう、港区ネットワークに改組。









# 「農林漁業関係者の脱原発」ご協力を!

NO. 27

89.6.5

## 原発「大事故」通信

ウクライナより放射能をこめて

二地方のおねがい

すでに知られていますが、「脱原発法」の別荘署名運動が全国で展開されております。

脱原発を本当に実現するには、脱原発をこめて多くの人々が目標に結集することがどうしても必要であり、また従来の保守層を名づけて懐かしい賛同と、運動をすすめてゆくことが必要です。

現在、青森県では脱原発が中央テレビの番組として「反核検」と明確に打ち出されています。運動をすすめるのみならず、とくに脱原発関係者脱原発の世論が急激に高まり、地方、さらには国政レベルまでゆり動かしてついであります。

オーストラリアは、たはものつうじうに私たちの生命に最も被害しているところとして、オーストラリアの保守政治を支えきつた脱原発の中核に脱原発を甲立て、保守政権に改革を迫ることを入る政治改革の原動力とするところから、現在、とくに脱原発関係者の面から脱原発の声を高めてゆくことは、極めて重要な意味のあることと考えます。

自身も脱原発運動に勤め、身ごとくつうじうに、脱原発関係者にとり呼びかけて、同好者とのつながりがあります。あつたが脱原発関係者の場合は、同好者と、それ以外の場合には知人の脱原発関係者の、賛同と、高めてゆくことに、心がけて、ぜひともおねがい申し上げます。肩判ナシと承認下し

たくさんあります。ご活用ください

## 脱原発法用品

地域で、職場で、学校で……脱原発の運動はすすんでいまいか。脱原発法の運動も、単なる署名ではなく、身近な仲間を1人でも2人でもいやし、行動をおこすための集材としてとむこと大切だと思います。

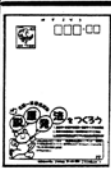
これは、下記のようないろいろなものを作って、お分けしています。お申込は本のとおり郵便のみは電話で。品物と一緒に郵便振替用紙と請求書をお送りしますので、代金は到着後にお戻り下さい。価格は下記の通り。送料は別。



### ●チラシ「脱原発法をつくらう」

1枚 6円 (ただし10枚単位・送料実費)  
 (1,000枚以上 1割引 / 3,000枚以上1.5割引)  
 (5,000枚以上 2割引)

B5判・表2色刷・裏1色刷(計3色)のきれいなチラシです。地域や会場などでの大量配布に最適。イラスト中心。表は脱原発法の説明と世界の状況。裏は署名の集め方として署名用紙の申込書つき。一部に空欄が設けてあり、ここに個人やグループ独自のメッセージ記入・刷込することにより、完全に自分たちの媒体として活用できるしくみ。



### ●官製はがき「脱原発法をつくらう」

1枚 45円 (ただし5枚単位・送料実費)  
 (100枚以上 0.5円引 / 500枚以上 1円引)

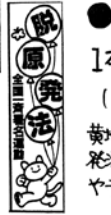
裏は白。表の下1/2にイラストと趣旨を印刷。グループなどで案内をはがきに印刷して出す時などはぜひこのはがきを。また、「運動はちよつと」というあなたも、身近な友達へお便りに使ってみては。《思ひいりますが、持かぬ際には肩判の1円切手と貼付して下さい》



### ●ポスター「脱原発法をつくらう」

1枚 100円 (必ず5枚単位・送料実費)  
 (50枚以上 0.5割引 / 100枚以上 1割引)  
 (300枚以上 1.5割引)

A3判・厚紙2色刷。ゆこちゃんのイラスト。脱原発法署名の趣旨と本文、署名運動の期間が入っています。やはり下の方に空欄があり、ここにグループ独自に連絡先やメッセージが記入できるよう工夫されています。



### ●のぼり旗「脱原発法」

1本 2,500円 (布のみ、ポールは各自配のこと・送料)  
 (5本以上は 100円引き / 10本以上は 200円引き)

黄地に赤と紺の2色ののぼり旗。45cm×180cm。「脱原発法 全国一斉署名運動」の文字とイラスト。(街頭署名やデモ・集会などでよく目立ちます。)

### ●好評カラーパンフレット「原発10のおはなし」

もまだあります。4色刷 B4両面。万部発行のベストセラー。「脱原発法用品」発行にあわせ、今回、下記のように割引制度を設けます。

1枚 20円 (1,000枚以上 1割引 / 3,000枚以上1.5割引)  
 (10枚単位・丁別) (5,000枚以上 2割引)





















# 4月27・28・29日は全国から東京大行動へ

## 原発もついでに 大事故通信

NO.29  
90-25

### 予 来年(91年)に大事故?

左の表を見てほしい。何となくさう、88年6月発行の本誌NO.3の表なのだ。そのタイトルに「5年後にまたメルトダウンが起きる」とある。今年はずきに89年とさう、あんなの背すじに冷たいものが走りほしひいか。

表が示すのは、88年に原発が運転を開始して以来、合計一九二基年運転してきた89年にスリーマイル島事故が起きた。そして更に一九八八年計三九二基年運転して89年にチェルノブイリ事故。というところは、二〇〇〇の年までに一度の割合で原発大事故が起きる計算になる。

89年現在の運転数は表よりいって約五、七、五五年に一度大事故が起るとは、チェルノブイリの89年の五年後とは……91年、もう

年次	日 本		全 国		備 考
	運転数 (基)	累計 (基年)	運転数 (基)	累計 (基年)	
1966					
57	1	1			
58	3	4			
59	14	17			
60	17	34			
61	23	57			
62	32	89			
63	41	130			
64	50	180			
65	57	237			
66	67	304			
67	77	381			
68	85	466			
69	94	560			
70	106	666			
71	124	790			
72	147	937			
73	154	1091			
74	173	1264			
75	186	1450			
76	201	1651			
77	218	1869			
78	228	2097			
79	247	2344			
80	266	2610			
81	281	2891			
82	302	3193			
83	324	3517			
84	350	3867			
85	380	4247			
86	415	4662			
87	455	5117			
88	500	5617			
89	550	6167			
90	600	6767			
91	650	7417			
92	700	8117			
93	750	8867			
94	800	9667			
95	850	10517			
96	900	11417			
97	950	12367			
98	1000	13367			
99	1050	14417			
00	1100	15517			
01	1150	16667			
02	1200	17867			
03	1250	19117			
04	1300	20417			
05	1350	21767			
06	1400	23167			
07	1450	24617			
08	1500	26117			
09	1550	27667			
10	1600	29267			
11	1650	30917			
12	1700	32617			
13	1750	34367			
14	1800	36167			
15	1850	38017			
16	1900	39917			
17	1950	41867			
18	2000	43867			
19	2050	45917			
20	2100	48017			
21	2150	50167			
22	2200	52367			
23	2250	54617			
24	2300	56917			
25	2350	59267			
26	2400	61667			
27	2450	64117			
28	2500	66617			
29	2550	69167			
30	2600	71767			
31	2650	74417			
32	2700	77117			
33	2750	79867			
34	2800	82667			
35	2850	85517			
36	2900	88417			
37	2950	91367			
38	3000	94367			
39	3050	97417			
40	3100	100517			
41	3150	103667			
42	3200	106867			
43	3250	110117			
44	3300	113417			
45	3350	116767			
46	3400	120167			
47	3450	123617			
48	3500	127117			
49	3550	130667			
50	3600	134267			
51	3650	137917			
52	3700	141617			
53	3750	145367			
54	3800	149167			
55	3850	153017			
56	3900	156917			
57	3950	160867			
58	4000	164867			
59	4050	168917			
60	4100	173017			
61	4150	177167			
62	4200	181367			
63	4250	185617			
64	4300	190017			
65	4350	194467			
66	4400	198967			
67	4450	203517			
68	4500	208117			
69	4550	212767			
70	4600	217467			
71	4650	222217			
72	4700	227017			
73	4750	231867			
74	4800	236767			
75	4850	241717			
76	4900	246717			
77	4950	251767			
78	5000	256867			
79	5050	262017			
80	5100	267217			
81	5150	272467			
82	5200	277767			
83	5250	283117			
84	5300	288517			
85	5350	293967			
86	5400	299467			
87	5450	305017			
88	5500	310617			
89	5550	316267			
90	5600	321967			
91	5650	327717			
92	5700	333517			
93	5750	339367			
94	5800	345267			
95	5850	351217			
96	5900	357217			
97	5950	363267			
98	6000	369367			
99	6050	375517			
00	6100	381717			
01	6150	387967			
02	6200	394267			
03	6250	400617			
04	6300	407017			
05	6350	413467			
06	6400	419967			
07	6450	426517			
08	6500	433117			
09	6550	439767			
10	6600	446467			
11	6650	453217			
12	6700	460017			
13	6750	466867			
14	6800	473767			
15	6850	480717			
16	6900	487717			
17	6950	494767			
18	7000	501867			
19	7050	509017			
20	7100	516217			
21	7150	523467			
22	7200	530767			
23	7250	538117			
24	7300	545517			
25	7350	552967			
26	7400	560467			
27	7450	568017			
28	7500	575617			
29	7550	583267			
30	7600	590967			
31	7650	598717			
32	7700	606517			
33	7750	614367			
34	7800	622267			
35	7850	630217			
36	7900	638217			
37	7950	646267			
38	8000	654367			
39	8050	662517			
40	8100	670717			
41	8150	678967			
42	8200	687267			
43	8250	695617			
44	8300	704017			
45	8350	712467			
46	8400	720967			
47	8450	729517			
48	8500	738117			
49	8550	746767			
50	8600	755467			
51	8650	764217			
52	8700	773017			
53	8750	781867			
54	8800	790767			
55	8850	799717			
56	8900	808767			
57	8950	817867			
58	9000	827017			
59	9050	836267			
60	9100	845567			
61	9150	854967			
62	9200	864467			
63	9250	874017			
64	9300	883667			
65	9350	893417			
66	9400	903267			
67	9450	913217			
68	9500	923267			
69	9550	933417			
70	9600	943667			
71	9650	954017			
72	9700	964467			
73	9750	974967			
74	9800	985567			
75	9850	996267			
76	9900	1007067			
77	9950	1017967			
78	10000	1028967			
79	10050	1039967			
80	10100	1050967			
81	10150	1061967			
82	10200	1072967			
83	10250	1083967			
84	10300	1094967			
85	10350	1105967			
86	10400	1116967			
87	10450	1127967			
88	10500	1138967			
89	10550	1149967			
90	10600	1160967			
91	10650	1171967			
92	10700	1182967			
93	10750	1193967			
94	10800	1204967			
95	10850	1215967			
96	10900	1226967			
97	10950	1237967			
98	11000	1248967			
99	11050	1259967			
00	11100	1270967			
01	11150	1281967			
02	11200	1292967			
03	11250	1303967			
04	11300	1314967			
05	11350	1325967			
06	11400	1336967			
07	11450	1347967			
08	11500	1358967			
09	11550	1369967			
10	11600	1380967			
11	11650	1391967			
12	11700	1402967			
13	11750	1413967			
14	11800	1424967			
15	11850	1435967			
16	11900	1446967			
17	11950	1457967			
18	12000	1468967			
19	12050	1479967			
20	12100	1490967			
21	12150	1501967			
22	12200	1512967			
23	12250				



# 88年4月～90年1月

## 88年4月2万人集めて盛大の ホーム団律、個人へのいざは

乗載必死のナセル、フリー以降の私の身の上話は、3回めの今回で終りませうとした。今回は、88年4月(東京・日比谷)での「ナセル行動」から現在までの大はなしである。

ナセルは88年4月23日、24日、25日、26日、27日、28日、29日、30日、31日の連続で「ナセル」の集会をもちかえた。これは「ナセル」の団体・いざはの個人への集会のとりくみは、2日目(24日)に重点化し、1日目(23日)は各自にまかせたこととした。とて25日(日)は、親しい仲間うちの10人ほどで午前中、日比谷公園に集まり、通産省前の抗議行動に参加。午後ほかから、私は分科会のひとつに手伝いに出かけた。夜は水車むら主催のソフト・エネキターのシンポジウムに参加した。

●と書きしたムシロ被りリヤカーにおり、丘、駈来形のしに入込みぬいぐるみとくこん作、こがまなどして人目をひくかたわら、あうらこが、車庫より白と柱を、公園に駆け込み、集会とは全く形勢のないうちで、まこと車庫した。2時半頃スタートした。リードは、この「いざは」と思ふ一団がまたまて参加、東京クルーカの光頭と行進した。このデモ隊列は要するに水車むら肉係、豊後豊田団律肉係、東京の大学のエコノミー・シークの肉係、本大進退団律の読者肉係などの混成部隊だ、たけつたが、いざはの隊列、20人おりにくわあつた。私がよ、周辺の事務方は、この隊列のまごめとする一オで、景色の備え、笛やカステネットなどの鳴り物を数十程準備し、みんなに配った。私たちの隊列には、香川や長年、和歌山など地外から参加した読者個人も多数加わったが、いざはにせよ、「ホーム」団律とない、「いざは」の個人もいたけれど、いざは個人々が20人ともたけて、いざはがこうしてまとまてて隊列を作れたのだから、草の根の個人をまとめた場を作ったという意味で、一定の成果をあげることができたと思ふ。もちろん、私の地味、港の全」の10人ほど、この一員として加わった。

## 88年 茶ついでヒマなし

やれやれ集会はやめて、連日お話し、だが私に休めはななく、集会で行ったがゆえの事と、畑は

事が行っている。4月28日30日は田子(浦へ)。5月1日のメーデーは、集会の勢いから、一人だけ勝手に「反原発の機動隊」もて参加した。機動隊のみならず、当然、あまはただろつが、もはや河をきめらなかつた。連休5月は長野とす、こ旅行したが、7月5日は再、い畑。そして15日は恒例の茶ついで、22日に水車むらへ行、この紅葉をぶつめして、や、と一語、となる。

## 「ハステラー」原発10の おはなし」発送の日々

他で多忙を極めま原因となつたのが、3月に刊行したカラーパンフ「原発10のおはなし」の発送。注文は3月21日(土曜)朝、4月24日(火)

在る野、5月20日(土)野、6月26日(土)野。おつという具合だから、一日一件は注大がくまという始末。おはなしとて、園のうち半分は既にいなりから、東にいまは平均20件の対応が必要となる。とこで現場から帰って食事とまよや、おはなしがムデーとハワイと持ち出し、夜な夜なハワイと持洋りし、翌日、これを待てお出動し、産休中には必ず近くの郵便局へ行、ては発送する、という極めて規則正しい一日のまことし方が確立された。

●オテ講演の依頼も続いた。もちろん、3月31日は「いざは」10の誌。7月8日早朝には東京プロダで東京私立病院協会のお医者さんたちの研究会で話をする。翌9日はこつもあつて、土前中は千葉、柏市民生協、午後は厚生白野中・生活クラブ生協。翌10日(日)は東京反原発行動の相談会に参加。16・17日畑、20日「佐藤の会」による会計報告、22日組合、23・24日また畑、26日群馬県民。30日(日)の講演はまた大がかりで、







も53さん、本紙1ページ目頭の記号も読んでいただければ、すぐわかります。

原稿に追いついたこと、②戦場で3年  
半いた官憲軍からの異動が推定となり、秋の異動前に片付けたい仕事に追いついたこと、のため、とうとうに全責任を肩、下北ツアー。肉体的にも心情的にも、も身がまたない。このままでは発狂すると思つた私は、9月23、25日、北アンプスに登る。(熊女↓草堂安堂山)

下山後、死にもの狂いぞや、ていふうち、天は私を昇格せず、直前に参加者が次々と現れたのである。といはまに天の恵みだ、たのであるが、参加者が次々と現れたため、宿泊の手配はとてまた長蛇の列を待た

### 88年10月 乗しかつた 青森一周ツアー

かくて10月7日午後10時、ゆが夜、東品川の東禅寺山門前には、巨大な観光バスが出現。「こんなものよく頼みましたか」とあきれま参加者このせて、「青森・下北一周ツアー」のバスは青森へ。

夜行で東北道を通り、4日、青森県方前の抵抗行動に参加後、むつ平へ移動し、現地の警備隊の方もまじえて、青森県警の後藤氏の話を聞いて懇親、ホテルと良酒に分活。9日は「一周ツアー」らしく恐山と諏訪し、東浦原の予定地とへて、大分所沢の集金(約800人)に参加。村内アモのち、再び飛行バスで東京へ。とにかく疲れたというのがオチ印象だが、山梨や町田などからも多くの方がバスに乗っていたとき、感動必至の大所帯、収支トントにこぎつけることができた。私自

身初めつ初めた下北ということ、印象免券が、た、参加したいというオチも、東京での独自の交流会を脱皮し観光などの内容は在りなく、また夕食やお土産も、いろいろと用意した、たということ、好評だったのは、何よりである。

### 88年10月 終わるやいなや 集金の準備

まず10月10日、夜行バスで東京に着くや、その日のうちに、大連返信No.24を作、たのである。その内容は今回のツアーの報告と、10月23日の上野・水上音響堂での反原発集会参加の呼びかけである。さすがに基金運動とあつて、4月東京大集会のようにならぬのは、まことに「不マツ固辞、個人へのひびき」と設置すること、基金終了後、車庫手で交流会をもちことにした。

この2日、12日、水車むら剣全に連絡No.25を持ちこんで発送作業。15、16日口畑。17日、脱原発と法と題する研修会に参加して情報と仕入れ。22日には集金に参加、そして夜行車庫手で交流会とし、脱原発法署名運動とどうするのまか中心に話し合った。

である。もつとも、27日は活動としてわけてあるが、26日は当然ハンストであり、また10のはなしと「のち、盛休みに職場の仲間を街頭配布する」と、反原発の活動をやらぬいたのである。27日は長野半島

### 次なる課題は「脱原発 法署名」あつめの 体制づくり

脱原発の大事業・下北バスツアーが終わり、基金が終わり、となれば、次なる課題が「脱原発署名者」へのとりくみである。これは、もはや私にとりて自明であった。去年1月から100万人と目標に署名運動が始まるというが、どうするか。4月の集金に2万人集ま、たといつた、100万人にはほど遠い。地域で、職場で、よほどし、かりした体制を各地で作って運動をすすめる、とうてい無理だ、と考えた私は、この体制づくりと身のまわりをするのことにした。

さう、とく11月7日、迷子の仲間ですすめ方も相談。区内で署名集約者ほとんどん小やし、そのネ「トワーク」として運動をすすめるようということとなる。2日には職場のオウムのみ(かつての「東林池澤団体」)と改名。ただし、別のオウム真愛教とは全く関係はありませんで同様の遊起も行い、また9日の水車むら剣会でも全員一人一人がとくみ体制早くつくろう、と提起した。そして12日、大事故通信No.25を発行し、100万人署名へのとりくみと訴えた。

22日夜にはまた東野せんのお説話を無償借用して、ホーマツ団体関係での相談会を行った。ここでも脱原発署名者にもつた体制づくりの話をすることとなり、「こゆいはなし」10のはなしに「つく、脱原発署名」としてどんなものも作まることが可能かと話した。10のはなしの売上げ全額を基金として河野がまた作るというやり方、チラシ・ポスターはもとより、ほかき、復讐、訂問のほり抜などの案が出た。これまた100万仕事のはずるのだが、下北ツアーを終えた今となっては、もはや10万円の出費と何とも免れぬところまで、私の全気力脱原発は飯長とつけていたのである。

### 夜は夜な地域を ころつき びくびくはり

講演依頼もあり、11月13日は千葉(街で東家のオウ中心に原案の話を、また23日は横浜の八百屋さん(八百萬屋)で反原発の話を。

脱原発署名者にもつた体制づくりは、老成でのとりくみが先行した。1月の署名スタートの前に、区内に広くまきかけ、子の署名を集約する人も、事前にたけたくリストアップし、事前に「トワーク」を作つておこうという気の早い提案をし、実行に移した。具体的には年内から、「脱原発署名者」を集めよう、産近ネットワークと発足させ、ビラやマナーに刷りまく、そして区内全域を打ちして順次ホストに申しこく、という脱原発が何かならぬやり方。しかも、3週に一度くらいつづき



結構すてみえづきかとは思いはるが、本紙のタイトルが変わりました。

え？理由で、て？ えいほ

邑の公民館で説明会と相談会を用いた。青井が組合長を立てて提出した核燃反灯の勧誘は圧倒的支持とまでなっており、青井の最業者の運動はすばらしい勢いを見せていた。なのに青井の専攻執行部は大会を決定した。けれどからんとの報告が相次いだ。そして翌15日はわが戦場まで全国若狭大会の日で、私も会場で議事録をとる係になつた。青井の代表者たち、核燃問題について大会で意見陳述するところまで行っていたが、理事会を否決。わが戦場は何となさけない所なのか。仕事や、こつこつとやっていたのだが、青井の人たちからヤジが来り、壇上を押しかけてきたら止めるのが全中職員の仕事と云ふ。ふいげんじやゆえ、や、こらふが、こんな仕事、もう知らん。ゆい、地域に生かす。

17日、浅尾の相談会。19日、地域でうまき。23日色ヒヨウ。24日ヒヨウ。29日、脱原発用品の打合せ。ついに、チラシ、ポスター、はがきのほり抜の準備が作ること決定。

**89年2月のぼり紙、ポスター、脱原発用品のついに発売!**

さて年あけて89年。この年は、やつとヒヨウ正月休みを迎えまじとがしてきた。

12月1日富士山は法、次の2日は浅尾の会打合せ。そしてこの3日の夜に地域でヒヨウ入会としてから、3、4日は畑へ。6日浅尾の会。7日夜はオームの会と東洋行動。ロジックト会戦と重なり、たの、両方に出席。9日、脱原発用品についてNEMOと打合せ。12日浅尾の愛親会。14日中野文化センターに尾瀬降氏十五世の東家のオとのシンポジウムに出席。時のたかも青井の東家大会で核燃反灯の勧誘とめぐり、政府が核燃

布福社会連、浅尾の会。22日には、大車放煙機No. 26」作成し、23日はチラシ、字植を稼。31日最後の色校止。

というわけで2月10日、待望の脱原発用品が完成。ポスター1000枚、チラシ300枚、はがき600枚、のぼり旗の本を作り(増刷分も含む)、合計20万枚の投資となり、同日、脱原発の署名用紙と同時にと書りて、各地、各グループが運動をすすめることと活用してほしいと訴えた。発送に向けて、包封紙も追作した。

他方、浅尾での脱原発署名運動も、少しずつではあるが進んだ。くみ日もくみ日でも何となくヒヨウとまいた割にはへいれもするが、署名集約者も30人ほどにまで区内に作ることもできた。2月6日ヒヨウ。9日ヒヨウまきの終り、15日に三田地区で相談会、22日同打合せ、そして3月7日ヒヨウ。3月11日に小泉村長氏を招いて講演会を浅尾で行った。これとも、浅尾の活動は一般化したが、林まごに区内で約800名の署名が集まった。私自身も東洋寺に着用紙を準備するまでしてかたり果したが、区内の教職員や学組くみみとりくみも大活躍になった。地域ではより強くなった。

他方、有隣堂の筆と出版した由緒で、有隣堂についての講演依頼が来たして、2月8日には群馬の群馬県で、2月18日には東京府の組の神奈川地本を話した。また3月

**89年4月 あーあ、ポツン**

12日には、ピースボートで東京の話をした。

とまあこのころまでは良かったが、たのめだが、チェルノブイリ事故以来、疎らな維持し、というよりますますエスカラートさせてきた。ついに、ポツンが生じたのである。4月の不集会とあえ、カラパソとあつた。青井は、青井までバスと出し、みげくの里でポスターだのぼり旗のまを作り終えた私にと、こもはや次なるとりくみは見出し難くなつていたのである。

他方、浅尾での脱原発署名も一段落し、核燃反灯、東洋寺関係者の手で脱原発法。あまたも賛同呼びかけ人」というチラシをオームの会で作られ、各地の東洋寺関係者や本紙の読者に郵送はしたものの、次にどうしようか、ゆからなく、できていた。

しかも世の中、89年には脱原発運動は全国的な停滞期に入つたようであった。それは、私の「10のぼり紙の売れ行きが、89年の4月頃からパツンと落ちてきたこととよくから、そんななかで来たして、脱原発用品」の売れ行きは、当然悪く結局、半分以上が売れずに在庫となり、赤字を出すという結果になった。世の中の元気がくなくると同時に、

引越しました!

編集・発行 河野直践

私もつかひはじめたというわけ。そんな時、私の心にひっかかっていたのは、この年の年賀状で、丁重とというオカも頂いた次のような年賀状だった。

「明けましておめでとう。西ドイツから日本に留学して来たフアンルンとはあちから縁の虎の杖書としていたそうだが、「運動家も生活と大事にしなくてはなりません。例えは一年間運動と一年間修行や、次は二年は自分のことと一生懸命やま」というふうにしてこようしよう。」

「これだ」と私は思った。

よし、99年は運動は休むにして「自分のこと」をやろうかと私は決意したのである。

ところが、大事故直後は読者からのお便りやカンパが続いていた。やめるわけにはいかなかった。よし、回想記でも書いてお茶を「これは一年くらいもつたろう……。何を成そうとかがこの連載の運びも動機だ、たのである。もっとも、反原発をめぐってこのだけ異常な行動を重ねてきた人もないだろうから、貴重な記録であらうことは、間違いないがもしない。」

\* \* \*

かくてこの以後は簡單である。

6月7日、通信社発行。身の上げの山と、農村漁業関係者の脱原発への協力のお願い。10月25日、通信社発行。脱原発活動者に出発の挨拶いと身の上話(節)

年あけて20年。農村漁業関係者に呼びかけたい以上、何かしないと薄と

しまんかつかないだろと考えて、傍組の地主を再び住居を向く。講師は青森の須藤さん、山口・土間孝亮に反対し闘って、脱原発の山戸漁協組合長。そして久し振りに私が、①チェルノブイリその後、②再処理工場の整備、③再発脱原発に向かう動向、という新しいテーマを報告に亘った。この集会の案内は、正月

河野直践氏 インタビュー

— 今後の人生と運動の展望を大いに語る —

— 膨大な回覧録がつかいに完結しましたね。まあ、書くに至、た不完的動機は何となく想像がついていましたけど、やはり、どうしてか、とこうどうです。書き止めの感概は。

河野 はあ……。

— おや、元気がありませんね。たまたまおこきましたか、まだ生憎から立ち直れないんですか。担当としての性格ですか。なにぞというわけでもない。ほはあ、脱原発イヤーなんでしょう。年がまたじまじま、仕事やめたいと言、こいしましたものでも、生活のことやら、再来とを考えばは、仕事やめまはせはるいんですからね。

河野 ええ、まあ。

— いや、とこうで、明々白々話にしましやう。先ほどのお話ですと、おまは自分のことと一生懸命やまというところでしたか。どうですか、

休めさうと、全国からよせていた「農村漁業関係者で脱原発」との賛同者(約二〇〇名)と、車まで出郊の本紙記者に歓迎した。

そして、この10月の発行。こいどうすよ、おしまいなのである。(克)

運動を休んで自分自身を打てるのもいいでしょう。

河野 ……。

— おや、どうしました。たまたまエロに煙に染って、夏は何回かまっつと出登りとしたけですって、ほかには、何もないくですか。

河野 ……。

— いやあ、それ結構ですわ。つまり、二教年、仕事も事務的にこなすかたわり、時間があひはみんな反原発の活動に注ぎこんで来たことにある。もはや、自分自身のやりたいものすら見失、こいしましたというわけですか。いやあ、恐ろしいですね。で、今後、どうせいか、どう庄でしようか。

河野 はあ……。

— なるほど、これといつに健康もないというわけですか。やはり、こいなるも人生も大それた感じとこいしひしきやうな、ホント。まあ

河野さんが持前の生活の不都合が、もう2教で長を奪くはりだして、職場もイヤで、八方ふさがりして個人的にどうなさうと、まあい、こうに關係ないわけですが、今後の本紙の方向なり、反原発運動のすめかといいた点で、ぜひ、意見とかかいたいと書いてください。

河野 本紙の1ページに書きました。

— いや、すはらしい、実に簡潔な文章ですわ。要するに1ページ目と読めばいい。なるほど。つまり人生の夢も希望もなでなで、もうどうにもならなくても、やはり反原発、脱原発だ。と、こいにか、4月の東京行動に力けてすこしはまた活動から、皆こんはもくと進んでほしい、というところですか。

本日は本当にたくさんのお言葉をありがとうございました。ほんとうにありがとうございました。(おやり)



